

交通部檢定書

守屋荒美雄著
經濟學士
守屋美智雄 補訂
新令 準 據

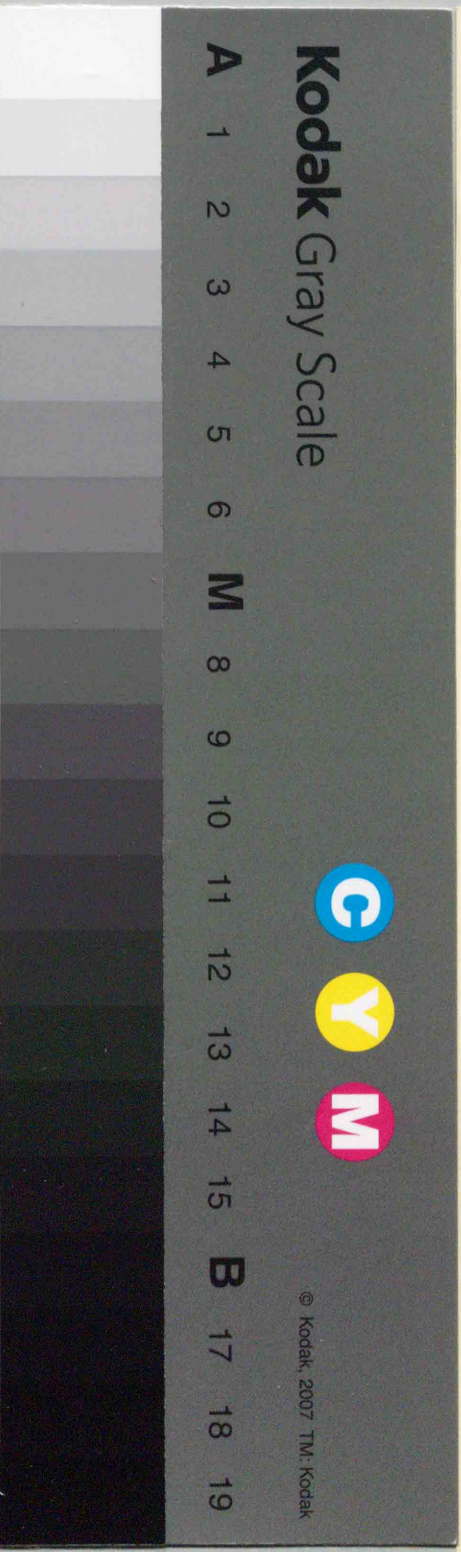
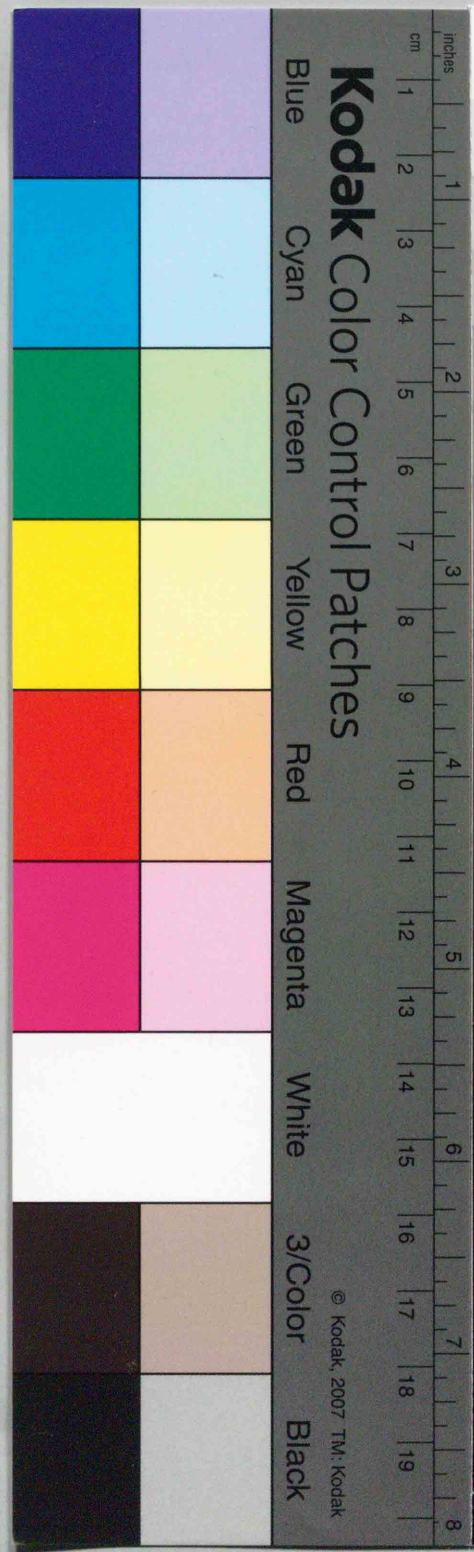
新選地理

概說篇
修正版

株式會社
帝國書院

新選地理 概說篇 修正版 經濟學士 守屋美智雄 補訂 守屋荒美雄 著

教科書
41-
20000



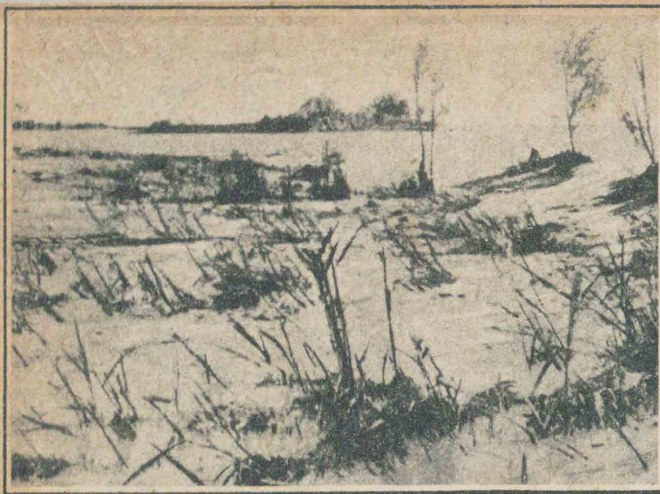
42784

教科書文庫

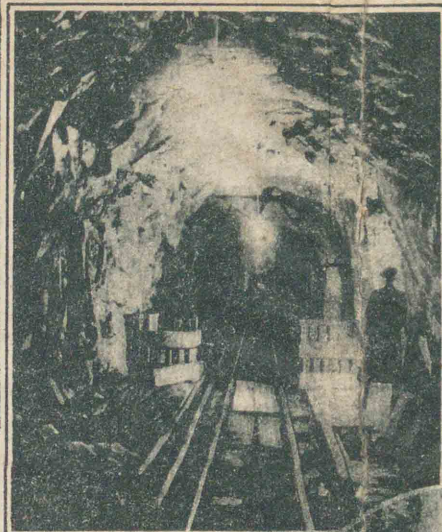
4
290
41-1941
20000 14336



自然の脅威と人類の偉力



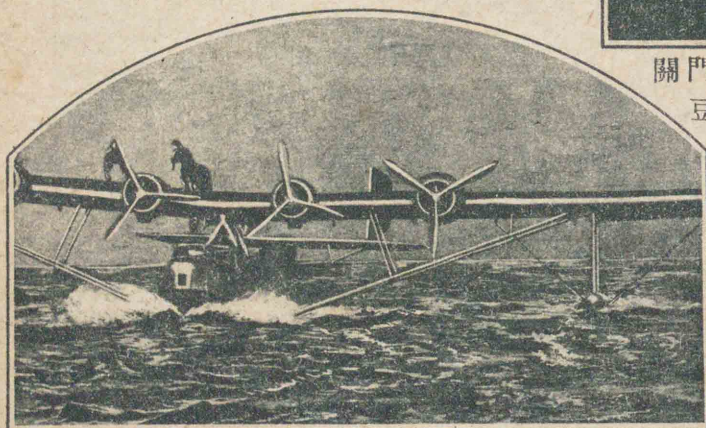
自然と人文の闘争 黄河の洪水



關門海峡の開通
豆トンネル



隊商を襲ふサハラ沙漠の熱旋風

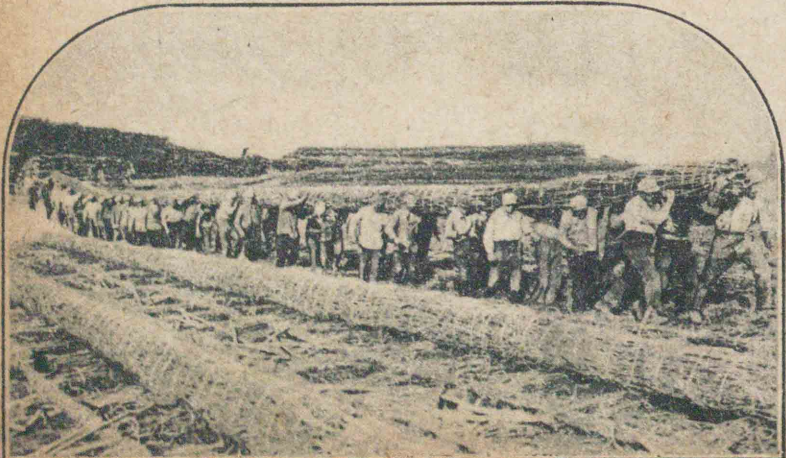


我が南洋への新航空路 川西式四發飛行艇
海の陸化に努むるオランダ國民



アマゾンの密林を拓く日本移民

地震による大龜裂

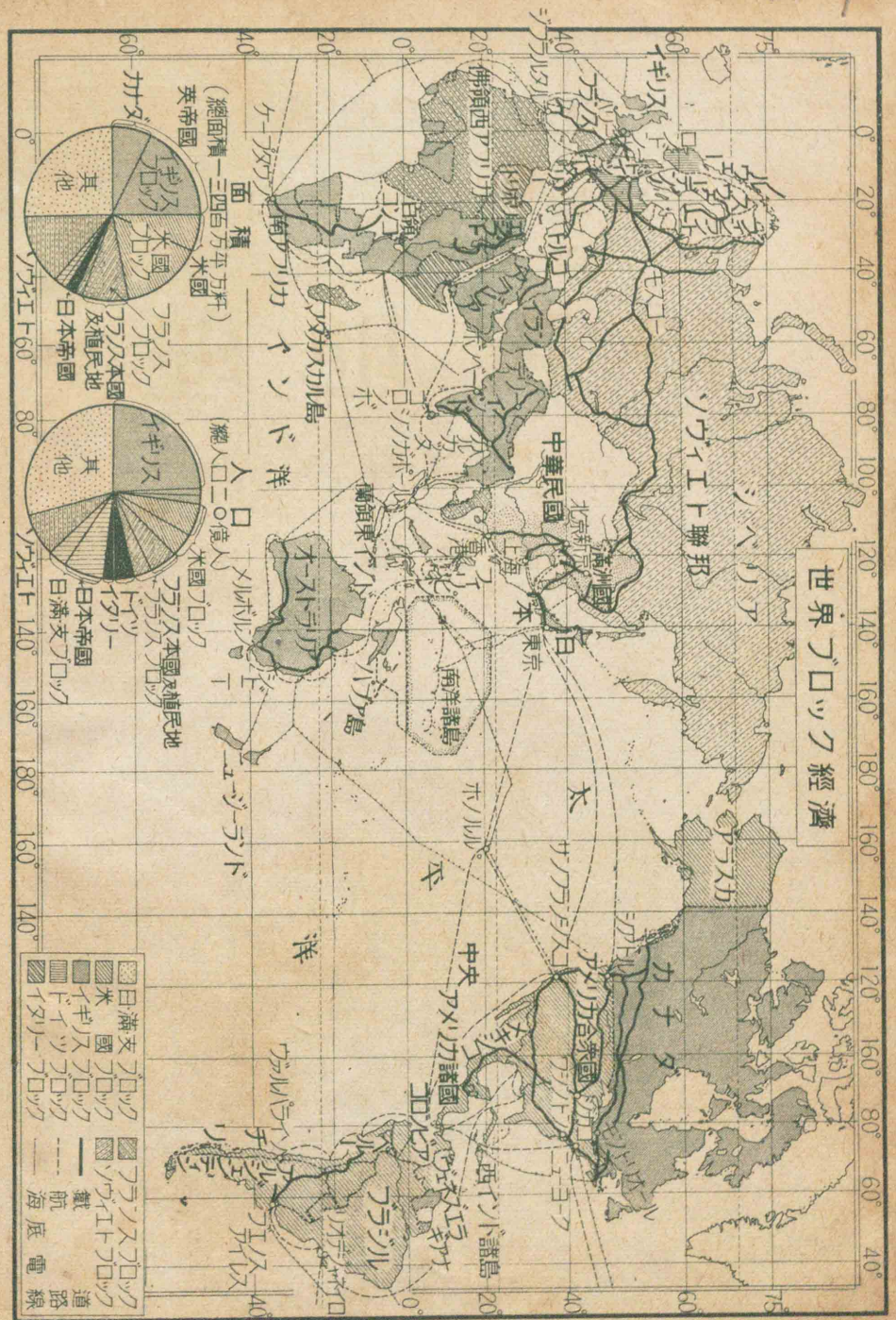


不毛地の緑化 アリゾナの大ダム

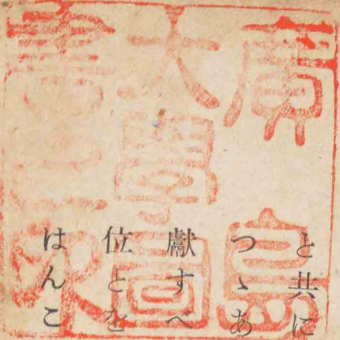
阿寒国立公園 美しい自然景觀



奈良盆地 平和な人文景觀



41336



本書は昭和十二年三月改正された地理科教授要目に準據して、中等學校の地理概説教科書として編纂したもので、別に著した新選地理日本篇、外國篇と姉妹篇をなすものである。

編纂に當つては既習の日本及び外國地理を基礎とし、一步高き觀點よりこれを綜合概括することに努めた。即ち自然及び人類の相互關係に立脚して、自然が人類の活動に與へる影響を考察すると共に、特に人類が積極的に自然を利用開發して、新文化を創造しつゝある有様を明らかにし、我が國民生活の向上、國勢の發展に貢獻すべき識見の育成に努め、且我が國の特性と世界に於ける地位とを明確にし、以て國民精神を作興し、新興地理教育の目的に副はんことを期した。

例言

文化の階梯

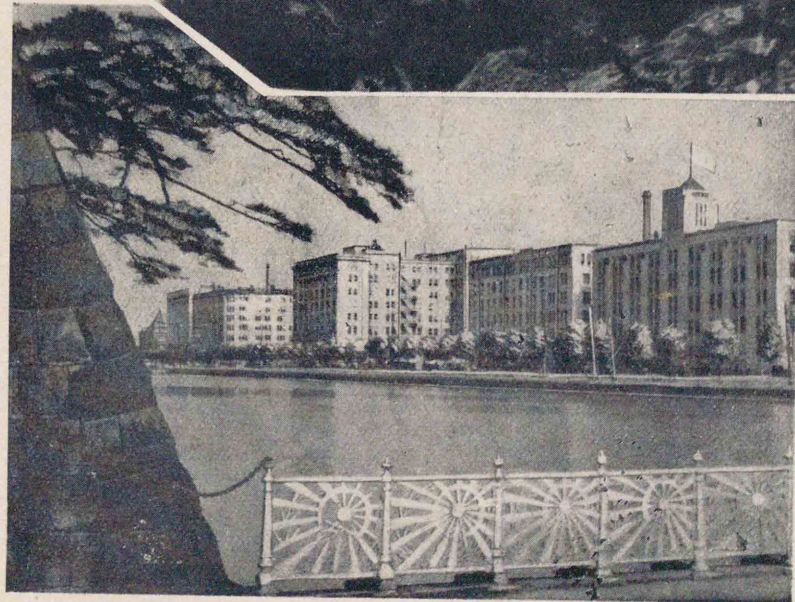
原始的耕耘
アメリカインディアン



滿洲農業の機械化



我が文化の一端
丸ノ内景觀



編纂上特に留意したのは次の諸點である。

- (一) 教材の排列は新要目の趣旨を體して地球住民經濟政治の順となし、其の内容も努めて發生的に記述し、推理的科學的考察に便ならしめた。又諸事項の實例は廣く世界各地にこれを探つてあるが特に我が國土の事實を重視してこれを述べ、更に關係の深い東亞一帶に多く求めた。これは我が國情を正しく把握せしめて愛國心と報國の信念とを養ひ、併せて興亞精神の高揚に資しようとする微意に外ならない。
- (二) 人類活動の方面に重點を置いて、地球陸界水界氣界等に關する事項は、人文と交渉の深い方面のみを述べることとした。而も常に科學的な見地に立つて最も妥當な説述を試みた。
- (三) 國民生活に關係の深い經濟事項は特にこれを詳述して、世界經濟に於ける我が國の地位を明らかにし、又日滿支經濟ブロッ

クに就いては、これが東洋永遠の平和、東亞諸民族の共存共榮に資する所以なることを理會せしめるやう努めた。

(四) 政治地理に關しては新角度からこれを觀て、從來の形式を多分に改め、國家の成立と環境、國家の發展と地理的關係等の事項を極めて關聯的に記述して、現下の複雑多岐なる國際情勢の一斑と、其の動向とを地理的に考察せしむることに努めた。

(五) 地理的意義の豊富な寫眞、地圖、模型圖等を可及的に多く挿入し、學習能率を高めると共に學習趣味の喚起に資した。

本書の編纂に關し、多大の御援助を賜はりし各地中等學校教官諸賢を初め、各官廳、陸地測量部、各新聞社、國勢社等に對し深甚なる謝意を表す。

昭和十五年十月

目次

緒論……………一

第一章 地球……………五

第二章 地球の表面……………三

 第一節 陸界……………三

 第二節 水界……………三〇

 第三節 氣界……………三七

第三章 住民……………三六

 第一節 人種……………三六

 第二節 人口……………四四

 第三節 生活文化……………四四

 第四節 聚落……………四六

第四章 經濟……………五五

 第一節 經濟生活の發達……………五五

目次

第二章 農業……………六〇

 第三節 牧畜業……………六三

 第四節 林業……………六五

 第五節 水産業……………六九

 第六節 鑛業……………八一

 第七節 交通……………八六

 第八節 工業……………一〇一

 第九節 商業……………一二三

第五章 政治……………一三六

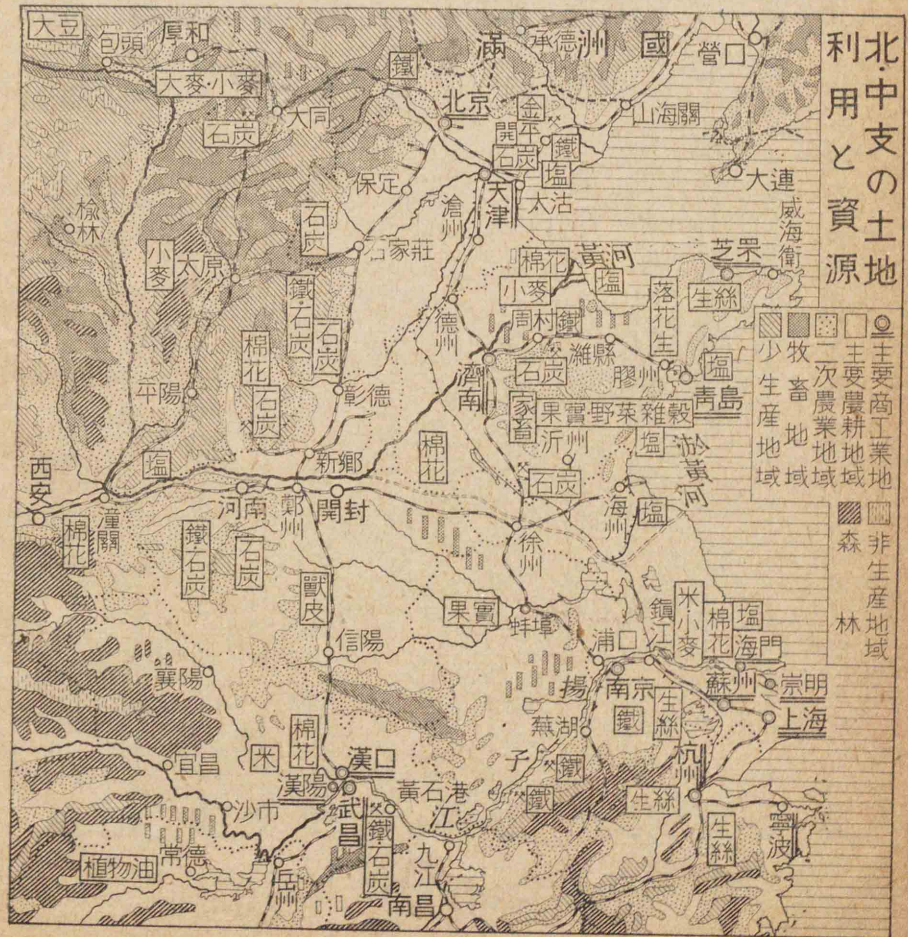
 第一節 國家の存立と地理的關係……………一三六

 第二節 國家の發展と地理的關係……………一三五

 第三節 強國……………一三〇

結論 世界に於ける我が國の地位……………一三三

河北平原の棉花運搬



文化
文化型
文化階梯

緒論

新令 準據
新選地理 概説篇

修正版

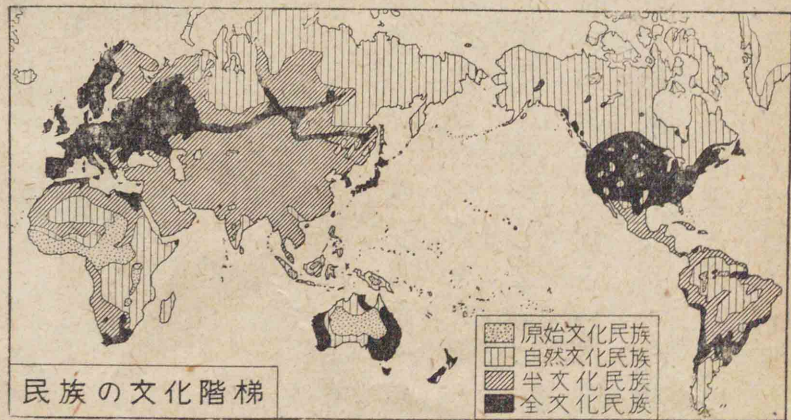
人類は自然の中に生活し、自然を素材として、人類生活の向上完成を目ざし、宗教法律政治経済道徳科学文學藝術等に關する種々の行爲をなし、種々の所産をする。かやうな行爲及び所産を文化といふのである。文化は、人種地域によつて實質を異にし、又その階梯も雑多である。文化の種類は非常に多いが、東洋文化と西洋文化とは現代世界の二大文化型といふことが出来る。文化の階梯も亦多數であるが、普通左の如く分類することが出来る。

一、原始文化 最も低い文化で、南東アジア、アフリカ、南アメリカ

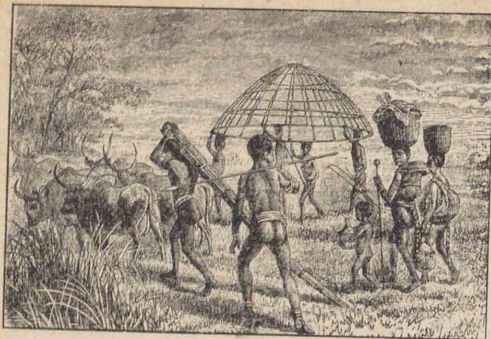
の熱帯密林地方の種族の文化が、これに屬する。

二、自然文化 自然に對して、漸く能動的に働きかけるやうになつた程度で、ユーラシア、北アメリカの北方に住む種族や、アメリカインディアン等は、この文化に屬する。

三、半文化 經濟的方面に於ては相當進歩してゐるが、精神的、道德的方面に於ては自然文化に近い程度のもので、今猶獨立國を形成し得ずして強國の領下に入つてゐる種族の文化がこれに屬する。



地理學

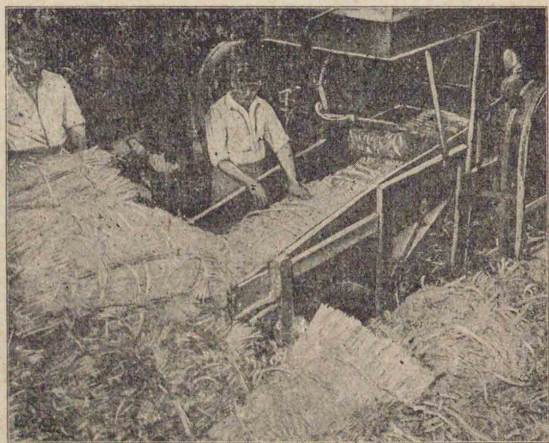


原始文化の中部アフリカ土人

人類の文化が、かやうに種々に分れるのは、その自然環境の如何と、種族の素質の如何とによるのである。

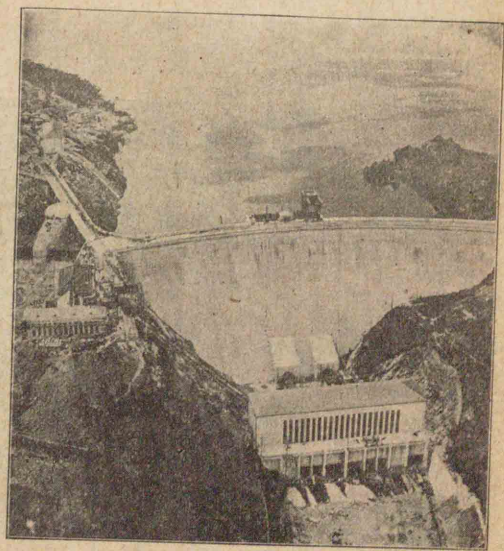
四、全文化 現代の文明國を形成してゐる種族の發達した文化がこれに屬する。

實に文化は人類と自然とが、全面的、交互的に接觸した所産で、地理學はこの自然と人文との相互關係を究め、民族の發展、國家の興隆に資しようとするものである。文化に及ぼす人文の影響は中々大きい。自然の條件は劣悪でも、住民の素質、經營がよければ、不利な條件を



薬を原料とするパルプの製造

克服して、立派な文化を樹立することが出来る。又自然の包容する資源は無限で、これに働きかける人智は進んで止まなからず、過去に於て何等価値のなかつたものも、その利用法の研究によつては、人類生活の重要資材に化することが出来る。地理を學ぶ者は思をこゝに致し、地理學の教へる知識と理法とを活用して、國富の開發、邦家の發展、強化に、合理的な寄與をしなくてはならない。



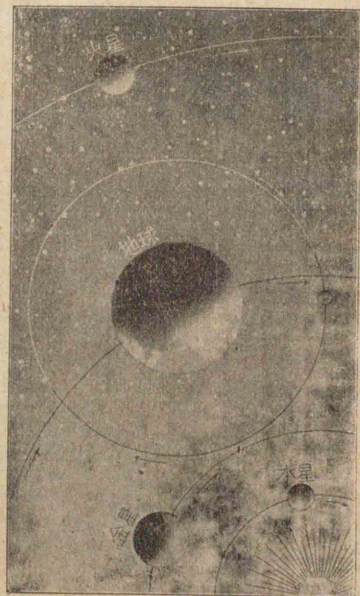
自然の利用 大堰堤

地球と太陽



第一章 地球

地球と太陽 我等の住む地球は太陽系に屬し、他の遊星惑星と共に、太陽を中心として公轉する。太陽は常に強烈な光と熱とを放ち、地球の表面はこの熱と光とによつて直接間接に變化が與へられ、又總べての生物は生活の源泉をこゝに得てゐる。



太陽系の一部

地球の形狀 地球が球體であることは、①入港船が檣頭から見え始めて次第に下部が現れ、②海上又は平野に於ける視界が圓く、③觀測點が高まるに従つて視界が廣くなり、④月蝕の時地球の陰影

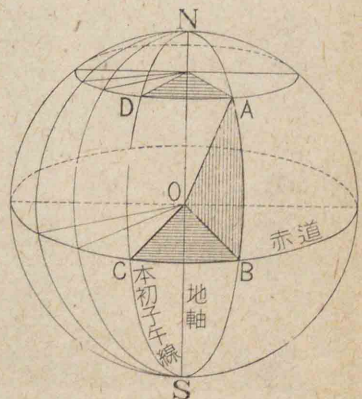
地球の形状

経緯線及び
経緯度

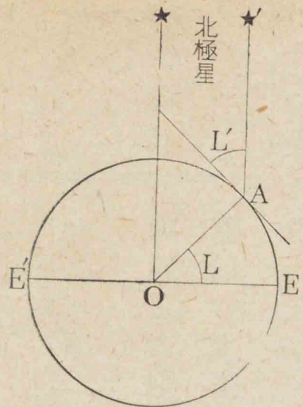
が常に圓形に見え、⑤世界を周航し得ること等で、證明することが出来る。

然し地球は、眞の球體ではなく、南北に稍平たい扁平楕圓體である。

経緯線及び経緯度 地表に於ける地點の位置を表すために、経線及び緯線を定める。地球の南北兩極を通ずる大圈は即ち経線(子午線)で、これと直交して地球を東西にとり巻く線は緯線である。緯線は赤道



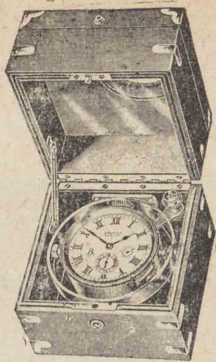
∠AOBは緯度
∠BOCは経度



高度の星緯と北極星

道を基として南北に各九十度を數へ、経線は、グリニチ天文臺を通るものを本初子午線と定めて、東西に各百八十度を數へる。かくして得た経度と緯度とによつて、正確な地表の位置をいひ表すことが出来る。

地球の運動



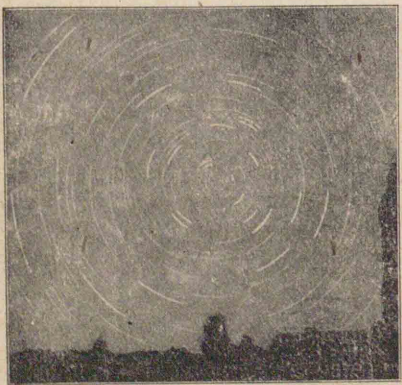
クロノメーター用の測定経度

経緯度によつて地上の位置を明らかにしなければ、地圖を作製することも、大洋を航行することも頗る困難である。緯度は北半球では概ね北極星の位置により、経度は時差によつて測ることが出来る。

地球の運動

地球は、地軸を回轉軸として西より東へ回轉し、約二十三時五十六分で一自轉する。公轉時間は三百六十五日五時四十八分四十六秒餘である。

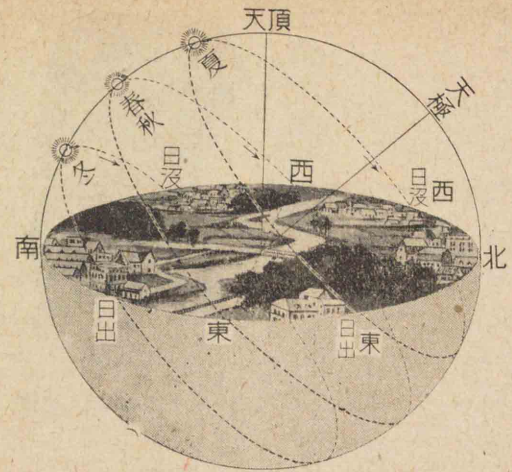
曆では一公轉の端數を四分ノ一日とみなし、四年毎に閏年を置く。然し永い間には誤差を生ずるので、現今は四百年間に三回の閏年を省く新太陽曆を多く用ひる。



左上方に見る星は中心を以て自轉運動をする(自轉の證)

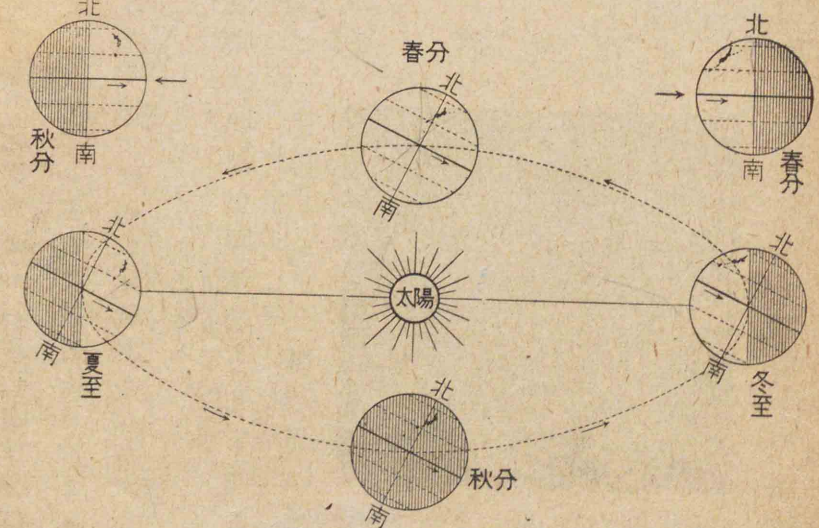
晝夜の長短と四季

晝夜の長短と四季 地軸は軌道面に對して六十六度半の傾斜を



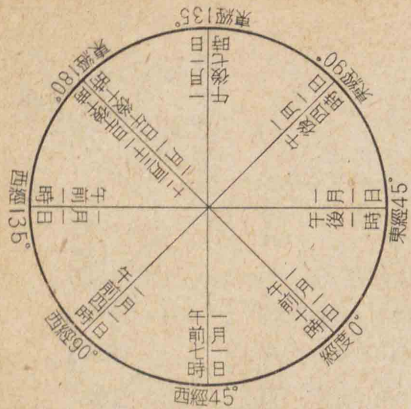
晝夜の長短

なすので、赤道部以外では晝夜の長短と四季の別とを生ずる。六月頃には地軸の北極が太陽の方向に傾くので、北半球では緯度の高まるに従って晝が長くなり、太陽が頭上に近づいて夏となるが、十二月頃には地軸の北極が太陽と反対の方向に傾



四季の變化

標準時 日附變更線



日附變更の理

くので、北半球では夜が長く、太陽が頭上を遠ざかって冬となる。南半球では、全くこれと反対である。三月と九月頃とは兩者の中間にあつて太陽は赤道附近を直射し、春分・秋分の日には、地球上到處晝夜の長さが等しい。

標準時 日附變更線 各地の地方

時は經度によつて異なり、經度十五度を隔てる毎

に一時間の時差を生ずる。かく

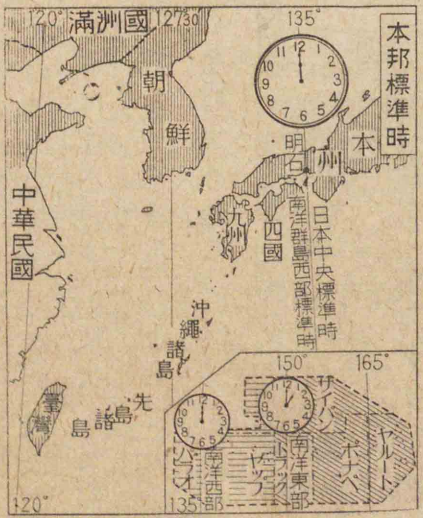
ては種々の不便がある

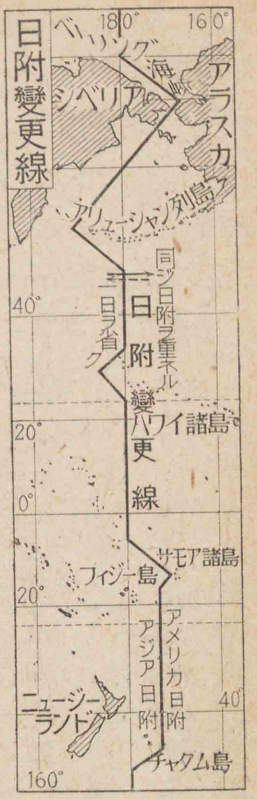
ので、文明國では或地方時を以て標準時と

定め、一定地域内にこれを

使用させてゐる。我が

國の標準時は東經百三十五度の經線による地方

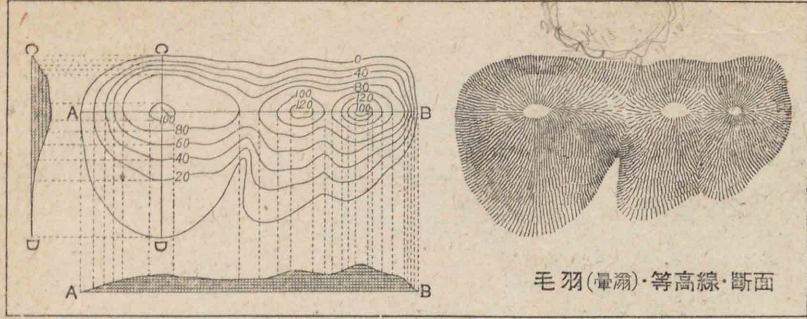
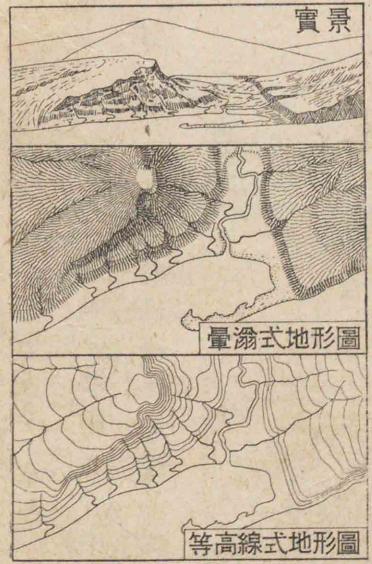




地球儀と地

或地點を出發して地球を一周するときは、夜と晝とが順次に交代して、出發點に歸著すると、日附が一日異なつて来る。よつて凡そ百八十度の經線を以て日附變更線となし、この線を西に越えるものは一日を省き、東に越えるものは同一日附を二度使用することと定めてある。

地球儀と地圖 地球儀は地球の眞形を縮小したもので、方位・面積・距離等は概ね正しい。地



設問

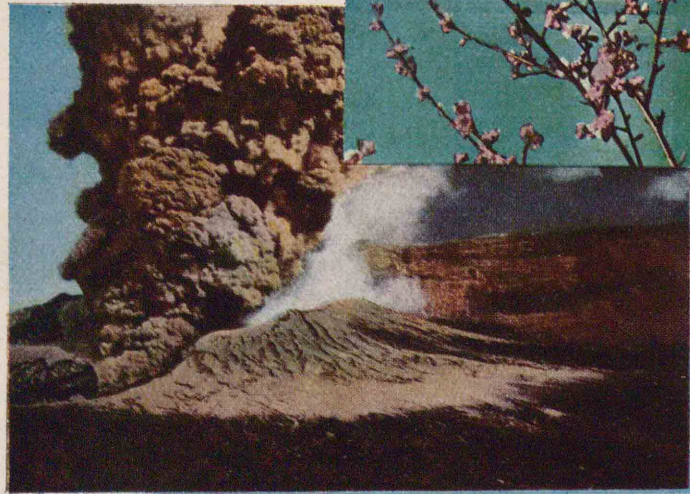
- (一) 學校所在地の經度・緯度を地圖によつて觀測せよ。
- (二) 郷土の地方時と標準時との時差を計算せよ。
- (三) 日本に起つた事件がアメリカではその前日に報道せられることのあるのは何故か。
- (四) 如何なる種類の地圖が軍事上最も必要であるか。

圖は地表の模様を平面に縮寫したもので、廣區域に互るものは面積距離又は方位に不正確を生ずるのを免れなないので、メルカトル圖法、ボンヌ圖法等種々の圖法が考案されてゐる。地圖上の土地の高低は、等高線や毛羽(暈滌)或は色の濃淡等で表現される。地圖にはその目的によつて地形圖、海圖、地質圖、土性圖、分布圖、氣象圖、交通圖等の種類があり、何れも廣く實用に供せられてゐる。

火 山



富士の雄姿



阿蘇中岳の噴煙



屋島熔岩臺地

陸地

地球の表面

第二章 地球の表面

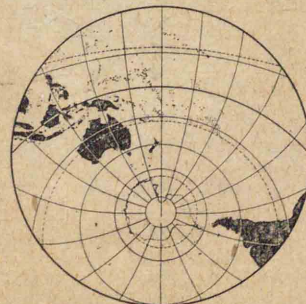
第一節 陸界

陸地 地球表面は水と陸とに分れ、陸地は北半球に多く、六大洲と數多の島嶼とに分れ、その分布によつて地球を陸半球、水半球に分つことも出来る。島嶼は陸島、洋島に分れて、大陸の縁邊や南太平洋に多い。陸

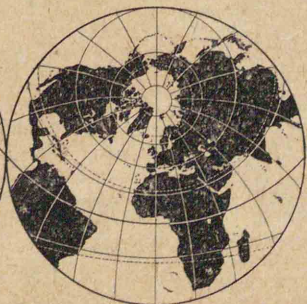


洋島 珊瑚環礁

地は人類活動の本據をなす所であるが、その面積は地球表面積の三割にも及ばない。地形とその變動 陸地の表面は、垂直的に見れば、山岳、高原、平原が



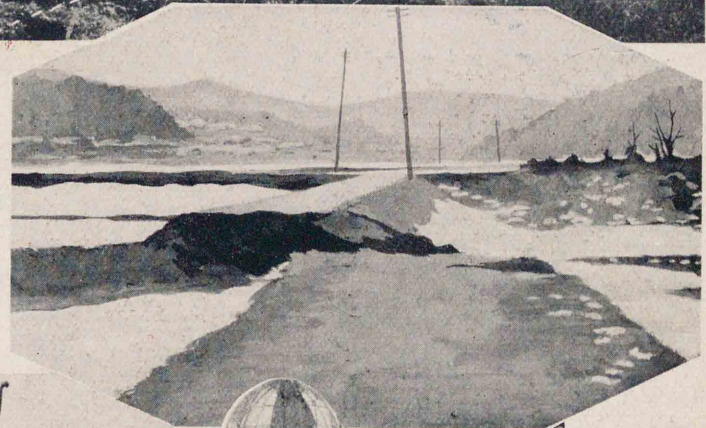
水半球



陸半球



相豆地震の断層線と断層上の倒壊家屋



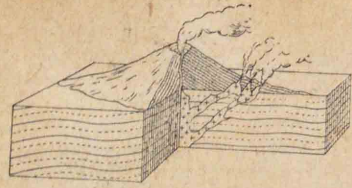
奥丹後地震の断層



關東大地震の慘禍

地形とその變動

土地の昇降
火山



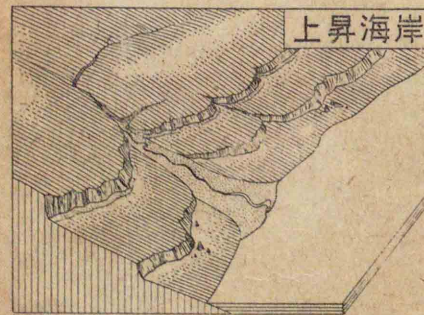
あり、水平的に見れば、半島、岬角、島嶼等があつて、地形により夫々人文活動に影響するところも異なる。この複雑極まりない現在の地表は、地球の収縮や、地熱の活動等に基づく火山、地震等の作用と、太陽熱、空氣、水、生物等の作用とによつて形成されたのである。

一 土地の昇降 土地には上昇する所と、下降する所とがある。上昇する土地は概ね、広い沖積地が開けて、人文活動の好舞臺となり、埋立や干拓が行はれ、下降する土地は、三角河口やリア式の灣入があつて、良港が多い。

二 火山 火山は地熱の活動によつて生じ、その噴火に際して地震を伴ひ、火山弾、火山礫、火山灰等を噴出、堆積

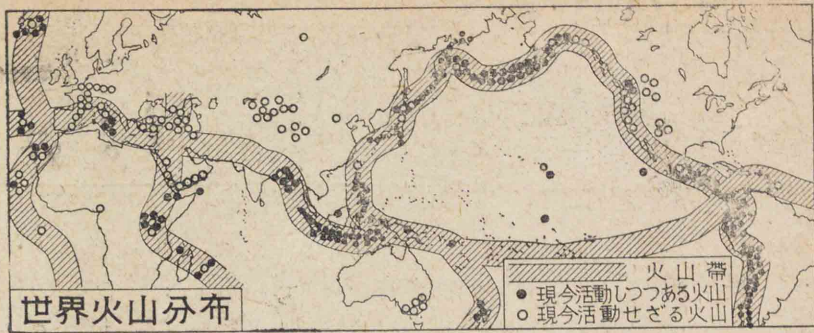


下降海岸

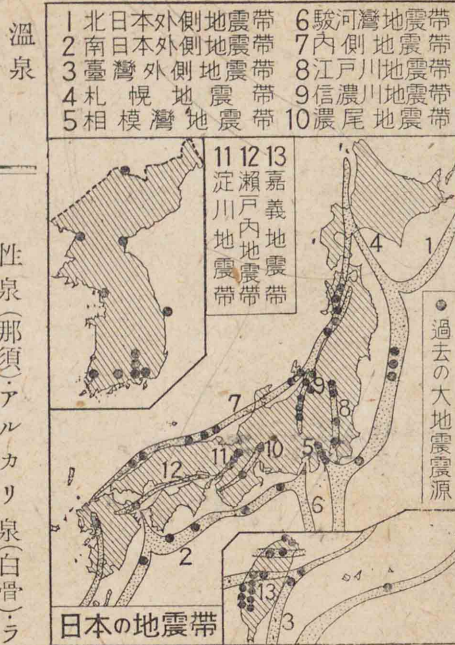
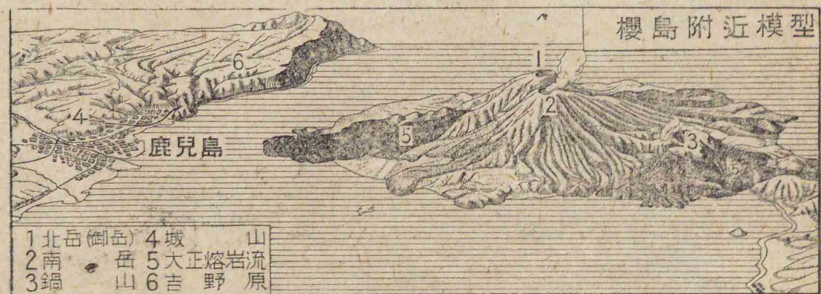


上昇海岸

地球の表面



し、又熔岩泥流を流して、地表に著しい變化を及ぼし、時には耕地聚落等を埋没して、大損害を與へることがある。火山は多く地殻の弱所に噴出するので、略線状に排列し、太平洋四周及びアフリカ大地溝帯等の縦帯と、東インド諸島南ヨロツバ西インド諸島ハワイ諸島を連ねる横帯とは、世界の主な火山帯である。我が國は環太平洋火山帯の一部に當り、世界屈指の火山國である。島の彎形に沿つて、千島那須鳥海白山瀬戸内霧島の諸火山帯が噴出し、その間に富士乗鞍の二帯がある。火山地方には硫黄の産が

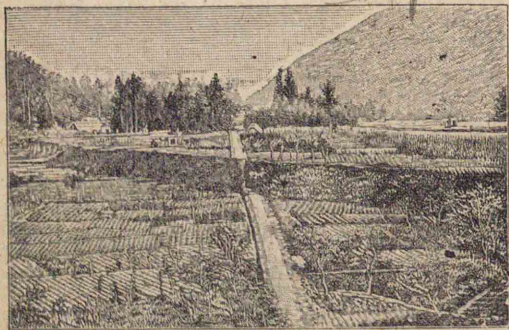


多く裾野の緩傾斜の草原は放牧に適する。又屢、温泉、火山湖を伴ひ、風景もよいから、保養地となる處が多い。温泉は、含有物の種類によつて單純泉箱根湯本(硫黄泉)登別(鹽類泉)鹽原(炭酸泉)有馬(炭酸泉)三朝(三朝等)性泉(那須)アルカリ泉(白骨)ラヂウム泉(三朝等)に分れ、何れも療病に效果がある。我が國には各種の温泉が甚だ多く、近頃は療養の外、温泉熱の利用も試みられてゐる。

地震

三 地震

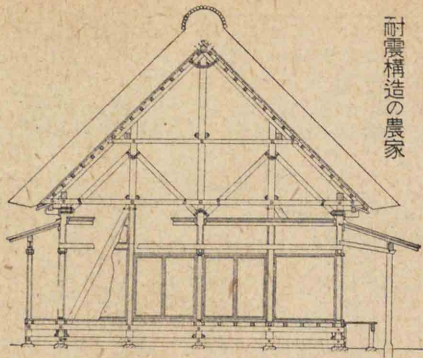
地震は、地殻の弱所に急激な變動が起つて、地盤が上下左右に振動し、その



濃尾大地震の根尾谷斷層

震災豫防

耐震構造の農家



弾性波動が四方に傳はる現象で、原因により火山地震、陷落地震、斷層地震の別がある。大地震は概して斷層によるものが多い。地震帯は褶曲山脈や火山脈と略一致し、太平洋周圍トルコイラン、インドを連ねる一帯地中海岸西インド諸島はその主なものである。我が國は太平洋岸に沿ふ地震帯の一部で、屢、大地震が起る。烈しい地震は鐵道道路家屋橋梁等を破壊し、土地の陥没や、地割れ、山崩れ、津浪等を起し、又火災を併發して、人命財産を失ふことが少くない。

震災豫防 我が國は屢、震害を蒙るので、地震の豫知と、震害の豫防とを重視し、地震研究所を設けて研究調査を行つてゐる。震害を少くするには、建築物土木工事を耐震耐火構造にし、特に基礎工事を深くし、鐵筋コンクリート造にするがよい。地震の際は、先づ火元に注意し、戸を開き、沈著に避難せねばならぬ。

大氣の作用

四 大氣の作用

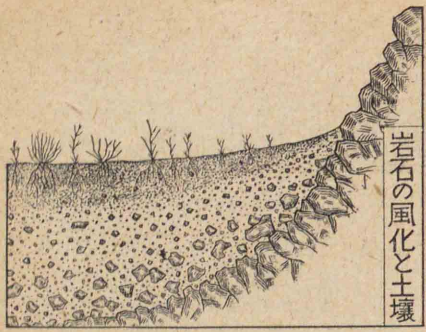
空氣は

雨水と共に、岩石を風化し、侵蝕して、土壤を作り、風はこれ等を運搬、堆積して、徐々に地形に變化を與へる。大氣による

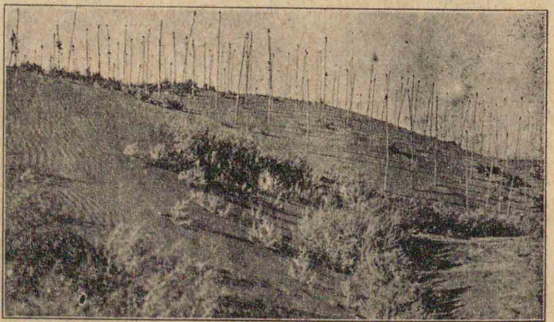
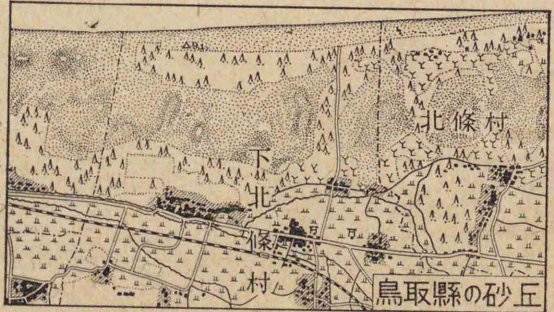
運搬堆積及び風蝕作用は、乾燥地方に最も

著しい。關東地方のローム、北支那の黄土は、風の運搬によつて生じたもので、地味肥え、農業に適してゐる。又沙漠や砂濱には風のために砂丘を生ずることが多く、移動して時に田畑人家を埋没する。これを防ぐには防砂林

岩石の風化と土壤



地球の表面



防砂植林

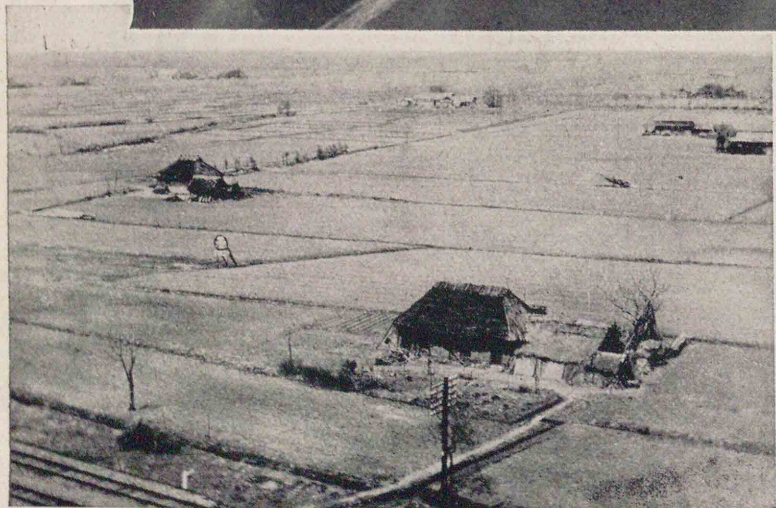
山地と平野



壯年型の日本アルプス



老年型の阿武隈山地



平野の利用
石狩平野の開拓景

水的作用



甲府盆地南麓の扇状地

地球の表面

或は防砂垣を設ける必要がある。

⑤ 水の作用

河川の上流は概ね急流をなして、侵蝕運搬作用が著しく、下流は水勢が緩やかで、堆積作用を主とし、山麓の谷口に扇状地を作り、沿岸に肥沃な沖積平野を開き、又河口に三角洲を作つて、人文の發達に貢獻する。海水は波浪・潮流・海流となつて沿岸を削り、又土砂を運搬堆積して、海蝕崖・海岸段丘・砂嘴・陸繋島等を作る。昔時水河

の北部は、湖沼・丘陵・堆石が多く、森林に富み、急流は水力發電に利用される。

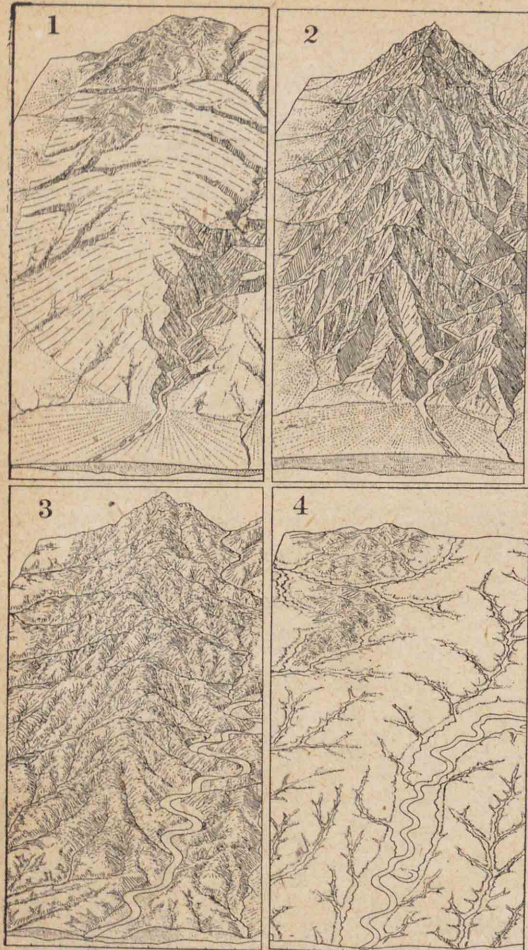
六 生物の作用

植物の根は、岩石の隙間に入込んで、これを破壊し、又枯



陸繋島と海蝕崖

タガ-104A



1. 幼年期地形 2. 壯年期地形
3. 老年期地形 4. 準平原

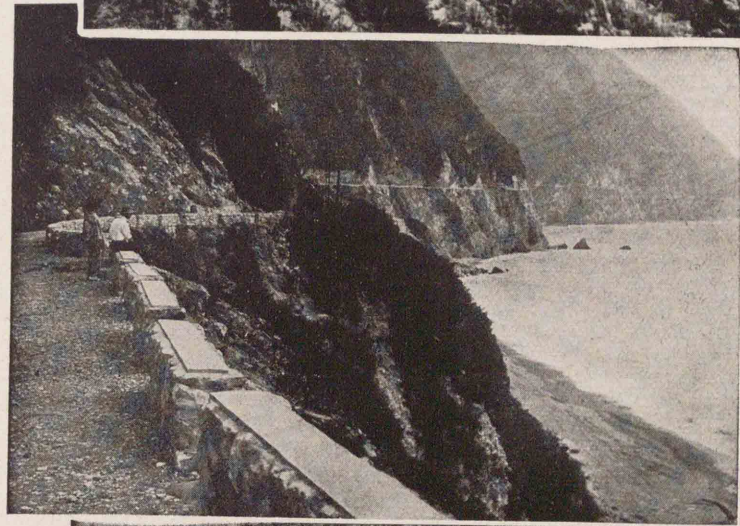
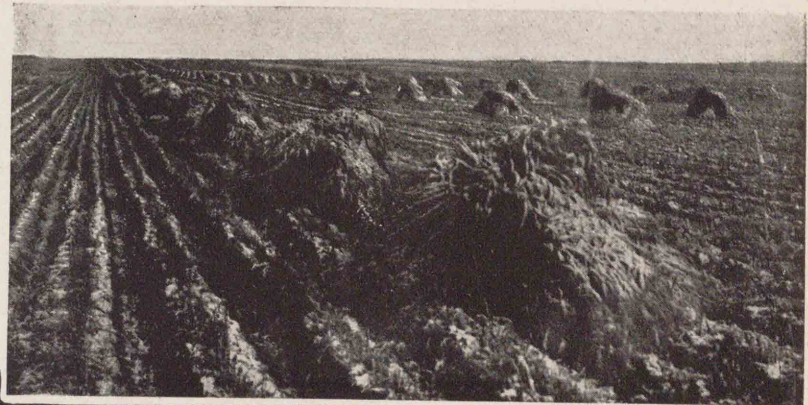
地形の輪廻

死しては土壤の一部となる。有孔蟲等の遺骸は堆積して石灰岩地を作り、人類も亦地形を變化させることが多い。
地形の輪廻 内力作用によつて土地が新に生ずると、侵蝕作用は直ちにこれに働きかけて、漸次形態を變化させる。即ち幼年期壯年期老年期を経て準平原となし最後に侵蝕の行はれな

い基準面にまで削平する。準平原が再び上昇すれば第二次の侵蝕を

海岸と平野

開拓進む滿洲平野



臺灣東部の斷層海岸

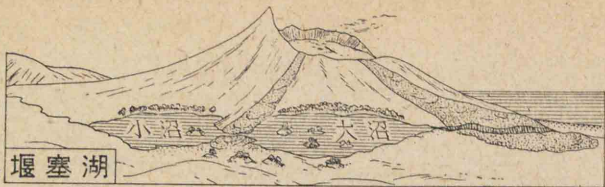


リアス式海岸の港(三重縣)

繰返すのである。この變化の系統を地形の輪廻といふ。幼年期地形は僅かに浅い谷が穿たれて、土地に起伏がなく、單調である。壯年期地形は、我が中部山地の如く峰が高く聳え、谷は愈深くなり、交通の障壁となるが、森林を藏し、風致を添へてゐる。老年期準平原地形は、中國山地阿武隈山地等の如く、概ね高原狀をなし、牧場や耕地に利用される處が多い。

設問

- (一) 郷土の地は、下降性か上昇性か。
- (二) 火山地域に住む者の、生活上の注意を述べよ。
- (三) 地震地帯に住む者の、生活上の注意を述べよ。
- (四) 郷土近くの地形は、地形輪廻の上に於て、如何なる過程にあるか。



湖沼

堰塞湖

第二節 水界

湖沼は成因によつて堰塞湖・火口湖・カルデラ湖・海跡湖・河跡湖



海洋

海洋 地球表面の七割餘を占め、三大洋

とこれより分れた數多の海灣とより成る。海岸より約二百米の等深線までは、概ね遠浅で陸棚と呼ばれ、それより急傾斜して深海となるのが普通である。

陸棚には、海藻が繁茂し、微生物が集り、魚介類が棲んで、重要な漁場となり、その面積の大小は、漁業の盛衰を決定する。



阿寒カルデラの一部

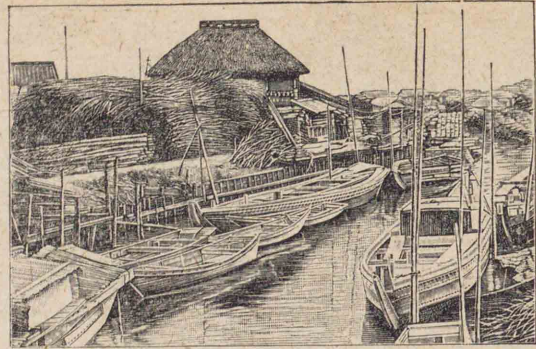
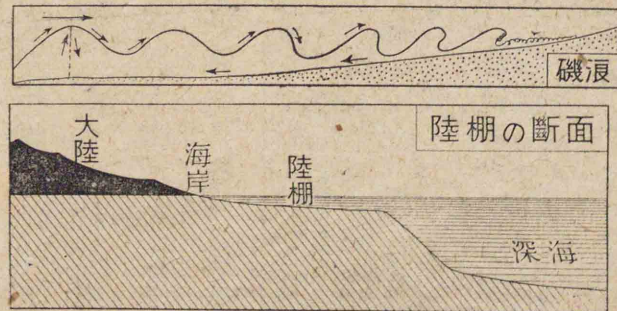
湖・潟湖・氷河湖等に分けられ、又水質によつて鹹湖・淡水湖にも分れる。湖沼は一般に風光が明媚で、水力を給し、交通を助け、灌漑に利用され、涸渇しては豊沃な湖底平野を残す。我が國の湖沼は淡水湖が主で、灌漑養魚發電觀光等に利用されてゐる。



海水の成分

海水の成分は、平均千分ノ三十五で、鹽化ナトリウムが最も多い。海水の成分は水溫、底質と共に水産業に影響する。瀬戸内海の製鹽、東京灣の海苔、廣島灣の牡蠣養殖等は、この關係を示してゐる。

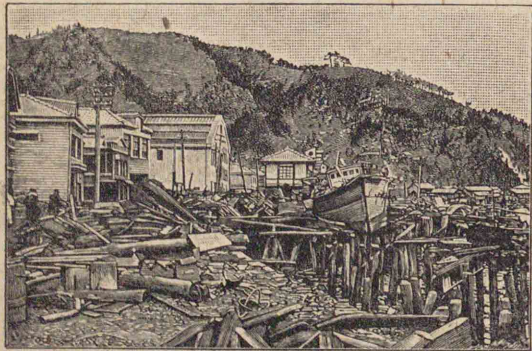
海洋は直接に人類の住所とはならないが、水産業發達の源泉となり、又重要な交通路となつて、商業文化の發展に大なる貢獻をなしてゐる。従つて國家は海洋に臨むのを有利とし、内陸國は海洋への出口を求めて止まない。



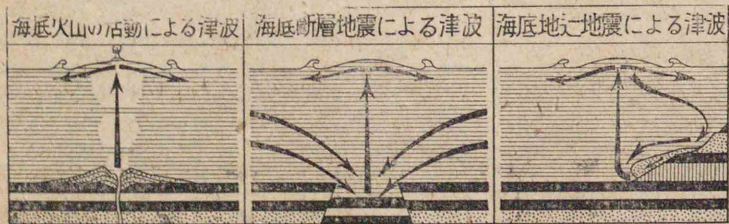
東京灣の淺草海苔採取船

海水の運動

寄せて慘害を與へることがある。明治十九年クラカタア島の爆發には、三十米の高浪を生じて全島を洗ひ去り、



三陸海岸を襲つた津浪の慘禍

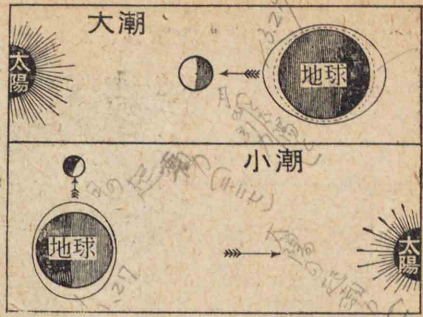


海水の運動

波浪は、主に風によつて起る水分子の運動である。波浪が淺い海岸に打寄せると、波峰は前方に倒れ懸つて磯波を生ずる。磯波は破壊力が甚だ大で、陸地を侵蝕する。

津浪

海底火山の爆發、海震、暴風等のために起るもので、陸上に押



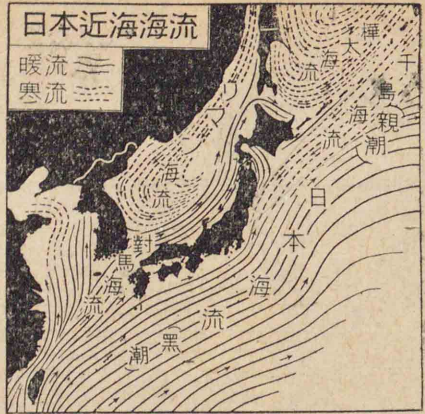
昭和八年の三陸地方の津浪は數千の人命を奪ひ、多くの村落を破壊した。津浪はラッパ状に深く入込んだ灣の奥に最も害の多いものであるから、聚落を營むには、地形を考慮せねばならぬ。

潮汐 海面は一日、二回づゝ昇降し、海岸では上げ汐、引き汐を生ずる。これが潮汐で、月と太陽との地球各部に及ぼす引力と、これに對する地球の抵抗力とによつて起る。潮汐

干満の差は、海洋の中央に小で、灣入する淺海に大である。東京では一・三米、仁川では八・一米に達するが、日本海岸は概ね〇・二米以下である。干満の激しい三池、仁川の如き港では、閘門式の設備を施してゐる。潮汐による海水の流れを潮流といひ、鳴門海峡は潮流の速いので知られる。

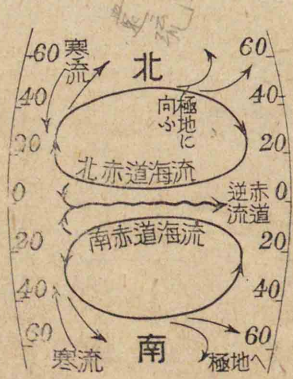
海流

海水が絶えず一定の方向に流れるのが海流で、卓越風や、水



温・鹽分による比重の差等に原因する。我が近海には、日本黒潮、對馬の暖流と、千島親潮、樺太リマンの寒流とが流れてゐる。暖流と寒流とは、共にその地方の氣候、生物分布等に變化を與へ、延いては

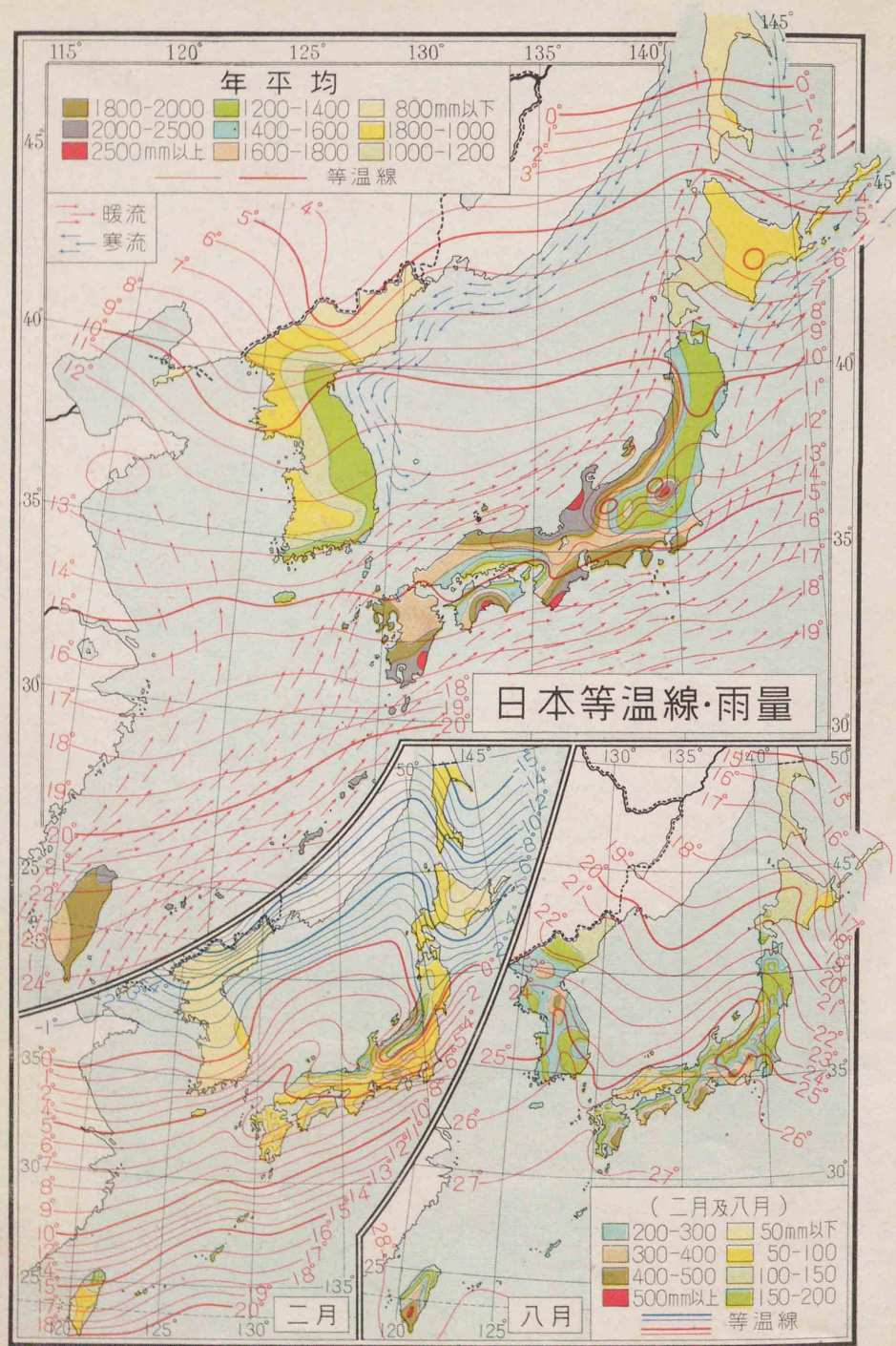
海流の一般的方向



水産業、農業、交通等に影響することが大きい。

西歐諸國が緯度の割合に暖く、樺太の東岸が西岸に較べて割合に寒冷なのは、

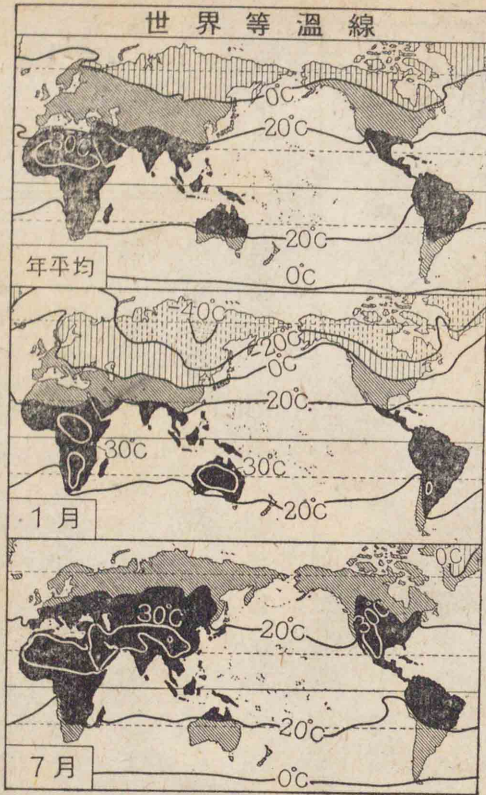




海流のため、又古來屢、起る奥羽東部の冷害は、千島海流の影響によることが多い。航海は海流に従ふを利とし、我が國より北米に向かふ船が、殊更、進路を北東に取るのも一はこのためである。寒、暖二海流の會點附近には屢、濃霧が発生して航行を妨げ、又日射を遮つて、鋤路根室海岸地方の如く農業を不振にする。然し一般に魚類が群集して好漁場となる。

設 問

- (一) 山地湖と平地湖とは、利用する上に如何なる相違があるか。
- (二) 海底の深さと水産業との關係を問ふ。
- (三) 津浪の害の多い處はどんな處か。又どうしてこれを防ぐか。
- (四) 潮汐干満の差の大なる場所では、港に如何なる特殊設備を必要とするか。
- (五) 我が國で潮流の最も激しいのは何處々々か。
- (六) 日本の主な水産業地と海流との關係を問ふ。

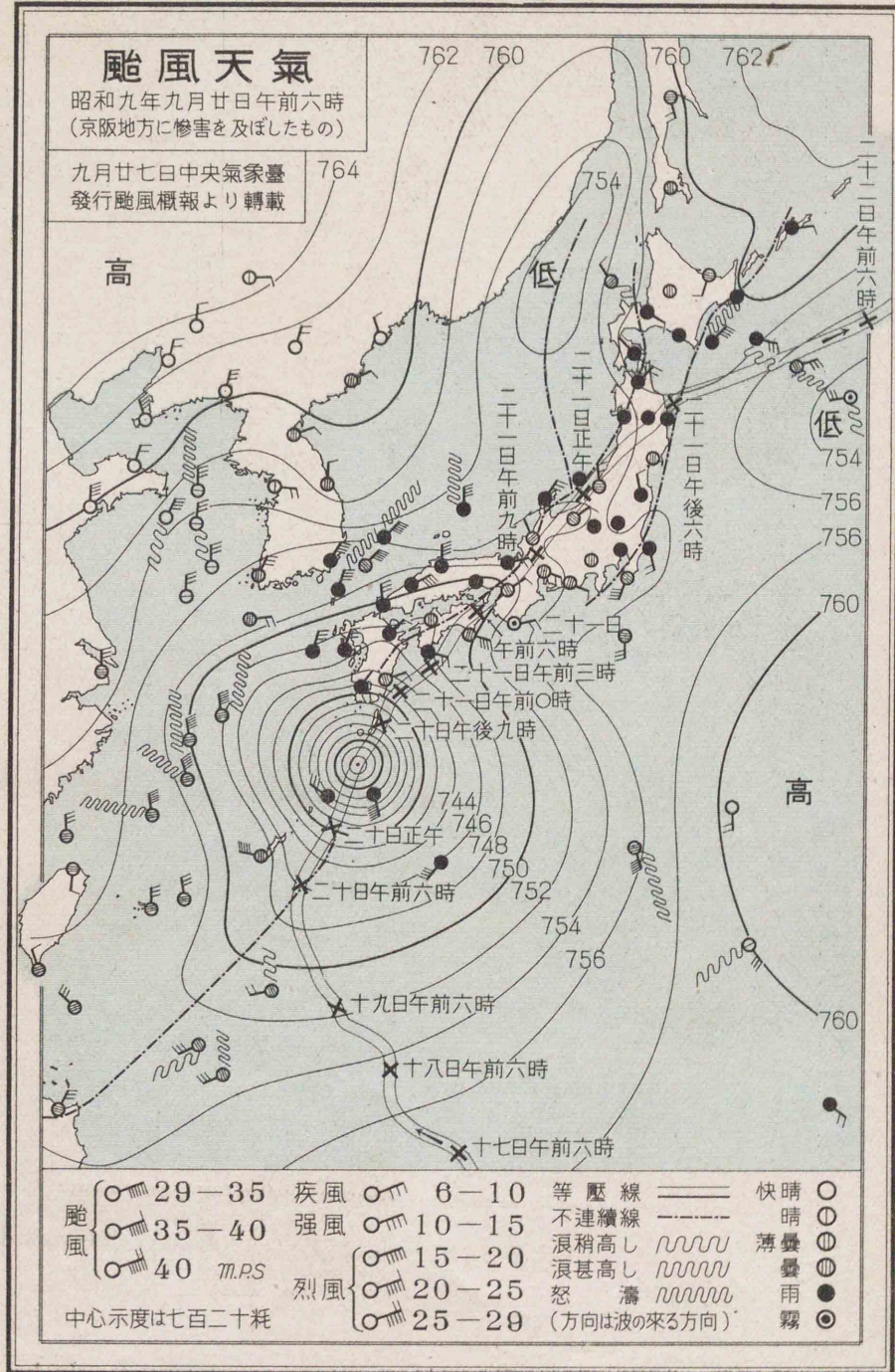
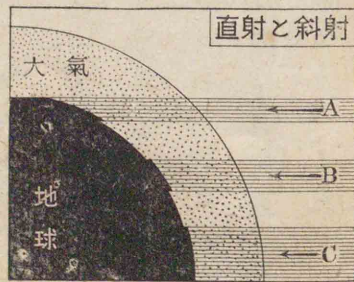


各地の気温を同時に測り、これを

気温気圧

第三節 氣界

気温気圧 大氣の温度は太陽熱によつて生ずる。従つて太陽の直射する赤道附近に気温は高く、斜射する兩極地方に低い。然しこの外に、土地の高低水陸の分布、海流、風向等によつても異なる。氣

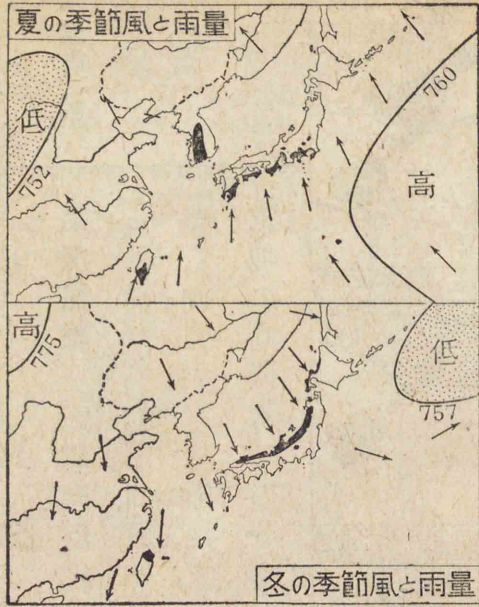


颱風天氣
昭和九年九月廿日午前六時
(京阪地方に慘害を及ぼしたもの)
九月廿七日中央氣象臺
發行颱風概報より轉載

29-35 疾風 35-40 強風 40 m.p.s 烈風	6-10 10-15 15-20 20-25 25-29	等壓線 不連續線 浪稍高し 浪甚高し 怒濤 (方向は波の來る方向)	快晴 晴 薄曇 曇 雨 霧
-------------------------------------	--	--	------------------------------

中心示度は七百二十耗

季節風



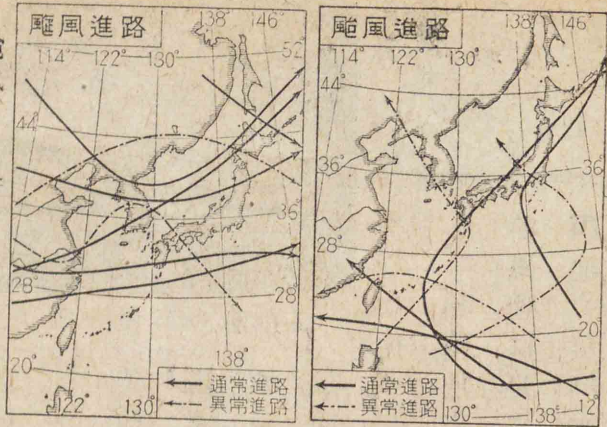
地球の表面

海面上の気温に更正し、等温度の諸點を連ねた線を等温線といひ、同様にして等氣壓を示す諸點を連ねたものを等壓線といふ。

風は二地點の氣壓の差によつて生じ、高氣壓の地から低氣壓の地に向かふ。我が國と關係の深い風に季節風、颶風、颶風がある。季節風 南東アジアを始め、濠洲、アフリカ、北米の一部に發達する

もので、大陸と海洋とは夏と冬によつて氣壓の配置を異にしたために季節によつて風向が變る。アジアの季節風は、夏に日支ては南東風、インドでは南西風が吹き、冬はこれと反對になる。季節風は、方向が一定してゐるため、古來帆船の航行に利用され、又季節風帯は夏季に多雨であるから、稻茶等の栽培に適する。

颶風



地球の表面

我が國は颶風や颶風に襲はれることが多いから、家屋を耐風構造とする外、防風林の設定、警報の徹底等に努めなくては

颶風 熱帶地方に發生する低氣壓を一般に颶風といひ、夏秋の交、我が國に襲來するものは特に颶風と名づけられる。多く臺灣、フィリピン、マリアナ附近、小笠原諸島近海に發生し、その進路は、日本海流の方向をとる場合が多く、往々、人畜、農作物、船舶等に大損害を及ぼすことがある。颶風 熱帶以外に發生する低氣壓の一種で、シベリア、支那方面に發生し、冬季に裏日本及び北海道、樺太方面を襲ふ。





高田の大雨倉庫 奄美大島の倉庫

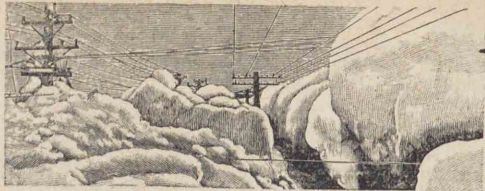
ならぬ。

湿度 湿度は、直接人類の活動能率を支配し、又産業にも著しい影響を與へる。栃木縣の干瓢、長野縣の製絲等は、空氣の乾燥が發達の一因をなし、福井縣の羽二重は、濕潤な空氣を利用して發達した。世界の二大綿業國たる日英が共に空氣の濕潤な國であるのも、偶然ではない。

降水量雨量 雨雪等の、大氣中より降る水分の總量を降水量といひ、雨量計によつてこれを測る。降水量は地形、風向、海流等によつて各地に相違があり、一般に緯度の高まるに従つて遞減する。又同一地方でも季節によつて多少がある。熱帶地方の赤道附近は、常雨帶といつて一年中雨が降り、季節風帶は、夏に雨が降り、殊にインドのアッサム地方は、世界第一の多雨地で、年降水量一萬二千五百耗に及んでゐる。降水量の少い地

湿度
降水量

天氣

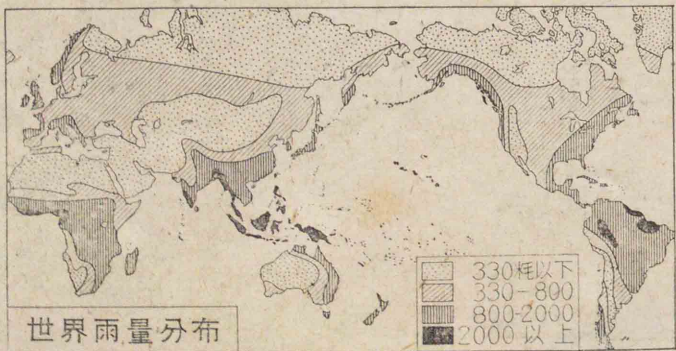


高田附近の積雪

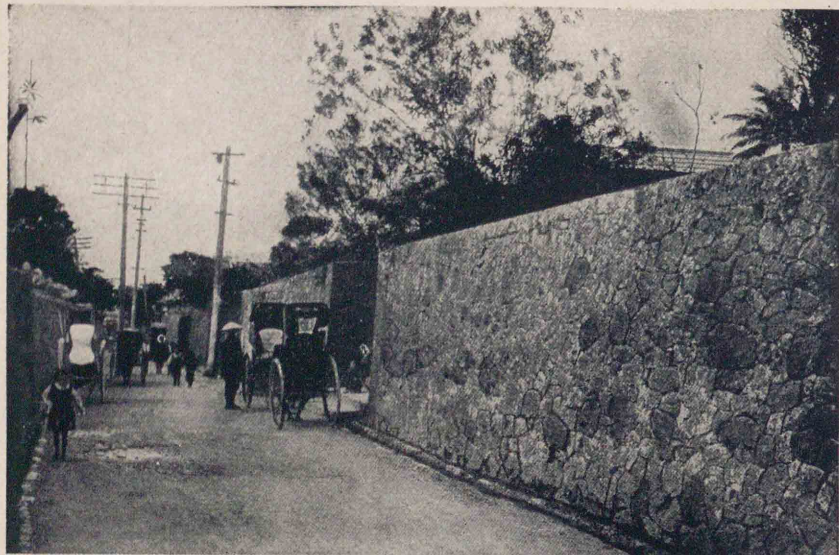
方は、サハラからアラビアを経て、中央アジア、蒙古に至る一帯で、沙漠をなす處が多い。我が國は一般に降水量が多く、特に關東以西の表日本、臺灣北部等は、多雨地である。冬季裏日本の深雪は、産業、交通に著しい影響を與へ、六月頃、奥羽以南一帯の梅雨期には、陰鬱な天氣が続くが、田植には適する。

天氣 天氣は時々刻々に變化するもので、將來の天氣を豫知するには、廣い區域に互つて常に科學的の觀測を行ふ必要があり、我が國は全國百餘の測候所によつて觀測する。

然し、天氣は日本では西から東に向かつて變化して行く傾向が多いから、支那、滿洲國からも通報を受けて、天氣豫報の資料とする。



氣候



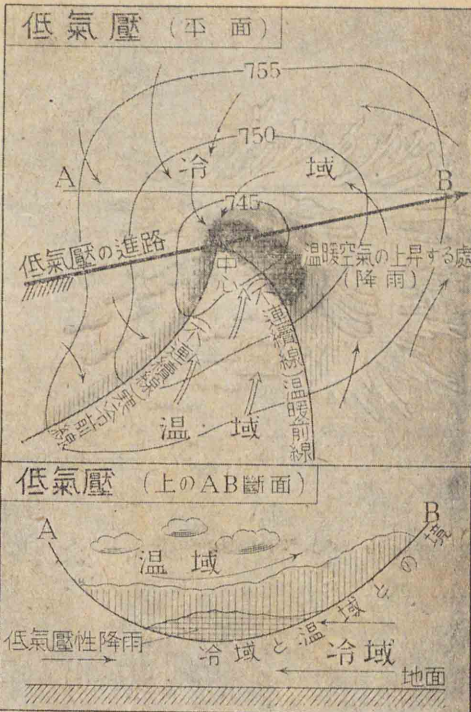
暴風を防ぐ石垣 (沖縄)



雪と人生 中部山岳のスキー場

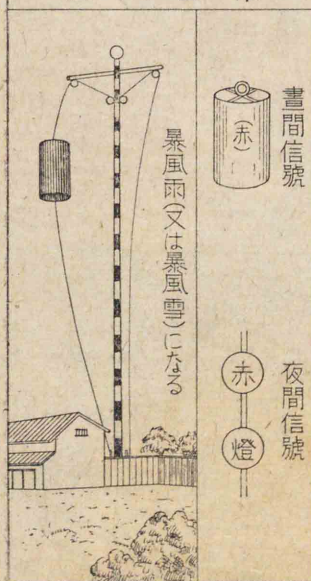
不連続線
天気と人生

心を要するものは、農業者・漁業者・交通業者等て、天気豫報、就中暴風の襲來を豫報する氣象特報は、これ等業者の注意を怠らない所である。風



地球の表面

暴風警報



颱風は南方から襲來するので、南方海上に移動観測船を派遣してゐる。不連続線 低気圧の近づく時、寒冷の風と温暖な風とが接觸する場合があり、その界面は極めて不安定の状態となつて、天氣が悪くなる。この界線を不連続線といふ。天気と人生 天氣の變化に最も關

氣候



洪水の慘禍 岡山

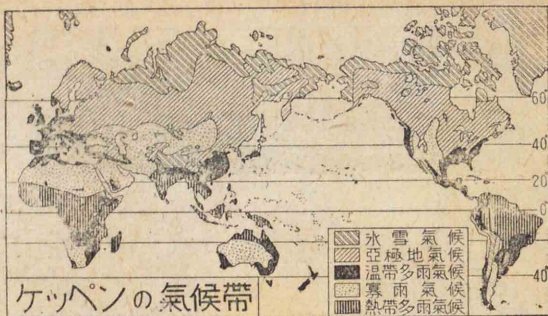


乾燥氣候のサハラ



颱風一過の跡 東京

氣候



強かるべしと聞けば、漁船は出漁を見合はせ、暴風の位置を知れば、洋上航行の汽船はその進路を変更して、これを逃れることが出来る。大暴風や洪水の災害を防ぐには、耐風建築と治水工事が必要である。

氣候 氣候は長期に互る天氣の平均状態で、緯度の高低、土地の高低、地形及び水陸分布の状態等によつて異なる。世界は緯度によつて寒温熱の三氣候帯に分けられるが、各地に於ける氣候の相似性によつて、種々の氣候區に分けることが出来る。これを大別すれば次の通りになる。

(一) 熱帯氣候區

- (1) 高温終年多雨型 (赤道常雨帶)
- (2) 高温半年多雨型 (熱帶季節風帶)
- (3) 高温少雨型 (沙漠又はサヴァンナ)

地球の表面

- (二) 温帯氣候區
 - (4) 温暖夏雨型 (温帯季節風帯)
 - (5) 温暖冬雨型 (地中海式)
 - (6) 寒暑酷烈少雨型 (内陸式)
- (三) 寒帯氣候區
 - (7) 寒冷少雨型 (ツンドラ)

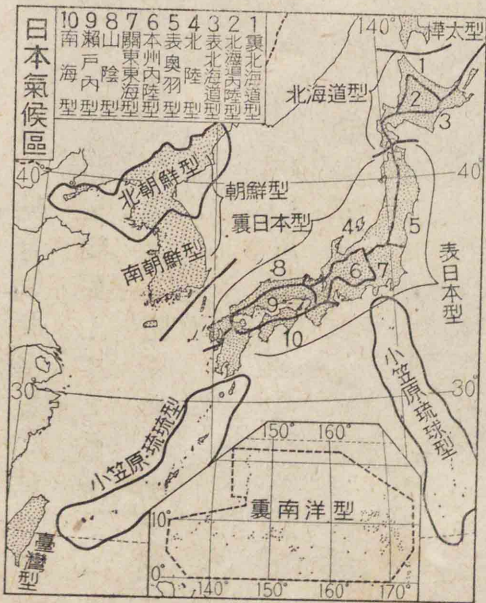
日本の氣候區

我が國土の大部分は温帯氣候區に屬し、四圍に海



日本の氣候區

を繞らすので、一般に温暖多雨で寒暑の差が少く、且四季の變化があつて、國民の健康に適し、活動力を旺盛にする。然し國土が南北に長く、又地形海流季節風等の相違によつて次の十六區に分つことが出来る。



氣候と文明

人類は直接、間接、氣候の影響を受けることが大である。熱帯は、衣服住居が簡單で食料も得易い上に、高温のため心身が弛緩して、遊惰に陥り、向上發展性に乏しい。寒帯は生活物資が少く、衣食を得ることに追はれて、他を顧みる餘裕が無いから、文化



- 樺太型
 - 表北海道型
 - 裏北海道型
- 北海道型
 - 表奥羽型
 - 裏奥羽型
- 表日本型
 - 關東・東海型
 - 南海型
- 裏日本型
 - 北陸型
 - 山陰型

氣候型と農作物關係

北陸型 冬多雪、米作
山陰型 冬多雪、米作
關東・東海型 冬少雪、米作
南海型 冬少雪、米作
北陸型 冬多雪、米作
山陰型 冬多雪、米作

- 本州内陸型
 - 瀬戸内型
 - 朝鮮型
 - 北朝鮮型
 - 南朝鮮型
- 小笠原琉球型
- 臺灣型
- 裏南洋型

瀬戸内型 雨少、米作
朝鮮型 雨多、米作
北朝鮮型 雨多、米作
南朝鮮型 雨多、米作
小笠原琉球型 雨多、米作
臺灣型 雨多、米作
裏南洋型 雨多、米作

の發達に適しない。これに反し、温帯は氣温が中和で心身に適し、四季循環して希望と刺戟とを與へ、勤勞に應じて衣食が得られるから、經濟及び文化の發達に適する。

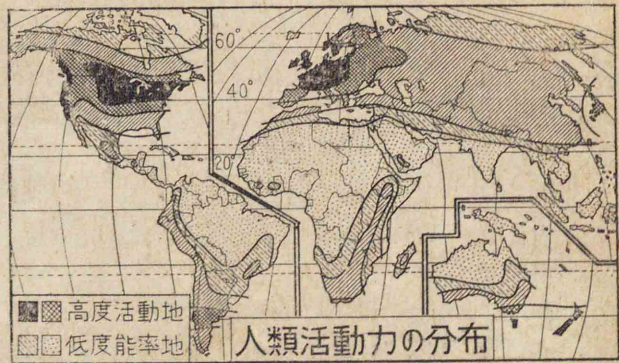
即ち人類の活動力は温帯に於て最高度を示すもので、近代の文化民族國家は何れもこゝに位する。又降水量が多ければ植物がよく育ち有用動物も多くて生活資源が豊かであるが、雨が少いと沙漠又は草原となつて有用の動植物が少く、文化發達の可能性に乏しい。

氣候と生物

生物の分布は、種々の地理的環境に支配



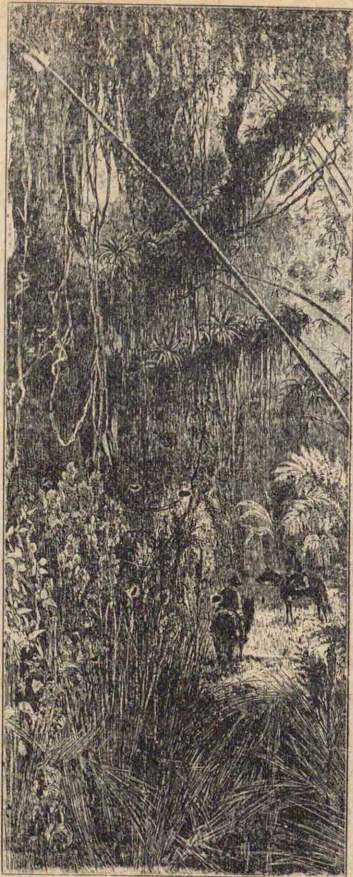
椰子の葉蔭に踊るバプア土人



人類活動力の分布

氣候と生物

されるが、中でも氣候の影響は最も大きい。熱帯多雨地には種々の巨大な植物が繁茂し、鳥類や爬虫類が多いが、雨が少ければ草原をなして巨獸猛獸が多く棲息する。寒地では動植物共に種類が少く、極地の氷原は殆ど無生物地域をなす。温帯は兩者の中間にあつて、人類に有用な動植物が多く、又人工による移植繁殖も行はれ、分布は最も複雑で、種類も亦非常に多くなつてゐる。



森林の多雨地アマゾン河岸

あつて、人類に有用な動植物が多く、又人工による移植繁殖も行はれ、分布は最も複雑で、種類も亦非常に多くなつてゐる。

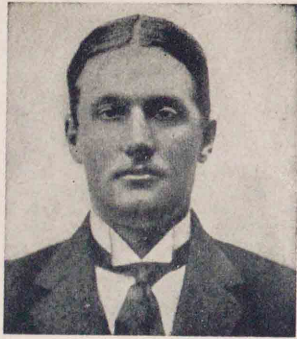
設問

- (一) 天氣豫報は如何なる方法によつて一般に告知されるか。
- (二) 樺太と臺灣との生活様式の相違を、氣候の關係から説明せよ。
- (三) 世界の文明國が總べて温帯の海岸附近にある理由を述べよ。

人種



ヨーロッパ人種
ラテン族



ヨーロッパ人種
チュートン族



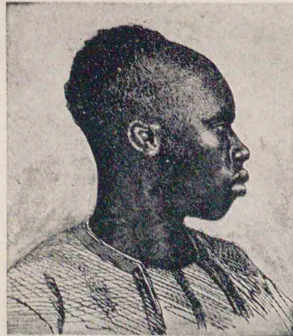
アメリカ人種
アメリカインディアン



アジア人種
漢族



アジア人種
トルコ族



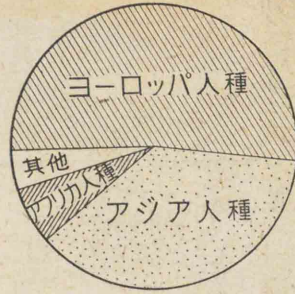
アフリカ人種
ネグロ族



アフリカ人種
小ネグロ族



海岸島嶼住民
マレー族



人類の分類

住 民

第三章 住民

第一節 人種

人類の分類 人類を體質上から大別したものを人種といひ、人種を区分して種族とする。又之に文化を加味して區別したものが民族である。世界の人種は普通アジア・ヨーロッパ・アフリカ・アメリカの四人種と、その何れにも屬しない海岸島嶼住民とに分ける。

アジア人種 皮膚黄色、頭髮は黒く直毛である。總數八億五千萬、アジア洲の東半部を本據として、ヨーロッパの一部等にも分布する。往時、文化の繁榮を誇つた種族もあるが、今日では、日本民族が大いに發展してゐる外は概ね振はない。

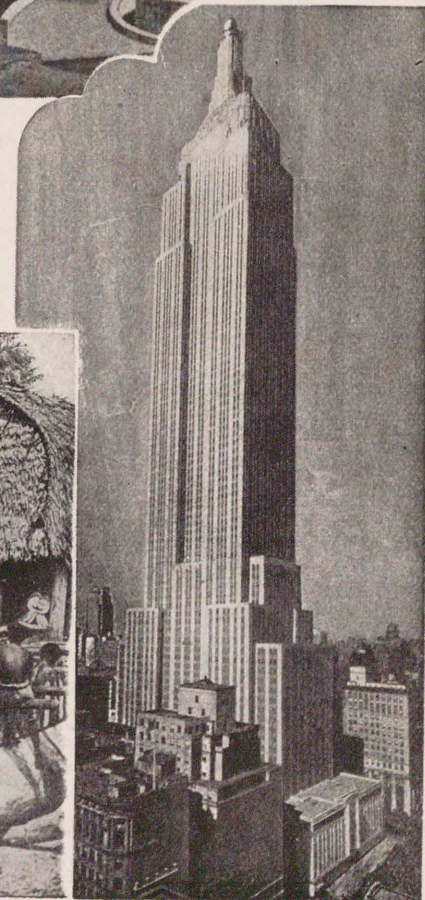
ヨーロッパ人種 皮膚が白色をなし、頭髮は波狀で、蒼色を呈する。總數十億餘、ヨーロッパ・南西北アジア・アフリカを

人種と文化

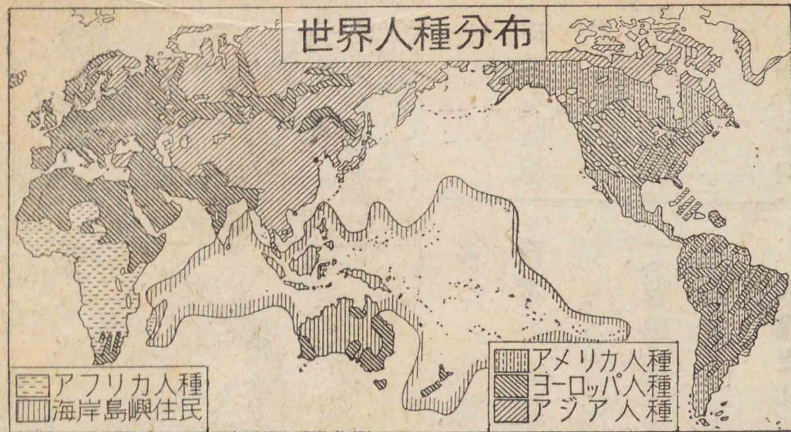
アメリカ文化の一面
ニューヨークの高層建築



日本文化の誇り
東京帝室博物館



バブア土人の生活

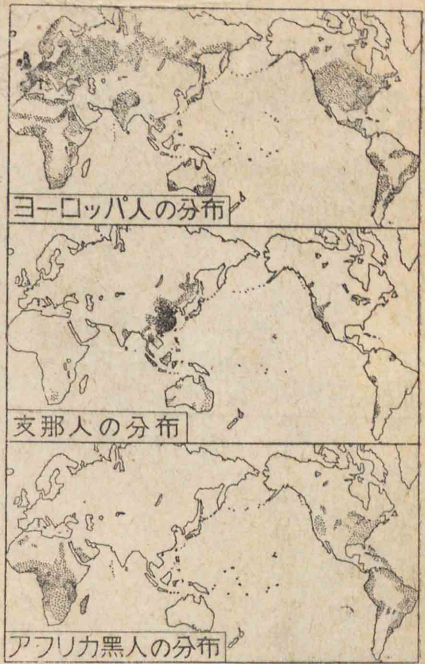


住
民

本據として、兩米及び濠洲にも多く移住し、科學文明に長じて、多くの富強な國家を建設し、現代世界文明の指導的地位に立つ民族が多い。然しインドや北アフリカ方面に住む二三の種族は、皮膚が稍黒色に近いので、ヨーロッパの白色人種から、有色人種として蔑視され、壓迫を蒙つてゐる。

アフリカ人種 皮膚が黒色で唇が厚い。頭髮は黒くて羊毛狀に縮れてゐる。總數は約一億五千萬で、アフリカの中部以南に住むが、アメリカに移住した者も多い。

アメリカ人種 アメリカインディアンとも呼ばれ、皮膚が褐色で、頭髮は黒く直又は波狀を呈する。今は多く白人と混血し、總數は四千五百萬である。前



者と共に文化の程度が低く、概ね白人の支配下に生活してゐる。

海岸島嶼住民

インド南東アジア大

洋洲等の各地に分布し、總數五千萬で、數多の種族に分つことが出来るが大體はアフリカ人種に近いものが多い。その中、比較的優勢なのはマレー族で

ある。居住地の關係上、一般に文化は發達してゐない。

日本の民族

日本の民族 我が國は天孫種族を中心として成立した族制國家である。太古より多くの種族が皇室の御仁慈、國內の太平を慕つて來屬投化した。が、悉く本來の天孫種族に融合同化し、忠烈無比で素質優秀な大和民族、日本民族を形成してゐる。

人種と文明

人種と文明

世界各人種の文化の程度は、地勢氣候等、自然的環境の影響

を受け、土地低平で、氣候の溫暖・濕潤の地が最も文明の發達に適する。現

代は白色人種が覇權を握り、世界を濶歩してゐるが、嘗ては黄色人種が全盛を極めたことがある。最近では黄色人種の日本民族が白人を凌いでゐるのを見ると、文化の程度は必ずしも人種と關聯するものではない。

問

(一) 人種別の人口比較グラフを作れ。

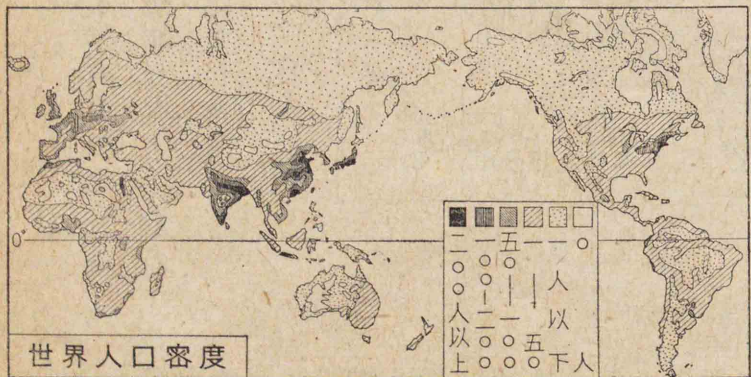
設

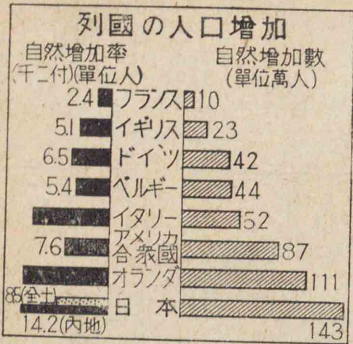
(二) 世界最古の文明は、如何なる人種によつて發達したか。

第二節 人口

人口

人口 世界の總人口は二十一億を數へ、その一半はアジアに、四分の一はヨーロッパに、九分は北米に住み、その他はアフリカ、南



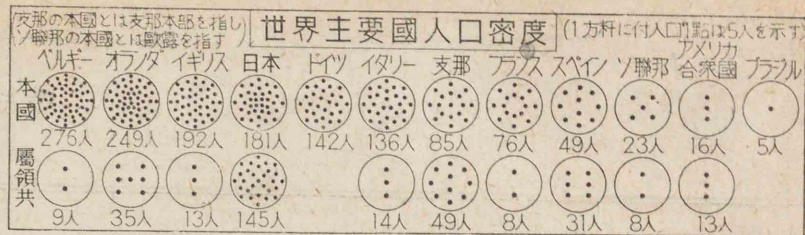


住
民

我が國の人口密度は、一方籽につき全國平均百四十五人、内地は百八十一人に達し、ベルギー・オランダ・イギリスに次いで世界第四位である。然し、山地が多く平地が乏しいから、平地の割合からいへば、全く世界一の稠密國である。猶海外に資源を持たない結果、既に人口は飽和點に達してゐる。

人口の増減 出生と死亡との差による人口の増加を自然増加といふ。世界の人口は概して増加しつつあるが、民族別に見るときは、自然増加の大小は異なり、一般未開

人口密度



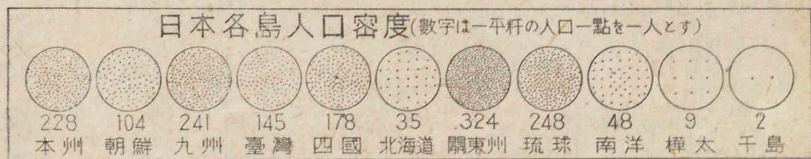
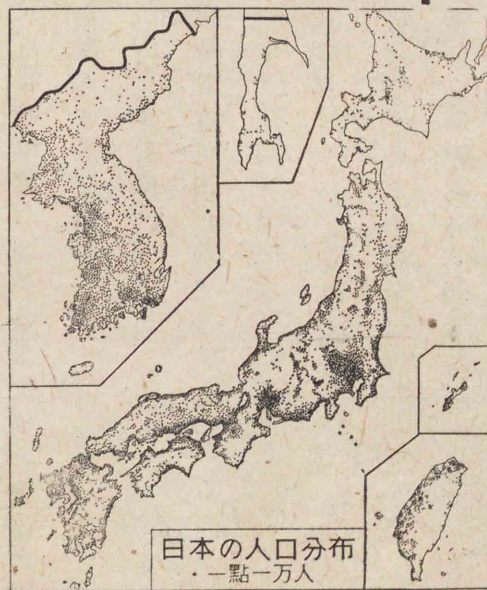
住
民

米大洋洲に分布してゐる。

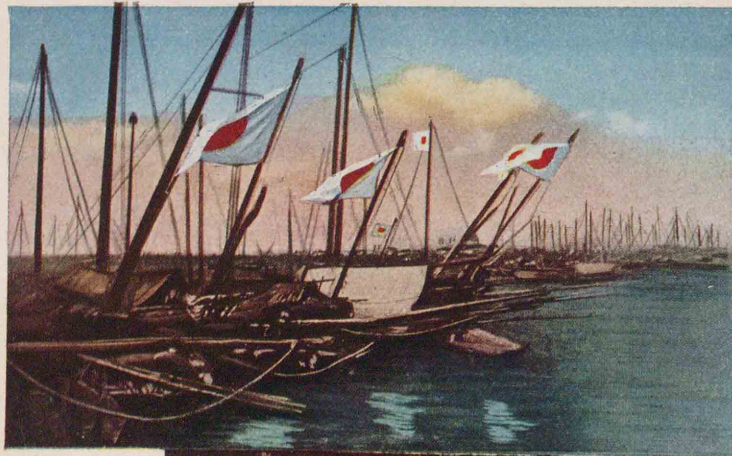
文明國では國勢調査により、人口數を精査するが、未開地方では概算による外はない。殊に支那は戶籍簿もなく、人口は明瞭を缺き、これが概算に無慮一億の誤差がある。

人口密度 世界の人口密度は平均一方籽十六人で

あるが、處によつて密度に大差がある。それは自然環境と住民の素質の相違とによつて、生活資材の種類と分量とに大差があるためである。即ち氣候



移民の活動



日章旗を掲げて活躍する
フィリピンの日本漁船
タバオモヤシ



満洲の日本移民住宅



曠野を拓く北満の日本移民

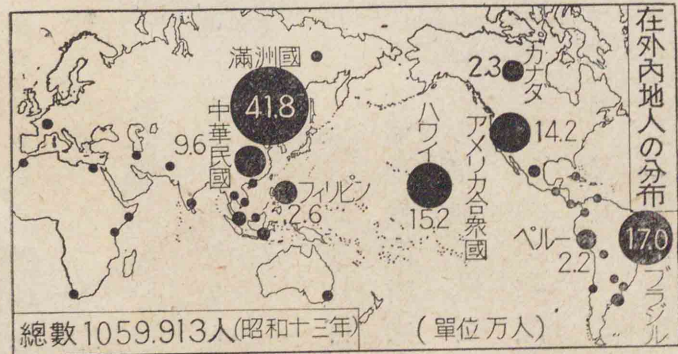
人口の増減

住 民

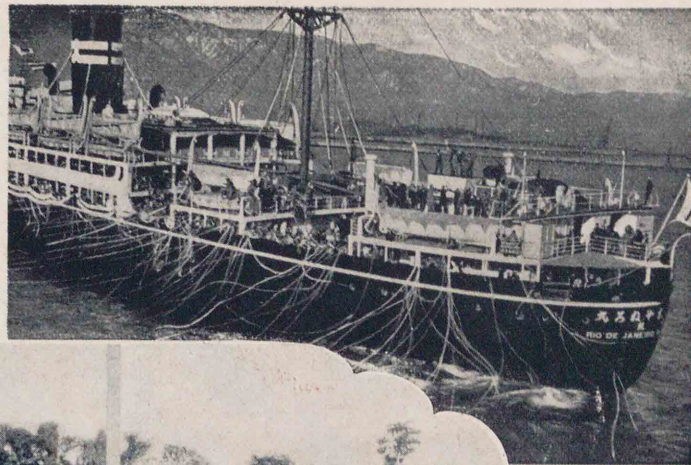
の民族にあつては概ね増加せず、或は減少の傾向がある。文明國
民でも、近年は増加率の少ないものがあり、フランスの如き、多年殆ど
増加しない。最近五箇年間の自然増加率
を比較すると、我が内地は千人に付十四人
二分、朝鮮は十五人七分、ブルガリア、南阿
聯邦に次いで世界第三位である。

人口の移動

人口の移動 人の來住又は移住による増
減を社會的増減と名づけ、自國の新領土に
移るのを植民、他國領土への移住を移民と
いふ。南米諸國の如きは社會的増加が頗
る大であるが、ポルトガル、デンマークの如
きは、却つて減少を見てゐる。かゝる人口
の移動は、必ずしも稠密な地方から稀薄な



移民の活動



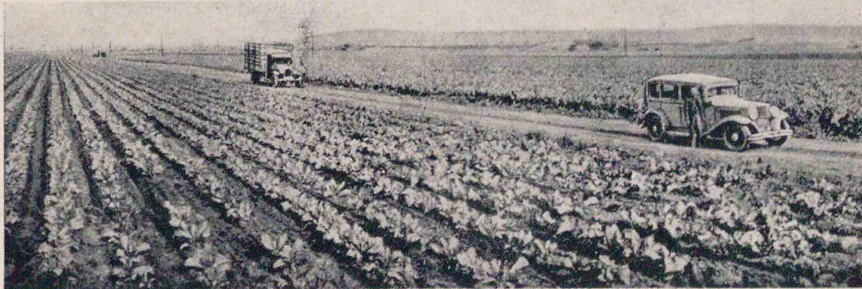
『祖國よさらば』
南米に向ふ移民船



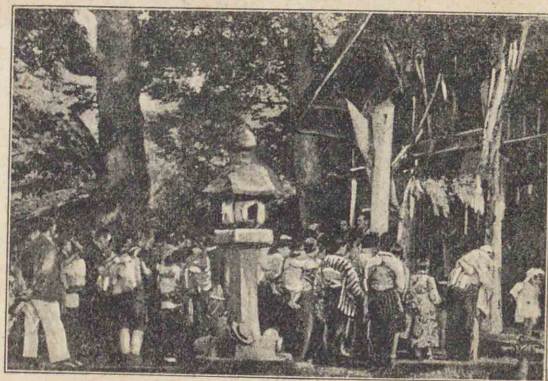
アマゾン密林の
邦人麻栽培



タワオの邦人街



北米加州で成功せる日本移民の蔬菜園

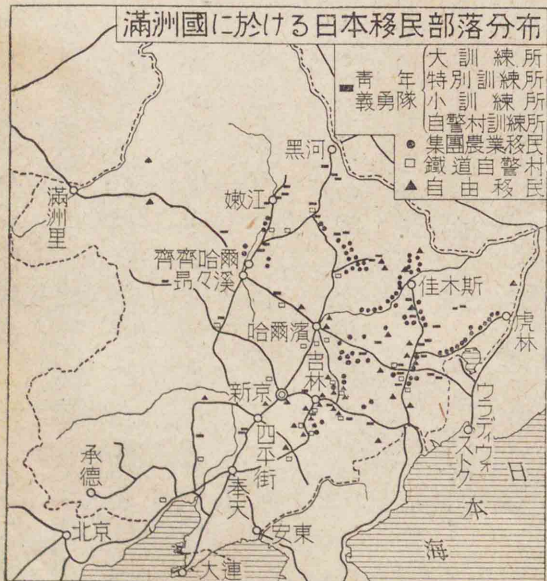


神社参拜 村を擧げて大陸へ

地方へのみ移動するとは限らず、時としては反対に、稀薄な地方から稠密な地方へ、移動する場合もある。これは生活資源の大小によるものであつて、概言すれば生活程度の低い地方から高い地方へ、移動するものである。

我が國の人口は、既に飽和點に達し、而も自然増加が甚だ大であるから、海外發展の移民を特に必要とする。我が内地人の移民は總數百五萬で、滿洲國、ブラジル、支那、ハワイ等に多い。近時

住 民



滿洲國との協定により、二十箇年五百萬人の移民計畫を立てて著
 著實行してゐる。然しその數は自然増加數に比して非常に僅少
 であるから、一面國內の商工業を盛にして、生活資源を培養すると
 共に、他面外交による移民の保護、移民の市民權獲得等によつて、そ
 の増加と政治的不安の除去とに努力しなければならぬ。

(一) 世界人口稠密地方を列擧して、その理由を述べよ。

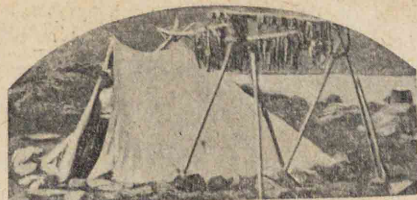
(二) 我が國民の各種族は、各、何人種に屬するか。

(三) 田舎の人口が減つて、都市の人口が激増するのは何故か。

(四) 我が國の主な海外移住地を擧げよ。

設問

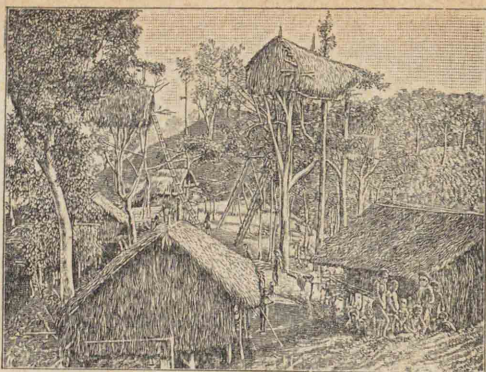
第三節 生活 文化



ラブラドル漁民の天幕生活

衣食住

衣食住 世界の住民は、各衣食住の材料形式等を異にし、その
 種類が極めて多い。これは住民の環境と文化發達の程度及び民



樹上家屋 英領バプア

族の習性とが夫々異なるからである。極寒地方の
 住民は、時として氷の家を建て、海獸の毛皮を著、魚類
 を常食とするが、草原の住民は天幕に住し、羊皮で衣
 服を作り、獸肉・乳を常食としてゐる。又熱帯地方で
 は樹上或は水上に住居を營み、殆ど衣服を用ひるこ
 となく、主として野生の果實類を食料としてゐる。
 かく未開民族の衣食住が極めて簡易なるに反し、文
 化の發達した地方の住民は、その衣食住の資材を世

界の各地に求め、極めて複雑高尚な生活を營んでゐる。

日本人が米と魚肉とを主食物とするのは、全く環境によるのであつて、寬
 濶な衣服を用ひ、開放的な住居を營むのは、氣候に順應した結果である。
 木造平家建の多いのは、森林が多いことと、地震が多いためであつて、近代
 的都市にあつても、十階以上の高層建築は殆ど見られない。



毛皮に包まれる
パタゴニア人



アフリカのサヴァンナに於ける聚落

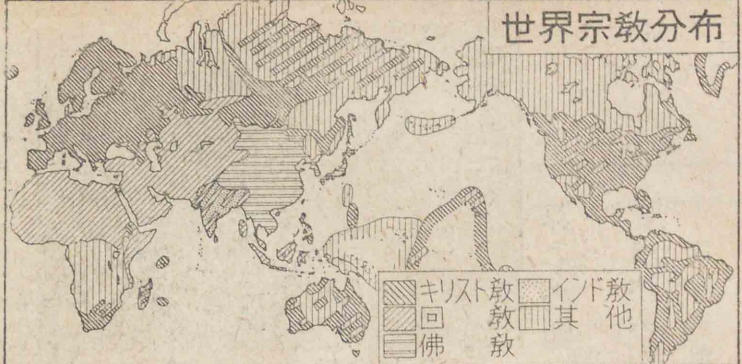
宗教
學藝言語

住 民

宗教

世界には多くの宗教が行はれてゐるが、中にもキリスト教

世界宗教分布



佛敎回教は、世界の三大宗教と稱せられる。その他、
インド敎、ユダヤ敎、儒敎等も信仰者が多い。我が國では
法律によつて信敎の自由が許されてゐるが、佛敎が最
も廣く行はれてをり、また神道も惟神の道として國民
の信仰を得てゐる。

學藝言語 哲學は嘗て東洋でも大いに發達したが、近
代科學はヨーロッパに於て最も發達し、東洋では日本
が歐米を凌ぐ程の發達を見せてゐる。世界の中學問
の組織の最も進んだ國はドイツで、美術に於てはフラ
ンスが覇を唱へ、音樂に於てはイタリーに及ぶ國は少
い。學問の發達には、氣候が最も大なる影響を及ぼす
が、地形、地質等も亦關係する所が少くない。

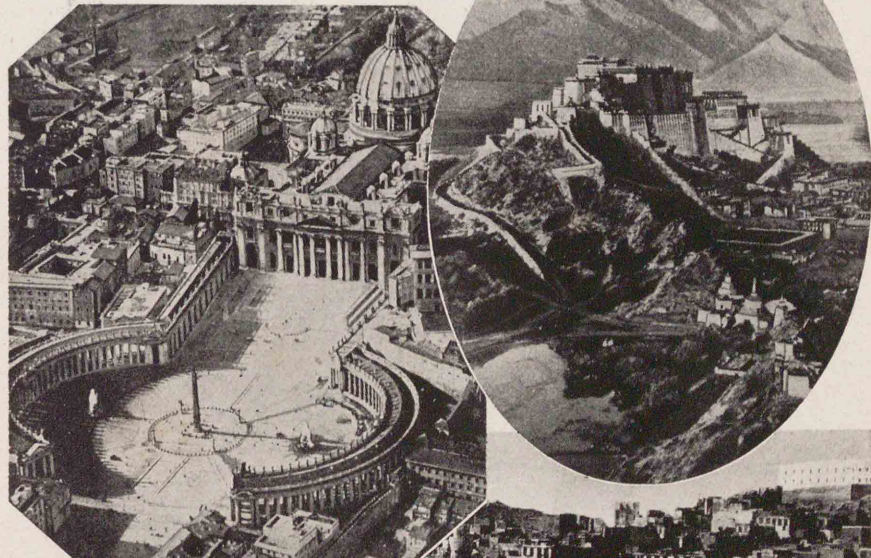
宗教

喇嘛教 達賴喇嘛の宮殿



佛教 京都の東本願寺

キリスト教 セントペテロ寺



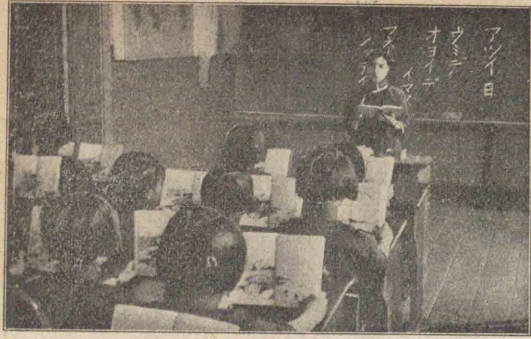
回教 メッカの寺院



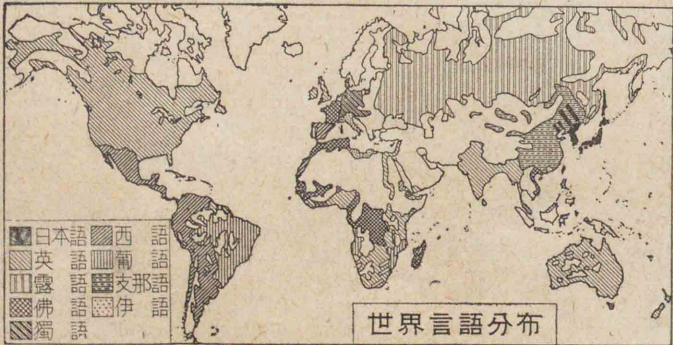
言語の巧み民衆のてまは言し (自子の傳説の文化と破壊する)

世界に行はれる言語は、その種類約四百に及び、英佛獨西の諸語は世界的に行はれ、就中英西語は商業上に、英佛語は外交上に、獨語は學術上に多く用ひられてゐる。國語の統一は國民の融合、國家の統治上、極めて重要である。支那の統一が困難なのは、交通不便で、方言が非常に多いことにも原因する。

文化の移動 人類は自然の制約を受けると共に、一方には人智によつて自然を支配してゐるから、文化の進むにつれて、文化地帯は移動する。即ち古代の文化は地味肥沃な河川の沿岸に榮えて、河川文明時



滿洲國女學校の日本語學習



代を形成したが、やがて縁海文明が起り、更に海洋文明の時代となつて、大西洋が先づ開け、次いで太平洋方面の開発を見ようとしてゐる。現在は更に高層の空圏までが文化圏内に入りつゝある。

設問

- (一) 夏と冬とで、衣服及び食物が如何に變化するかを詳述せよ。
- (二) 日本の如何なる學問が、世界に誇り得るか。
- (三) 日本各地の方言が、次第に薄れ行く理由を問ふ。

聚落の發生

第四節 聚落

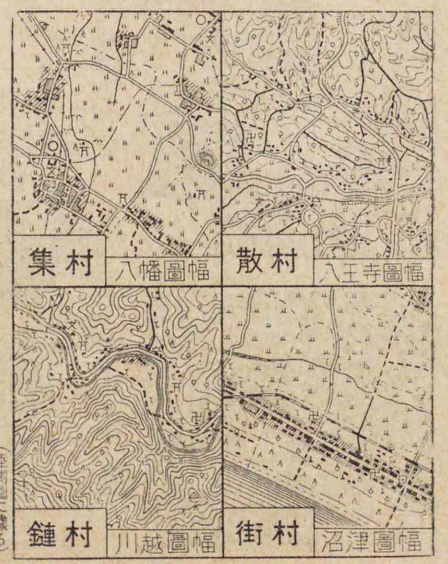
聚落の發生 人類は孤立して生活するものでなく、必ず相集つて共同生活を營んでゐる。その團體的居住を聚落といふ。聚落發生の位置は、地形が平坦で、日當りがよく、飲料水の得易い所が一般に選ばれ、又交通・産業・軍事・宗教・學術・政治等の施設のある所等に發達する。

聚落の種類 聚落には孤立家屋村落及び都市がある。村落

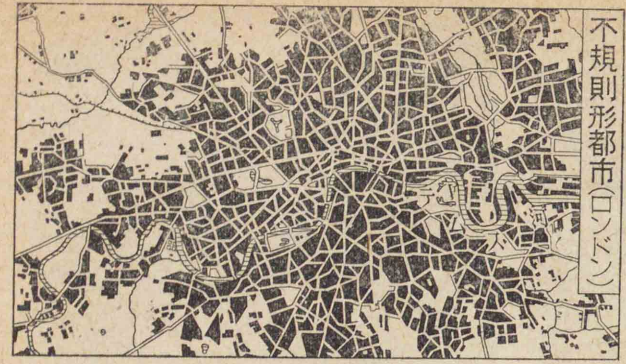


聚落の種類

と都市とは、區別が困難であるが、その人口の職業構成から見て、農業・牧畜・漁業等の原始産業に従事する者が多數を占める場合を村落とし、**商工業者が多數**を占めるものを都市とするのが比較的明瞭である。

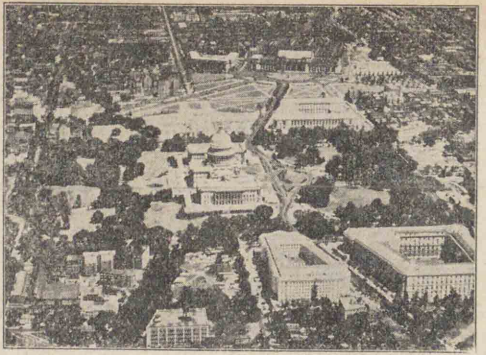


不規則形都市(ロンドン)



聚落の形態 村落を、その家屋の集合状態から見れば、集村・散村・平面形態から見れば、街村・塊村・鍾村となり、垂直形態から見れば、層村がある。都市は外形から見て、**圓形・方形・分岐形・不規則形等**、内部構造から見て、**直交式・放射式・同心圓式・網狀式等**がある。又外敵防禦のために村落も都

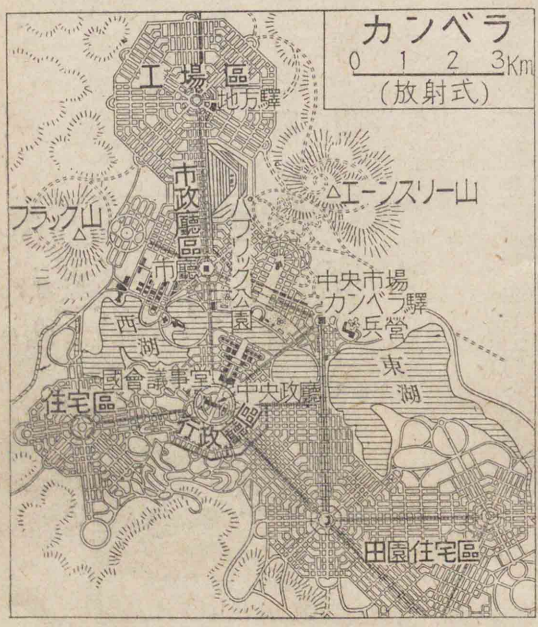
官衙、学校、住宅



都市計畫によるワシントン市

區等を區別し、保健、休養のため、に適當に綠地を配置し、各種の衛生設備を完全にし、又美觀を保つために、風致地區を定め、建物を制限する等、種

住民

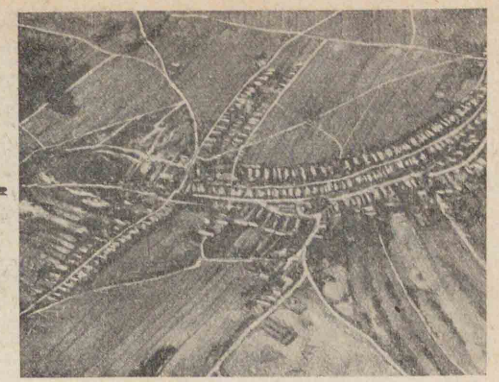


カンベラ (放射式)

集中が甚だしく、都市の膨脹が急激で、これを自然に放任すれば種々の不便不快を生ずるから、成るべく都市生活を便利且愉快にするために、都市計畫なるものが發達するに至つた。即ち先づ街路を整理して交通機關を整へ、地域制を實施して商業區、工業區、住宅區

五三

都市計畫

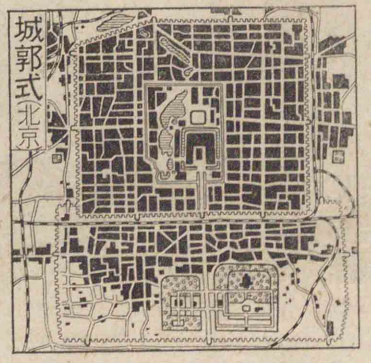
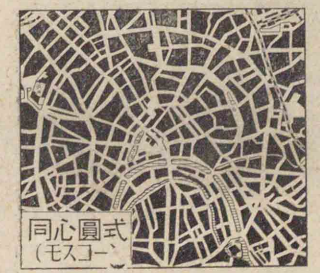
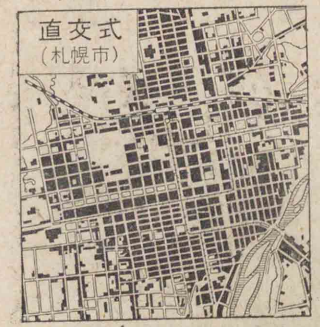


分岐形都市

が最も廣く行はれてゐる。これは木造家屋が、方形に建築するのを便宜とすることと深い關係がある。都市計畫 近時、人口の都市

住民

市も塹壕、土堤、城郭を廻らすものがある。我が内地の都市には、城下町と稱して、城を中心として發達したものが多し。その周圍に城壁を廻らさないのは、山河の形勢が自然の城郭をなしてゐるからである。その外形は不規則なものが多し、が、街路構造には直交式



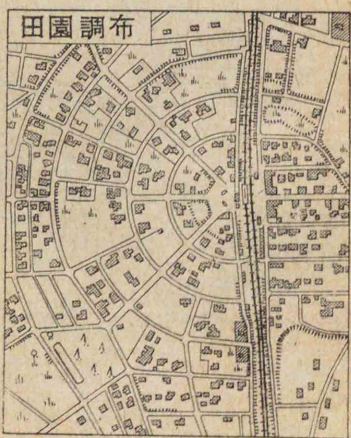
五二

田園都市

住民

種の方法が実施せられてゐる。

田園都市 大都市は文化事業を営むには適するが、保健、休養上には恵まれてゐない。都市の近郊に計畫される田園都市は、この缺點を補ひ、都市、田園兩者の長所を採り、完全な交通網と相俟つて、高級な文化生活を営まうとするものである。

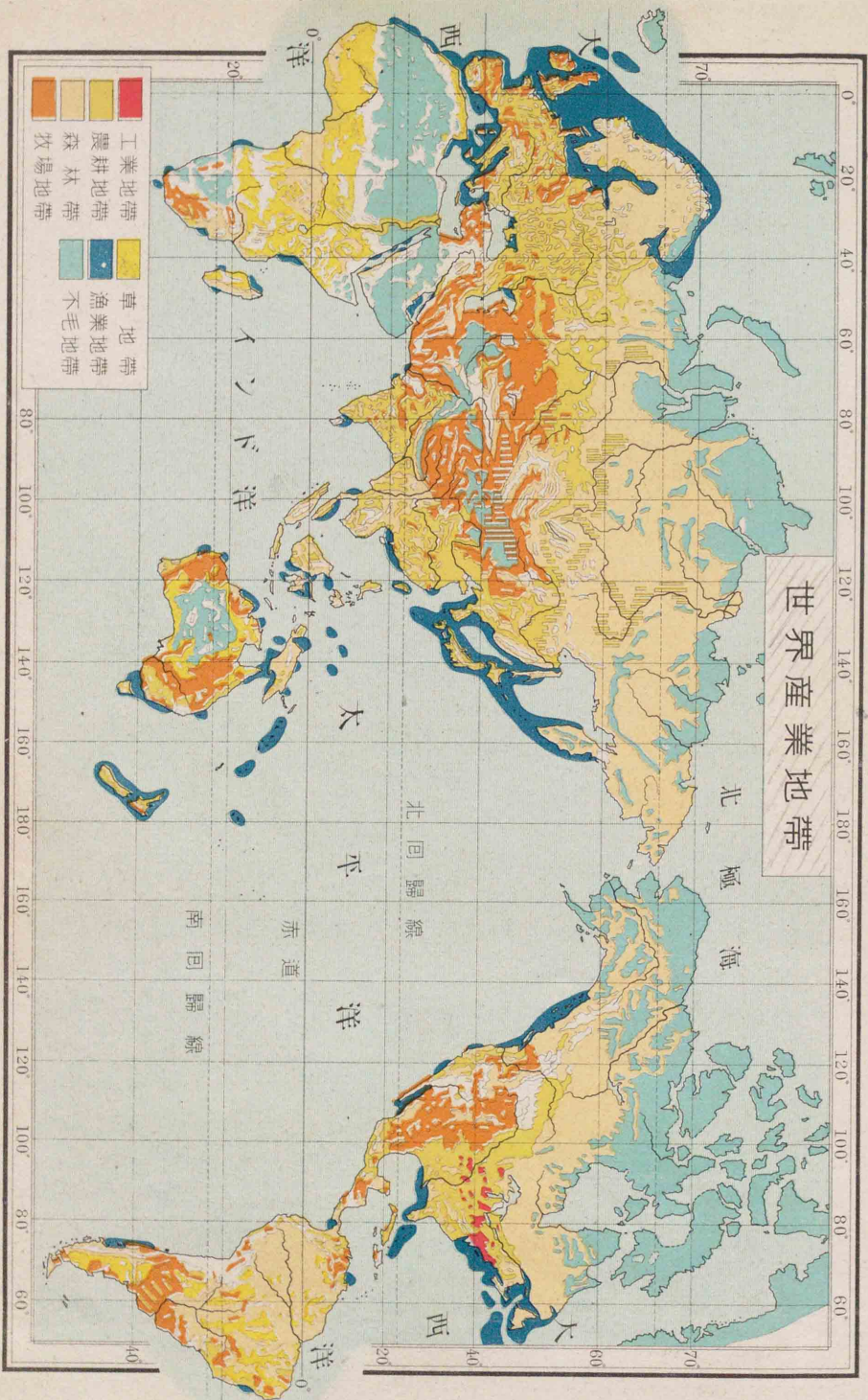


問 設

- (一) 郷土の聚落が、如何なる理由で發生したかを研究せよ。
- (二) 日本の大都市を列舉し、これをその發生の原因によつて分類せよ。

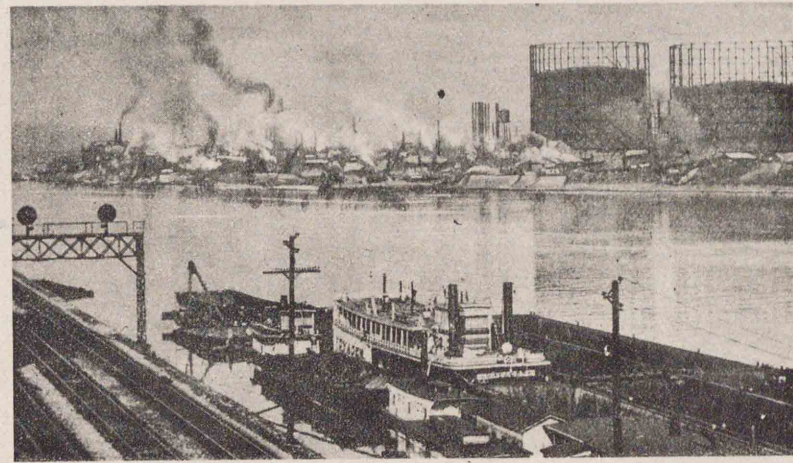
東京、大阪、神戸、名古屋、福岡

宿題





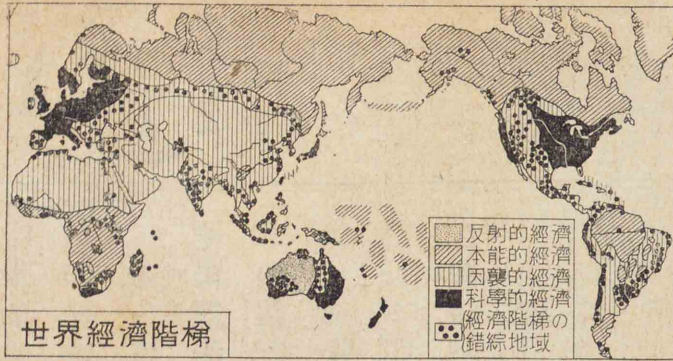
ブラジルの珈琲園



米國の製鐵工業地
ピッツバーグ



濠洲の牧羊



世界經濟階梯

經濟

第四章 經濟

第一節 經濟生活の發達

經濟階梯 人類の經濟活動は、世界各地の自然狀態の相違と、住民の民族的素質の如何とによつて、夫々發達の程度を異にし、今猶原始的經濟の域を脱しない處もあれば、或は更に高度の科學的技術的經濟にまで發達した處もある。概していへば、熱帯や寒帶地方には、オーストラリア族、小ネグロ族、北部アジア人等の如き反射又は

(得る)人類の生活と維持し或は發達せしむる爲に努力・總括する



因習的經濟 キルギス人の遊牧

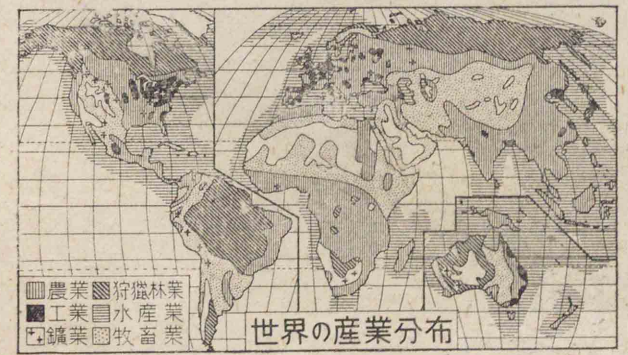


國民經濟

幼稚な經濟

本能的經濟、寡雨地域にはアラビア人、キルギス人等の如き因習的經濟が行はれ、温帶地方には科學的經濟階梯の分布が見られる。又民族の混淆した地方では、經濟階梯も亦錯綜してゐる。

國民經濟 現代の國家は、一國內に於て各自が適當な産業に従事し、互にその生産物を自由に交換してゐる。かく一國を單位として、國民の間に結ばれた經濟的關係の全體を、國民經濟といふ。國民經濟は、自由の發達に任せて統一のないのが普通であるが、ソヴェエト聯邦は早くから計畫經濟を行つて來た。近年、我が國を始めその他の諸國も、部分的に經濟統制を實施して、生産の制限や調節を行ひ、統制計畫經濟の傾向が多くなつた。

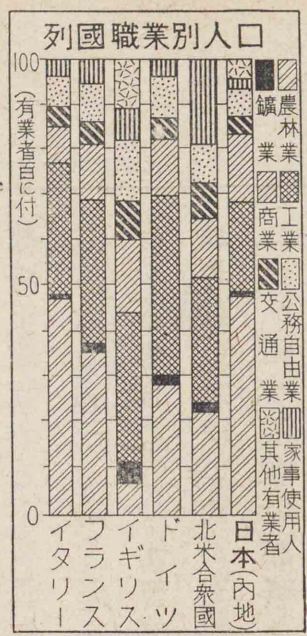


世界の産業分布

原始産業國・工業國

原始産業國・工業國

産業を主とする場合は、これを原始産業國と呼び、工業等の加工變形の産業を主とする場合は、これを工業國といふ。その區別の基準は種々あるが、職業別の人口、生産物の價額、若しくは輸出入品の内容等によつて定まる。我が國は農業者が全人口の二分一を超



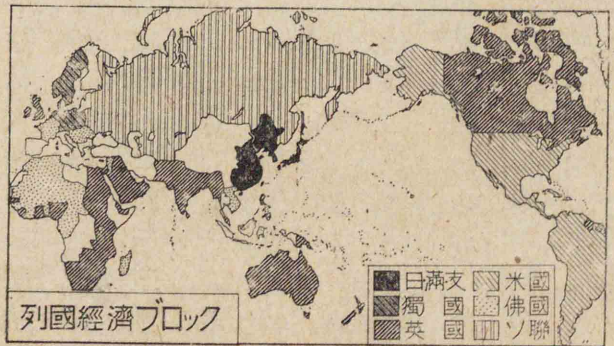
えるので、その點から見れば農業國であるが、生産價額からいへば工業國である。又貿易内容から見ても、輸入に原料品が多く、輸出に製品が多いので工業國の部類に屬する。

自給自足經濟 世界の國々は、今や國民經濟を單位として、一國內に於て總べての物資の自給自足を確立せんとしてゐる。これを自給自足經濟といふ。世界の國家が各、その自然の狀況に應じて、

自給自足經濟

最も有利な産業に主力を注ぎ、國際的分業と國際的交換とが自由に行はれることは、世界經濟の理想とする所であるが、最近國家主義が盛になり、一旦緩急ある場合を豫想して、自給自足經濟を確立しようとしたために貿易に制限を加へて、世界經濟の圓滑な發展を阻害しつゝある。

經濟ブロック 一國が眞に完全な自給自足經濟を確立するといふことは、その國が非常に廣大な領土を有し、あらゆる資源を豊富に有する場合の外は困難であるから、こゝに關係の深い若干の國が互に團結して、その間にだけは相互依存の經濟を行ひ、それ以外に對して協調を拒むといふ方法が、近年著しく行はれるやうになつた。この經濟單位を經濟



經濟ブロック
 地區經濟
 國體經濟
 將來は、
 1. ブロック内に於ける利害の相違
 2. 他ブロックの排斥
 3. 損失を至する

經濟的優越性

ブロックと名づける。

イギリス本國とその自治領、フランス本國とその植民地、ソヴェイト本國とソ聯邦内の各共和國及び植民地、アメリカ合衆國と中米及び南米諸國、日本と滿洲國、中華民國、ドイツとその隣接國及び北歐諸國等は、今日有力なブロックの例である。

經濟的優越性 或地方の或生産物の産額が著しく多く、他の地方に對して支配的な優位を占めるとき、これを支配的産物を有するといひ、これはその地方の自然と人間との一方、又は雙方の條件が、他の地方よりも特に優れてゐる時に成立するものである。支配的産物の多い地域は經濟的優越性を有し、そこに文明の中心が形成され、又經濟的交換も行はれて、世界的商業の發達を促進するのである。

世界の各國に就いて見ると、米國は最も多くの支配的産物を有し

て經濟的優越性強く、日本は生絲・人絹・人織・綿絲・綿織物・水産物・電球・自轉車・樟腦等に就いてこれを持つてゐるのである。

問 設

- (一) 世界の主な國々を、農業國・工業國に分類せよ。
- (二) 貿易を制限するために、どんな方法が用ひられてゐるか。
- (三) 日滿支經濟ブロックに於て、最も不足せる資源は何々か。

第二節 農業

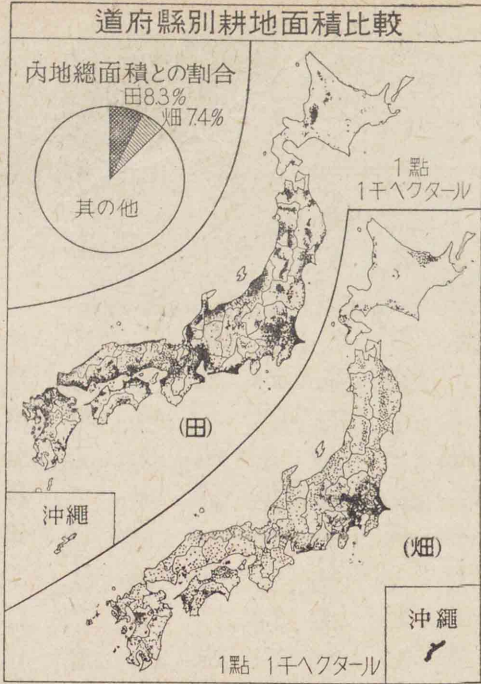
農業と土地



フィリピンの階段耕作地

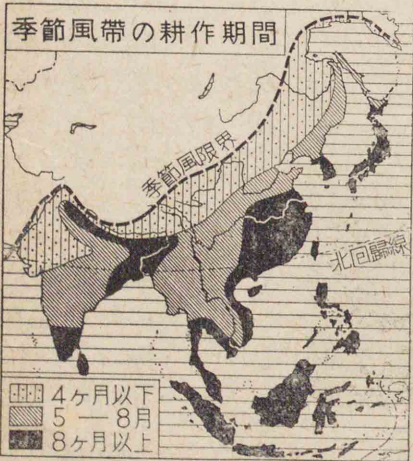
農業と土地 農業は地形と最も密接な關係を有する。平地は開墾が容易な上、灌漑等の便も多いから、世界の農業は概ね先づ平原地方に發達し、平地が無くなるにつれて、次第に山腹丘陵に及んで行く。傾斜地は耕作に不便であるから、時として階段狀の耕地を作る。我が國は山地が多く平地に乏しいので、農耕地は僅かに全面積の一割六分に過ぎない。

道府縣別耕地面積比較

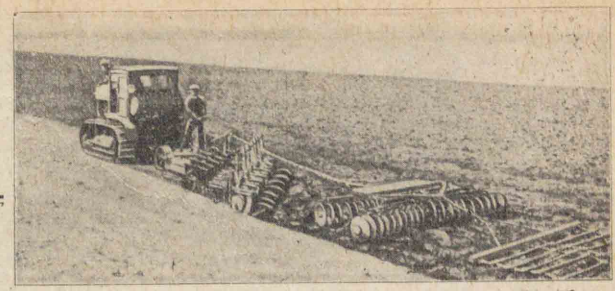


農業と氣候

等は、肥沃な農耕地である。多年農業の行はれた土地は、地力が消耗してゐるから、多量の肥料を施さねばならぬ。**農業と氣候** 農業は氣候の支配を受けることが又甚だ大である。總べて



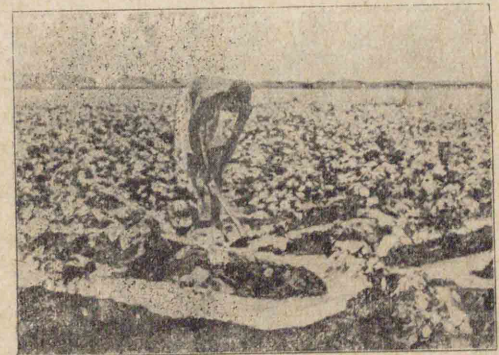
土壤も農業に關係が深く、その良否は、母岩の性質とその生成とによつて差異がある。即ち石灰岩地の定積土の如きは、概して農作に適しないが、河川又は風による運積土は一般に肥沃である。ロシアの黒土、支那の黄土地方



アメリカの大農法 トラクター耕耘

農業の種類

國カナダ等には粗放的经营が行はれ、殊に豊富な資本を背景として、機械や家畜の力を多く利用する大農法が行はれる。

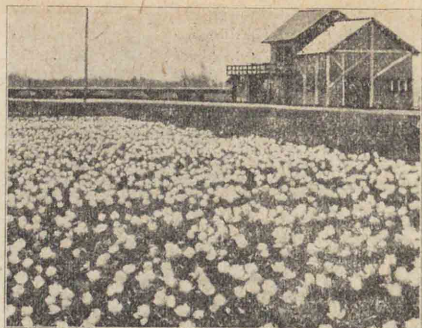


スダン地方の人工灌漑

の植物には、生育可能の氣温限界があり、氣温が低きに過ぎる時は、温床・温室等特殊の施設を必要とする。世界各地の農産物がその種類を異にするのは、主として氣候の關係からである。

農業の種類 廣大な耕地があつて、勞力の不足する地方には、粗放的農法が行はれ、これに反する地方では、土地を極度に利用して、多大の收穫をあげる集約的農法が發達する。我が國は最も集約的な農業を行つてゐるが米

世界の農業地域



新潟の花弁栽培 園耕農業

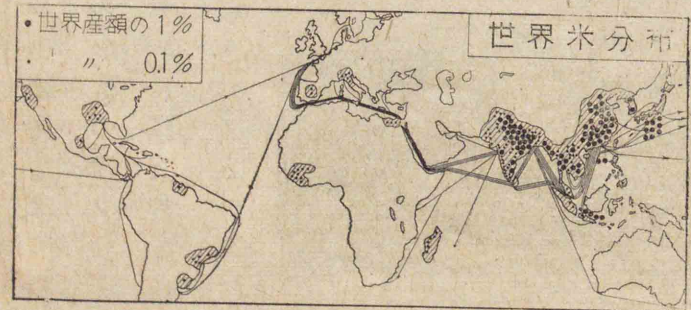
農産食料

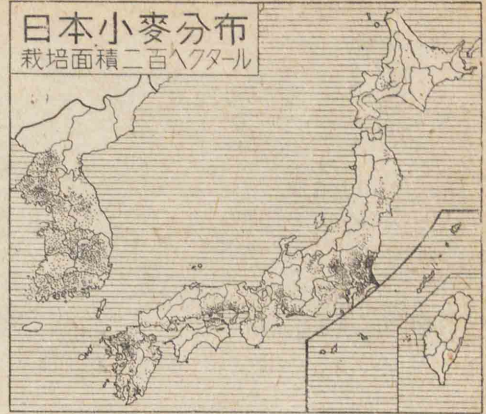
又南北アメリカは廣大な耕地に恵まれて農業が盛である。アフリカ・濠洲の大部は雨量が少く、人口が稀薄で、農業は海岸地帯に限られるが、近年人工灌漑で開拓された地方もある。

農産食料

米

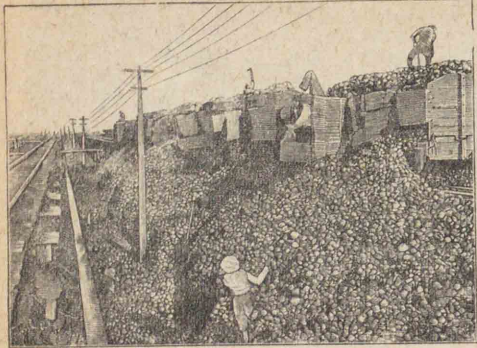
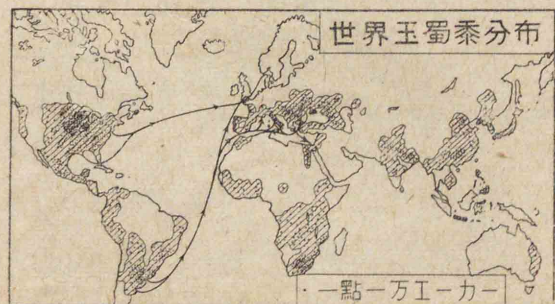
は高温多雨の地に産し、アジアの季節風帯即ち日支印、インド支那、マレー諸島に多く、近年はブラ





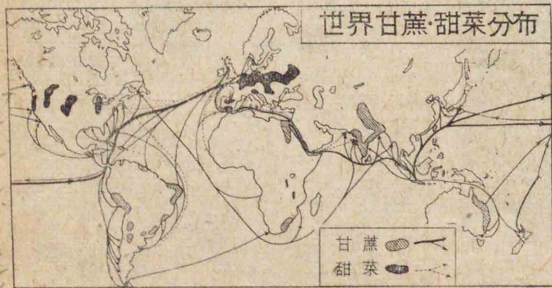
人口稠密地帯に輸出する。北米は世界の約五分ノ一を産し、カナダ南部と米國中部との間に廣く栽培して、盛に歐洲に輸出する。その他小麥はインド、アルジェンティン、濠洲、南阿、北支那にも産する。我が國は表日本、殊に關東に多く産し、略自給の域に達したが、國內種は製粉に適しないので、米國、カナダからの輸入が多い。

玉蜀黍 は、その分布が廣く、米國の産が最も多い。然し牛豚の飼料となるので、大部分は自國消費である。アルジェンティンは西歐諸國に積出し、南歐その他にも産する。
大豆 は夏季高温の温帯地方に適し、滿日支

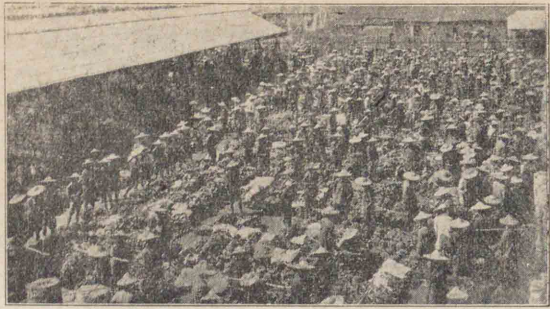


十勝平野の甜菜輸送

印を主産地とする。滿洲國は世界總産額の七割を占め、豆のまゝ又は豆粕、豆油として歐洲に輸出する。我が國が産額は需要の三割に過ぎず、不足を滿洲國に仰ぐ。
農産嗜好品 **砂糖** は、甘蔗糖、甜菜糖に分れる。甘蔗は熱帯、亞熱帯に、甜菜は稍濕潤な北温帯に栽培される。我が國は製糖業が甚だ盛で、粗糖を臺灣、ジャバより移輸入し、精糖を輸出する。
茶 は季節風帯の特産で、丘陵地に適し、製品に紅茶、綠茶、烏龍茶等がある。印、セイロン、ジャバ産は多く、紅茶として英米に、日支産は主に綠茶として米國に輸出され、支那では



マレーシア、南米諸國、のハリヤ、バタヴィア、インド、セイロン、ジャバ、



臺中市のバナナ市場

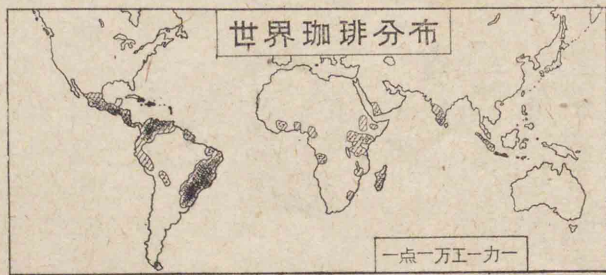


カカオ

急増してゐる。カカオ（ココア）は黄金海岸が世界一の産地で、我が南洋群島にも少量の産があり、臺灣にも試作してゐる。米英獨等は、その主要消費國である。

煙草 は、西インド、蘭領東インド、兩諸島に良質のものを産して、ハヴァナ煙草、マニラ煙草が名高い。多産地は印度、我が國では需要の一割はアメリカ合衆國より輸入し、國産は栃木、鹿兒島、茨城の諸縣に多く、專賣制度のため輸出が伸びない。

果實 は、風土と住民の嗜好とによつてその種類を異にし、近時需要の激増につれて遠距離輸送も行はれてゐる。



農産嗜好品



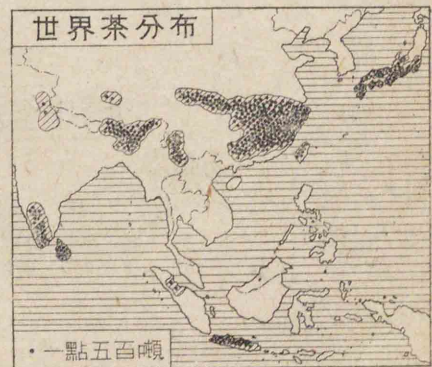
静岡縣の茶摘

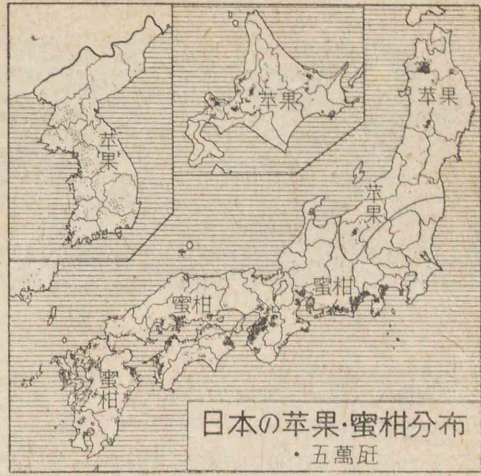
磚茶をソ聯邦に輸出する。臺灣では紅茶、烏龍茶、包種茶として、紅茶を英米に、烏龍茶を米國に、包種茶を南洋に輸出する。

珈琲 は、エチオピアの原産で、温暖多雨の丘陵地に適する。ブラジルが世界總産額の約六割を占め、中米、アフリカ、蘭領東インドにも産する。我が國ではサイパンに小額を産出し、臺灣東海岸にも栽培が始められた。その主要消費國は米國、北歐諸國等で、我が國も消費が



ジャヴァの珈琲採取





西インド中米はバナナ・パイナップルを産して
 歐米に輸出し、アフリカ西アジアの沙漠地は、住
 民の食料となる棗、椰子を産する。温帯地方は
 果實の種類が多く、特に地中海式氣候の地は、柑
 橘類、オリーブ、葡萄、無花果等を産し、冷涼地は、苹
 果、櫻桃等の産が多い。我が國は、冷温熱三帯の
 果實を産して、味覺の幸が多い。

香料

は、熱帯地方の特産で、調



肉荳蔻



味料に使用され、ヴァニラ、肉荳蔻、胡椒、丁子が主で、
 アフリカ、西インド、蘭領東インドが主産地である。

農産原料品

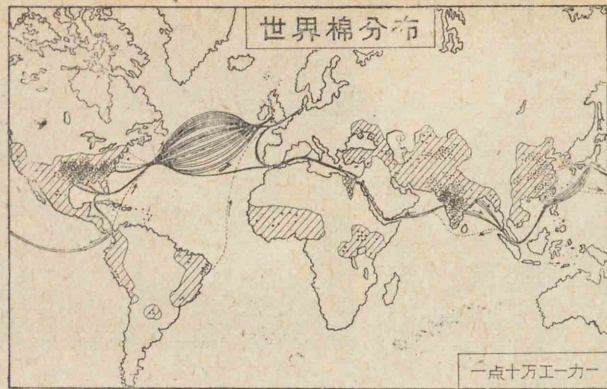
棉

は、最も重要な纖維作物で、今は
 北緯四十度、南緯三十度間に栽培される。成長の
 時期には高温と適度の雨量とを要し、成熟期收穫



棉

青島綿、吐魯番、青海、新疆



期には氣候の乾燥を必要とし、又二百日以上霜のない
 處がよい。棉の産額は、米國の南東部が世界の四割二
 分を占め、印ソ聯支、エジプト、ペルー等がこれに次ぐ。
 棉の輸出の多いのは、米、印、エジプト、支等で、消費の多い
 のは、米、日、印、英、支等である。我が國は、産額が少く、且質
 が粗悪なため、米、印、支、アフリカから多く輸入する。近
 年、棉自給策の目的で、朝鮮、滿洲國で増産を圖つてゐる。

麻

は、亞麻、大麻、黃麻等の外、シザル麻、
 マニラ麻等の類似品がある。何れも
 織物、綱類の重要原料である。

亞麻は、温帯北部(北半球)に適して、特に東歐、北歐

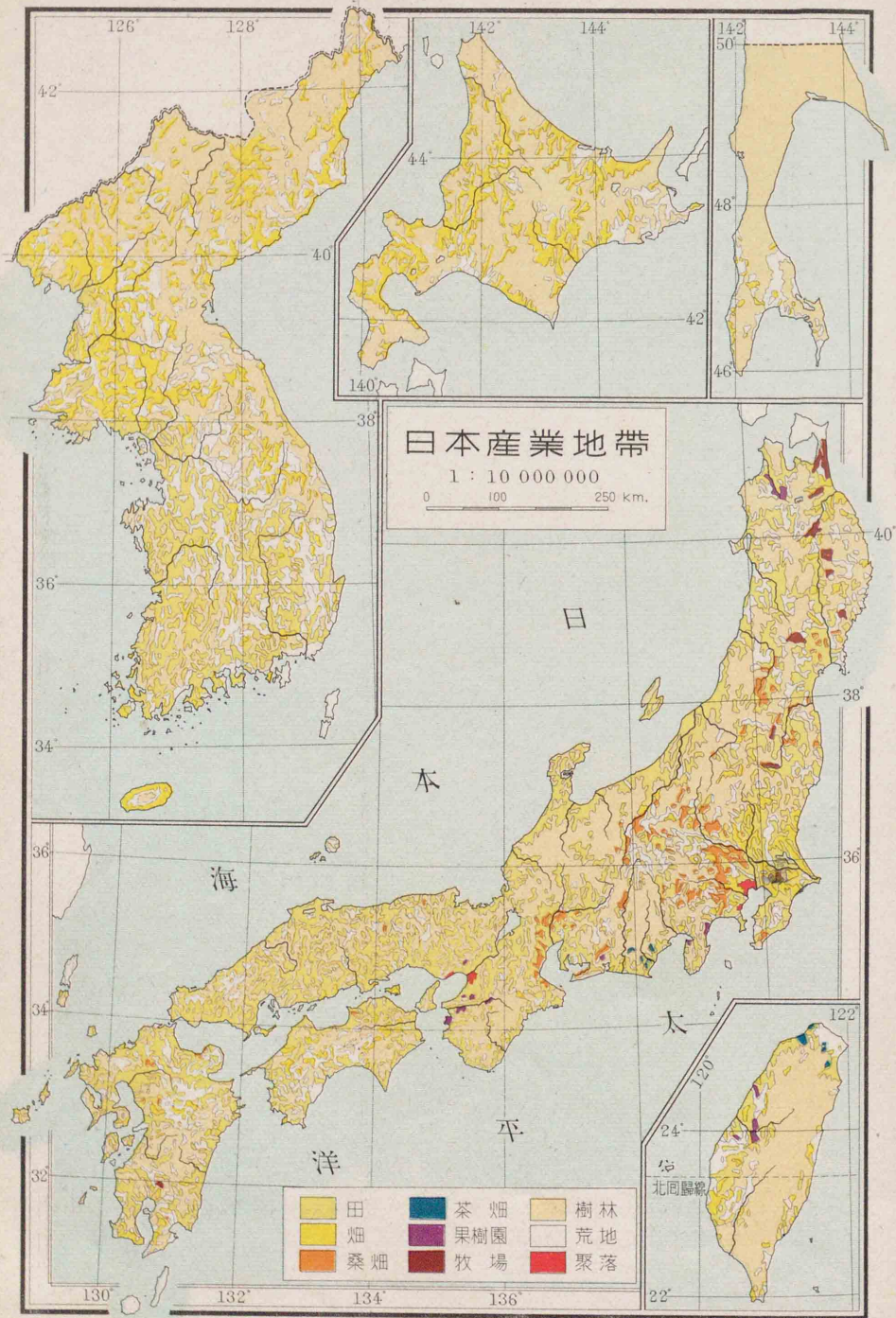
に多い。大麻は、温帯熱帯に栽培され、ソ聯、伊、ユ

ーゴースラヴィア、日が主産地である。黃麻は、

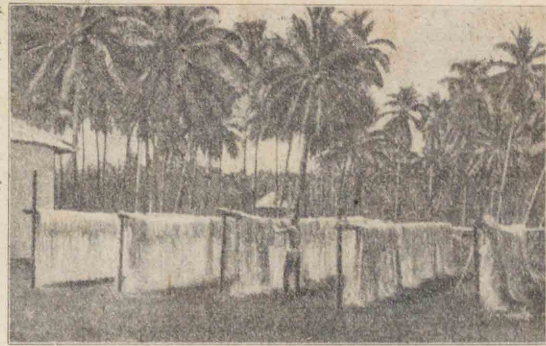


大麻

亞麻



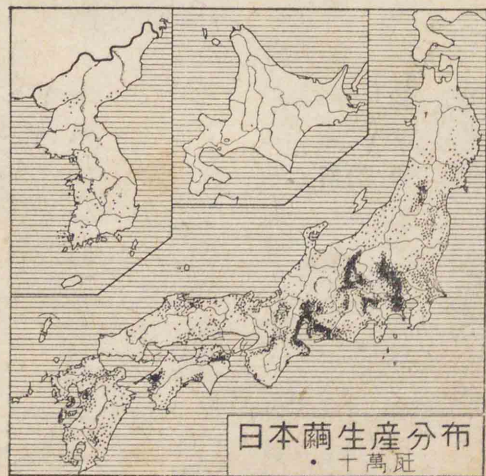
養蠶



ミンダナオ島のマニラ麻乾燥

多大の勞力を要するから、養蠶地帯は局限される。我が國は養蠶の最盛地で、支那がこれに次ぎ、伊佛にも行はれる。生絲は我が國の特産品

熱帯アジアの特産物で、インドの重要輸出品である。マニラ麻は、主産地フィリピン群島より多量に輸出し、我が國は多くこれを輸入する。シザル麻は、ヘネケンともいひ、龍舌蘭の一種の葉から採る纖維で、熱帯乾燥地に適し、メキシコに多産する。近時各地に移植され、臺灣にも産するやうになつた。



經 濟

茅麻、苧麻、大麻、似るが、纖維粗雜、澳絹、九糸

牧畜と環境



關東西部山麓の桑摘

第三節 牧畜業

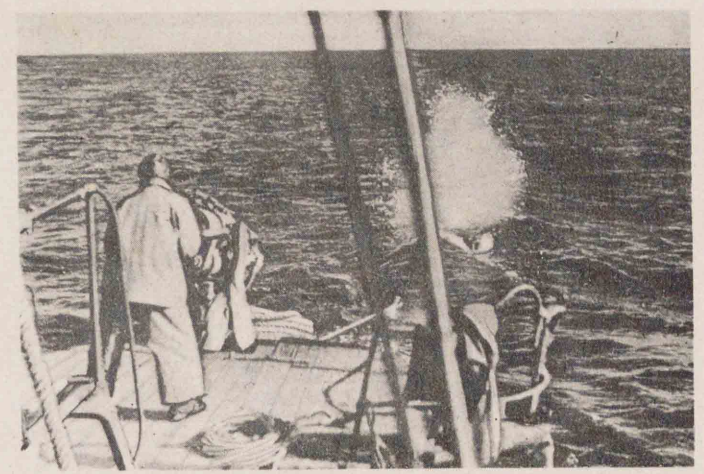
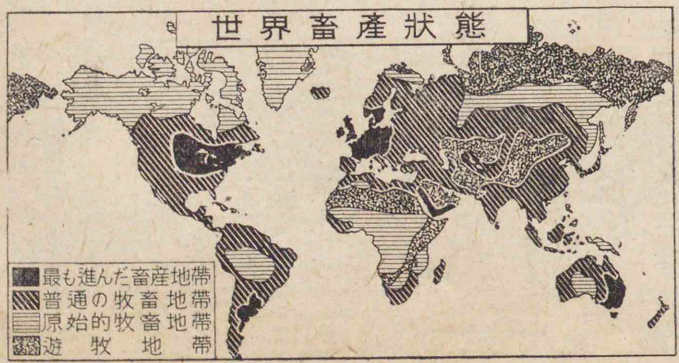
要とするから、温帯寡雨地^{世界}でも農業に有利でない人口稀疎地帯に行はれる。その方法は環境によつて異なり、中央アジアの遊牧、アルプス山地の移

経 済

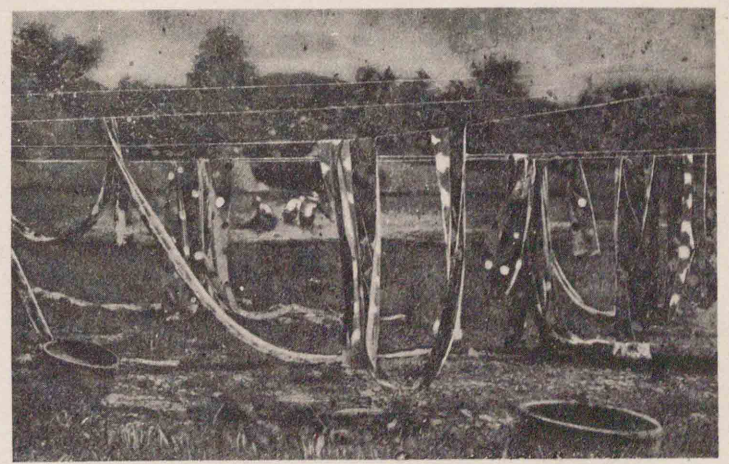
重要輸出品で世界第一位を占め、支伊の二國も少量の輸出がある。

設 問

- (一) 我が國に於ける米産地の北限界を説明せよ。
- (二) 甘蔗と甜菜との分布によつて、その好適氣候を判断せよ。

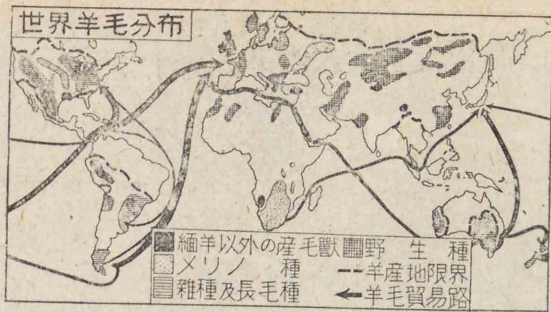


南極海捕鯨の壯舉



染色工業
友禪染の水洗ひ

林業と環境



林業と環境 樹木は酷寒地寡雨地以外には、到る處に生育するが、氣候の相違によつて種類を異にし、又その利用價值にも相違がある。早くから開けた平地は、一般に農業が行はれるので、森林は山

經濟

第四節 林業

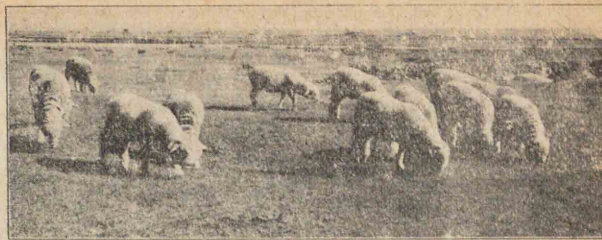
設問

- (一) 温帯乾燥地方に、牧畜の盛な理由を述べよ。
- (二) 日本に於ける牛と馬との主な産地を問ふ。

日本に於ける牛と馬との主な産地を比較し、その利を述べよ。
(一) 畜産

ティン等に多く、軍事上特に重要視されてゐる。羊は、優良な衣服原料と肉とを供給する。一般に冷涼乾燥氣候の平原に適し、濠洲・米・アルジェンティン・南阿ソ聯で大規模に經營され、南半球の各地から、北半球の西歐及び日本に向けて、羊毛を供給する。豚は、飼養簡單なため、その分布が廣く、支米ソ聯獨等に多い。近時豚毛・豚皮の利用も増加した。

主要家畜



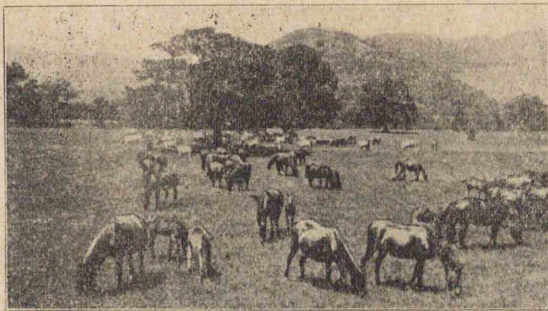
有望な蒙古聯合の牧羊

又力役に供せられる。馬は温帯の少雨地に適し、ソ聯・米・アルジェン

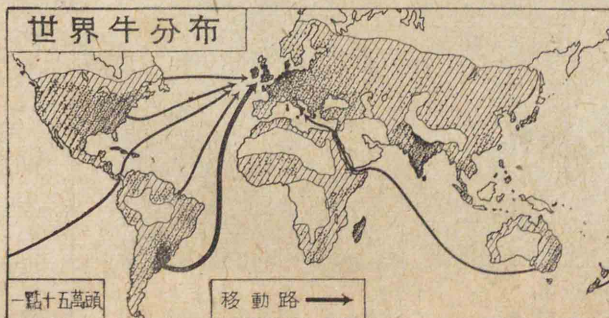
主要家畜

牛

は、氣候に對する抵抗力が強いので、印・米ソ聯・ブラジル等に多く、肉・皮革等を供給し、



眞駒内種畜場



牧、濠洲・アルジェンティン等の大放牧、我が國に多い舎飼等の別がある。世界の主要牧畜地帯は、兩米・濠洲・歐洲諸國である。我が國では、火山の裾野や隆起準平原地方に行はれ、概ね農家の副業で、小規模である。

經濟



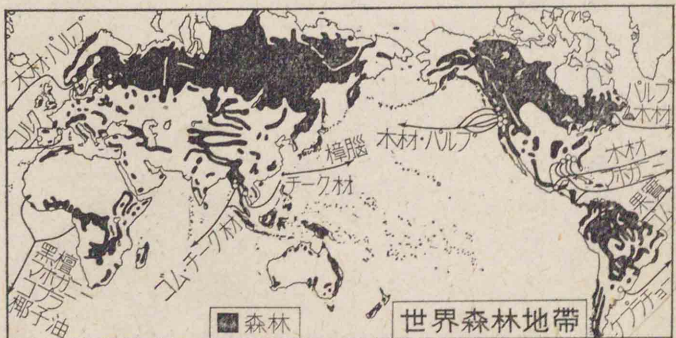
スペインのコルク樹

地にのみ残されて、林業の發達が困難である。今日林業の發達してゐるのは、人口稀薄な未開の平原を有する米・カナダ・ソ聯の諸國である。然し中歐その他には人工植林の進んだ地方がある。

林産物

熱帯林

は、主に潤葉樹で、中にもマホガニ、紫檀、黒檀は、木質が堅牢美麗であるから、家具用材として珍重される。蘇枋、檳榔樹は染料を、コルク樹はコルクを供し、籐は蔓細工に用ひられる。ゴム樹は南米の原産で、ブラジルの特産であつたが、後英領マレ地方に移植されて、その産額が急激に増加し、今は蘭



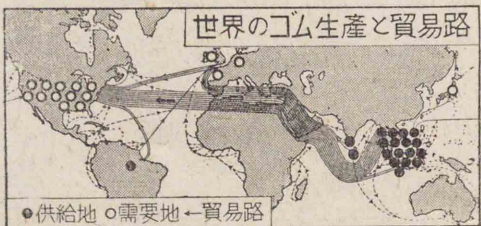
椰子

領東インドの産額と併せて世界の七割を占め、セイロンの産額も稍著れて来た。ゴムは、タイヤ諸機械靴等に用ひられて、今日の文明に貢獻する所が多い。消費額の多いのは、米・英・獨・佛日等で、英國は世界のゴム市場を支配してゐる。



マレー半島の栽培ゴム

コ椰子は、アジア南部・蘭領東インドに栽培され、我が南洋群島にも産出が多い。その實は食料となり、又コプラは石鹼原料に用ひる椰子油を供する。**暖帯林**は、主に常緑潤葉樹で、建築材・家具材に適する。檫樟、ティーク、オリーブ等が多く、樟腦・油脂等の副産物もある。我が國では、本



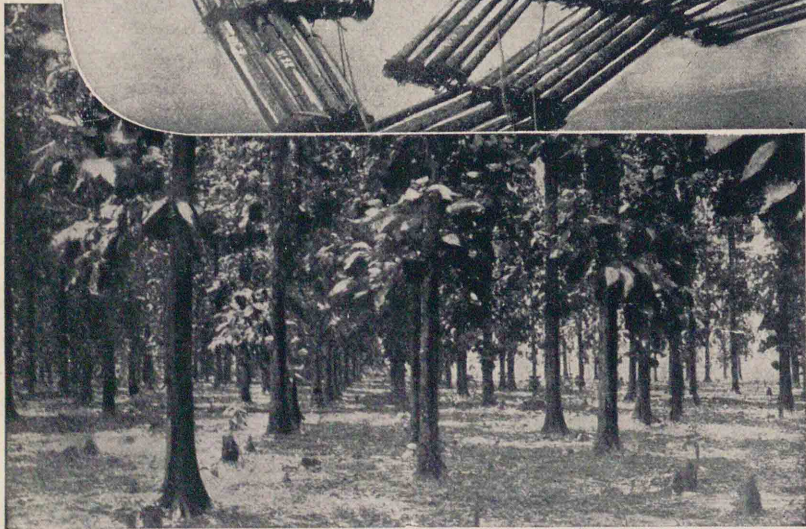
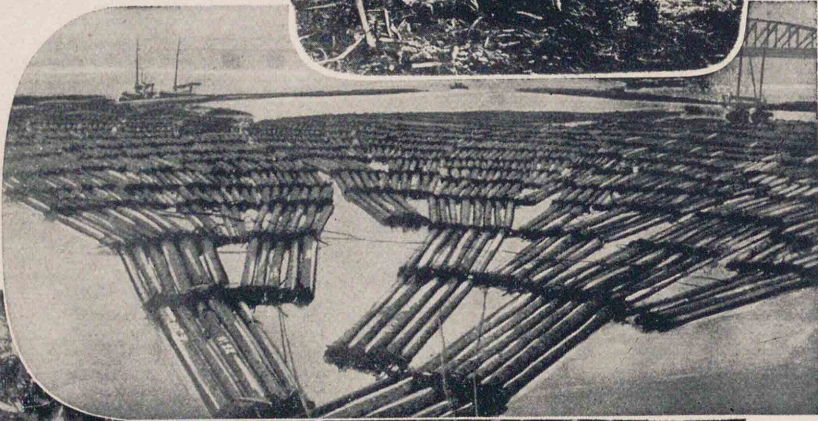
林業

杉の美林 吉野



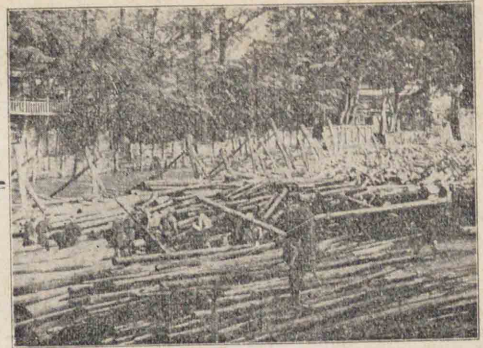
樺太の榎松原始林

鴨緑江の流筏



蘭領東インドの
ティーク林

林産



秋田杉の運搬

經濟

州南部以南の森林がこれに屬し、樟は臺灣に多く、樟腦は我が特産である。
温帯林 は、潤葉針葉等の各種樹林で、重要な建築用材となる。我が國では、榧松杉が多く、紀伊(杉)木曾(檜)秋田(杉)青森(ひば)に美林がある。
寒帯林 は、主に針葉樹の榎松、蝦夷松、落葉松で、ユーラシア北米の北部に廣く分布し、建築用パルプ原料として重要である。我が國では、樺太、北海道、北鮮に産する。
林産 世界で林産の多いのは、米、カナダ、獨逸、北歐諸國で、盛に木材パルプを輸出し、製紙、マッチ製造(スウェーデン)も盛である。我が國は風土が林業に適し、國土の半以上が森林に蔽はれてゐるが、需要が多く、且伐出しが困難なため、木材パルプの輸入が少くない。
 設問 (一) 世界に於けるゴムの産地と消費地とを比較對照せよ。

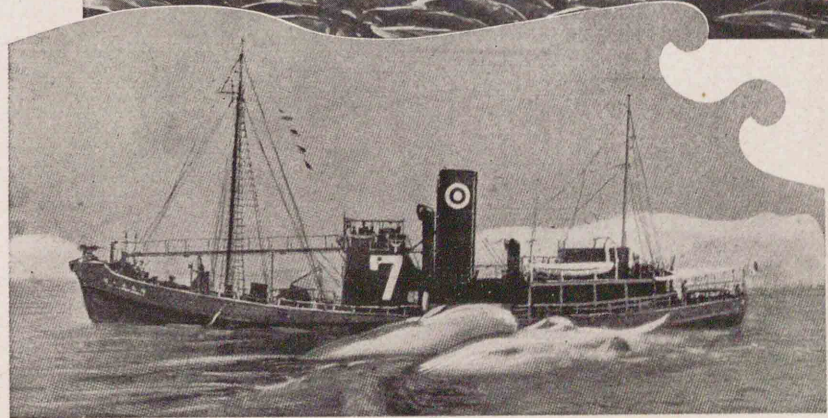


榧

北洋蟹工船上の脱甲作業



枕崎の鰹魚



南極に活躍する捕鯨船

水産業と環境

漁場と漁業地

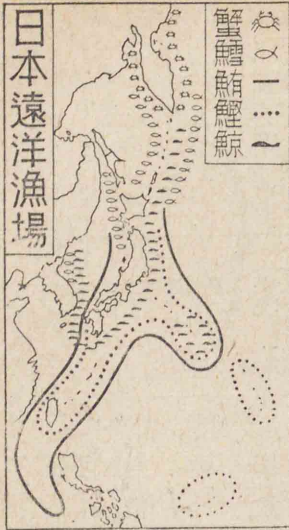
第五節 水産業

水産業と環境 陸棚は、魚類の食物となるプランクトンが多く、又海藻が繁殖するから、常に魚類が集り、殊に産卵期には多数來集する。水温と鹽分との差のある寒暖二海流の會點附近も亦魚族が多い。漁場は、これ等の環境によつて決定されると共に、一般に良い漁港のある地方に發達し易い。又高緯度の地では夏季のみに漁獲が行はれる。

漁場と漁業地

世界の

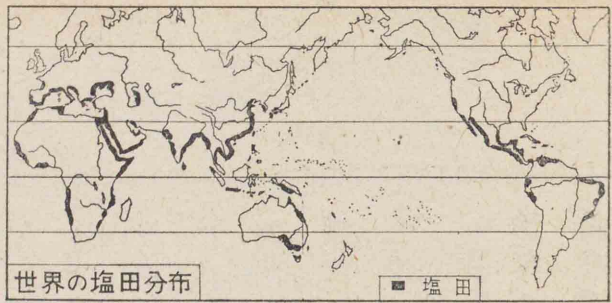
主な漁場は、①北部日本
ペーリング海間漁場 ②
北海漁場 ③ ニューファ
ウンドランド漁場 ④ カ



經 濟



鑛業の地理
的條件



鑛業の地理的條件 鑛物の存在は、自然の地質によつて定まつてある。金屬類は概ね地殻變動の激しい山地に存在し、これに反し

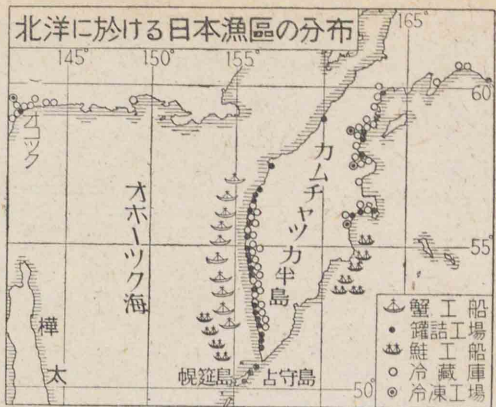
第六節 鑛業

遠洋漁業は益有望である。又養殖業も發達して、牡蠣廣島・眞珠貝(三重)淡水魚(静岡)の養殖が特に著しい。漁獲物は國內でその大部が消費されるが、又乾物・罐詰として、支那歐米等に多く輸出される。

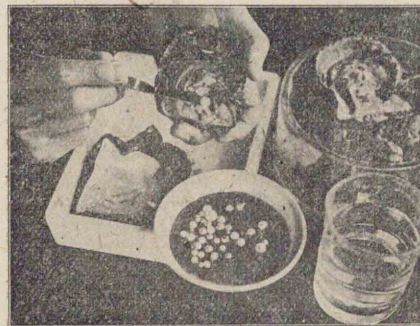
製鹽 歐米では主に岩鹽より食鹽を製し、我が國內地では火力、朝鮮、臺灣では天日によつて海水より製鹽する。我が國は工業原料として近時食鹽の需要が増加したので、關東州支那北アフリカその他からの輸入が多い。

設問 (一) 日本が世界的水産國になつた所以を問ふ。

日本が世界的水産國になつた所以を問ふ。



員數は世界水産従業員の二分ノ一を占め、共に世界第一位である。今や我がトロール漁業は世界の各海洋に及び、捕鯨船は南極海にも進出してノルウェー・英等と覇を競つてゐる。近年沿岸漁業は振はないが、

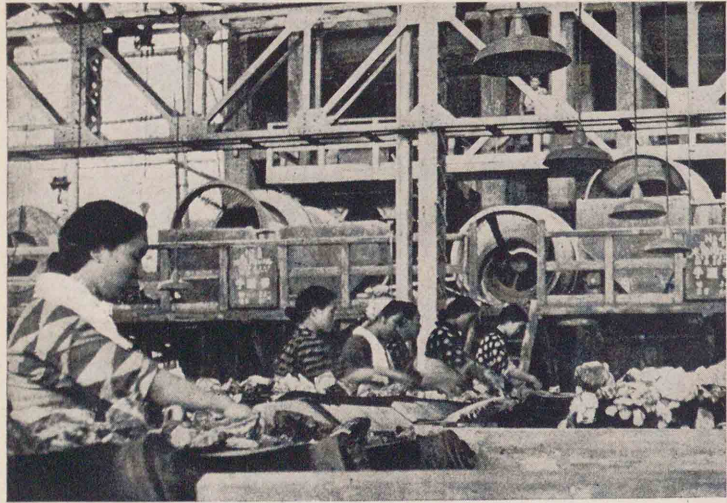


養殖眞珠

ナダ西岸漁場等である。漁業には、沿岸漁業、遠洋漁業の別があり、遠洋漁業には動力船を用ひて大規模の曳網をなすトロール漁業、漁獲物を直ちに船中に於て處理する工船漁業等がある。近年水産養殖業も亦盛となつた。我が國の漁獲高は、五百五十萬噸、四億四千萬圓で世界漁獲高の四割に達し、漁場面積は世界漁場の約三分ノ一、従業員數は世界水産従業員の二分ノ一を占め、共に世界第一位である。今や我がトロール漁業は世界の各海洋に及び、捕鯨船は南極海にも進出してノルウェー・英等と覇を競つてゐる。近年沿岸漁業は振はないが、

大塚茂夫

鑛業



佐渡鑛山の選鑛場

龍烟の烟筒山鐵鑛區
(蒙古聯合)

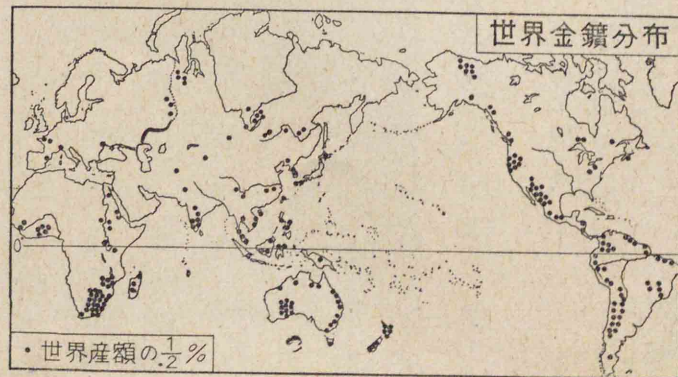


大同炭鑛
(蒙古聯合)

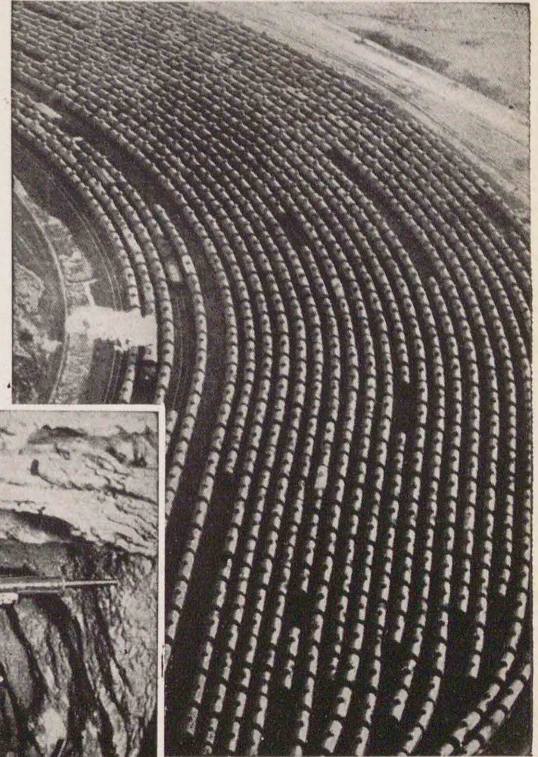


鑛業の分布

て石炭や石油は、比較的變動の少い丘陵地に多く埋藏される。何れにせよ、交通不便な位置にあつては開發が困難であり、又氣候の悪い地方にあつても、開發は阻害される。鑛物の發見や、採掘精鍊精製等には、概ね深遠な學理と、熟練した技術と、豊富な資本とを必要とするので、その埋藏地が未開地方に存在する場合の如きは、文化民族の手に俟たなければ、到底開發され難いのである。鑛業の分布 世界の主な鑛業地帯は、鑛業發達に條件のよい北半球の文化地帯に位置する。然し鑛物資源の有無は國防經濟に影響するので、各國はその獲得に努力し、近時鑛業地は低文化地にも及んでゐる。



鑛業

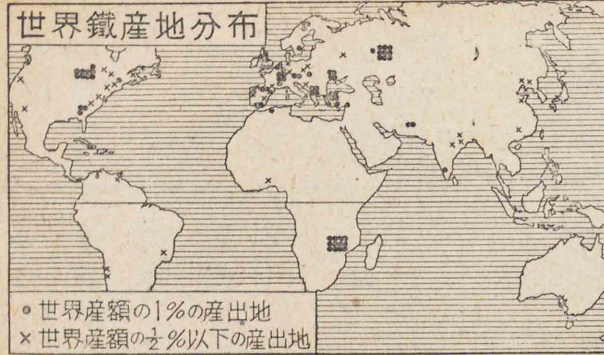
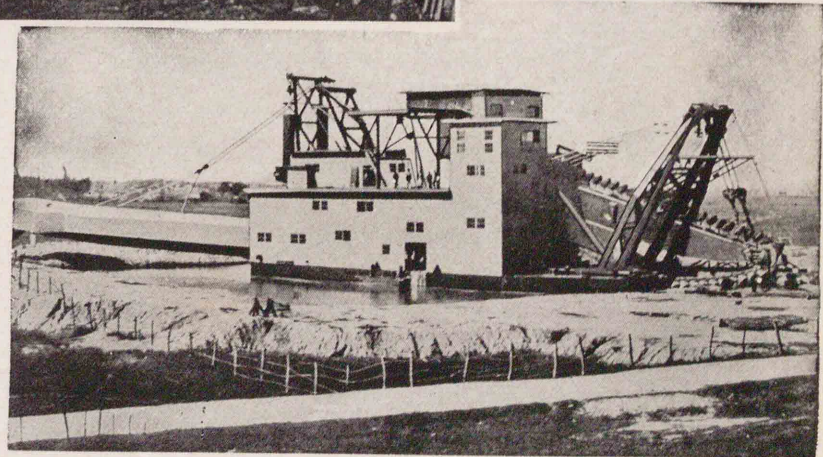


足尾銅山の機械掘



石油輸送列車 北米

砂金採掘の浚渫船 (南鮮)



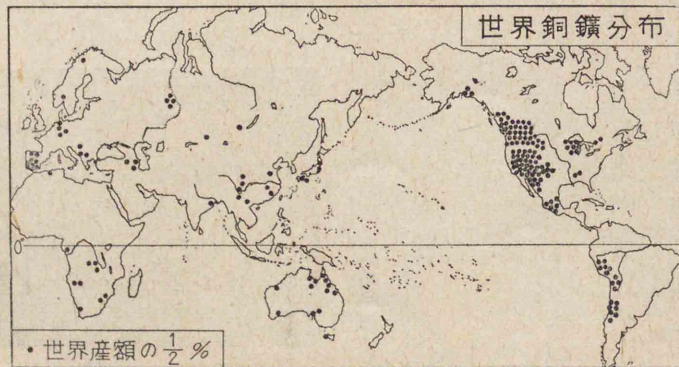
金屬鑛物

我が國は鑛物の種類に富み、石炭、銅、金等が比較的多いが、これを世界的に見ればその産額は微々たるもので、一旦有事の場合を考へると實に寒心に堪へない。

金屬鑛物

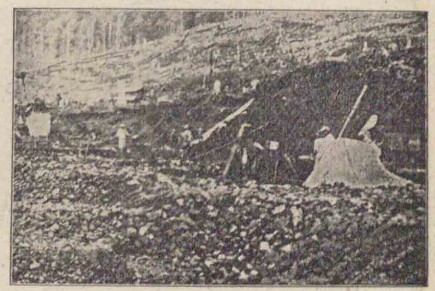
金 は、各國共、産額が急増し、南阿聯邦に最も多く、ソ聯、米、カナダ、濠洲、日等がこれに次ぐ。

我が國も近時産額が増し、朝鮮、北海道、九州等に多い。銀の七割は米大陸産で、我が國は自給してゐる。銅は、米、チリ、カナダ、ロシア等に多く、日本にも嘗ては相當に産出し、外國に輸出したが、近時産額が幾分減少し、一方には電氣事業の

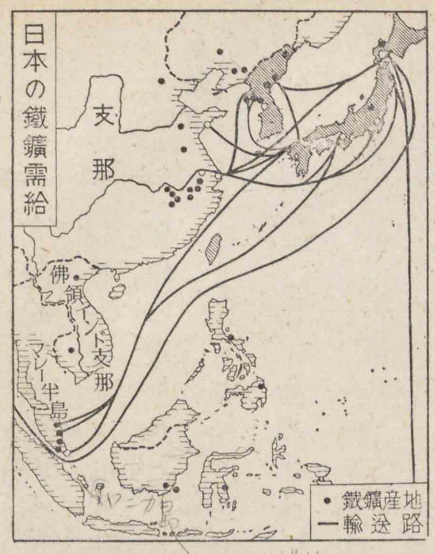


經濟

隆盛に伴なひ需要が激増して、輸入に仰ぐ状態となつた。**鐵鑛**は、米・佛・スウェーデン・英・獨等に多いが、精鍊に多量の石炭を必要とするので、製鐵の盛なのは米・ソ聯・獨・英・佛等である。鐵は實用金屬として需要が多く、又軍事上にも重要であるから、各國ともその自給自足を圖つてゐる。



マレー半島の鐵山



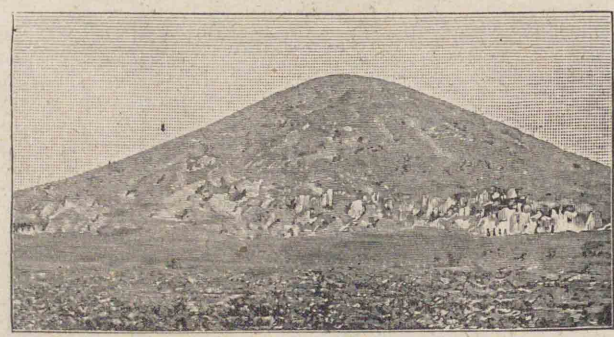
我が國は鐵鑛の産額が少いために、朝鮮・滿洲國等の貧鑛を利用し、又支那・マレー半島等から多量に鑛石を輸入する外、銑鐵屑鐵を輸入してゐる。

アルミニウムは、主にボーキサイトから精鍊され、最近輕合金材料として重視されて來た。主産地は獨米・カナダ・ソ聯・佛等で、我が國

非金屬鑛物

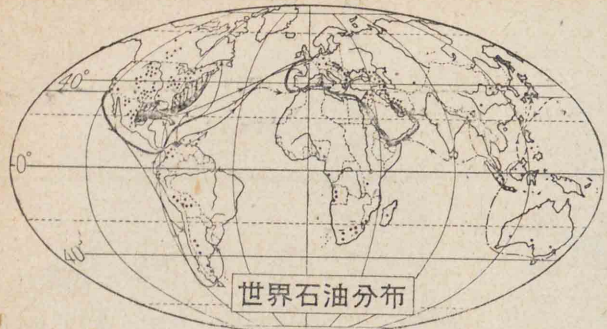
は鑛石に乏しく、産額も僅少であつたが、朝鮮の明礬石、滿洲國北支の礬土頁岩を原料とする精鍊法を發明してから、一躍産額を増し、今は十分に自給するに至つた。

マグネシウムは、軍需工業方面に用途が廣いので、近年増産が著しく、獨米・英・日は主な産地である。我が國は原料のマグネサイトを滿洲國から輸入し、豊富な電力によつて精鍊してゐる。



大石橋のマグネサイト山

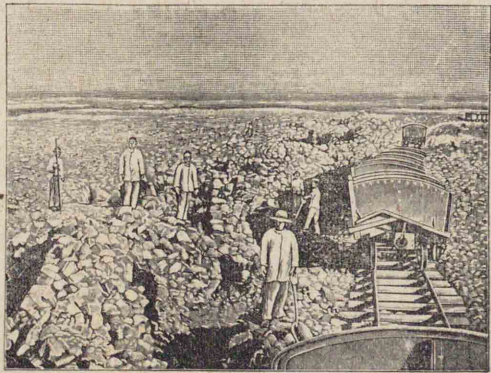
地方、ポリヴィアが主産地で、鉛は米・濠洲・カナダ等に多い。我が國は錫・鉛の大部分を輸入する。**非金屬鑛物** **石炭**は、米國の中部・東部と、ヨーロッパの中部・西部とが主要産地で、アジアでは支・印・日に稍多い。石炭は動力源とし



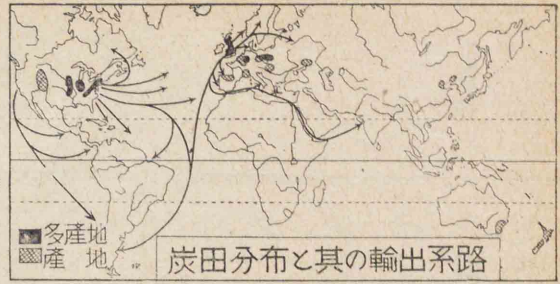
世界石油分布

経済

ネズエライラン蘭領東インドルーマニア等がこれに次ぐ。猶未開地の開發には英米兩國の資本が主に活躍してゐる。我が國の石油は、僅かに需要の一部を産するに過ぎず、主に米蘭領東インド英領ボルネオ等から輸入してゐる。その對策としては頁岩油の利用、石炭液化に全力を注ぎ、又代用油の利用、獎勵等を圖つてゐる。その他、硫酸製造の原料としての**硫黃**及び**硫化鐵礦**は米伊日等に多く、肥料礦物としての**燐礦**は米國南洋に、**加里鹽**は獨に、**智利硝石**はチリに、又工業原料としての**岩鹽**は獨、ポーランドに多く産する。



智利硝石の採掘

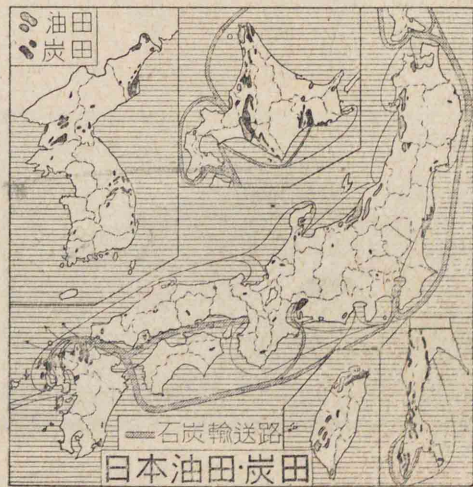


炭田分布と其の輸出系路

経済

て最も重要で、その産額の多少は一國産業の盛衰に影響する。我が國の石炭は、北九州北海道山口縣福島縣に産が多い。然し近時急激な工業の勃興により、需要が増大して、年々多額の不足を見るに至つた。この時に當り一千三百億噸の埋藏量を有する北支の大炭田が、我が國に開放されたことは、石炭不足の本邦にとり喜ばしいことである。

石油は最近自動車航空機及び船艦の燃料として、國防上特に重要視され、各國はその資源獲得に狂奔し、所謂石油爭奪戰が各地に展開されてゐる。その産額は、米國が世界の六割以上を占め、ソ聯ヴェ

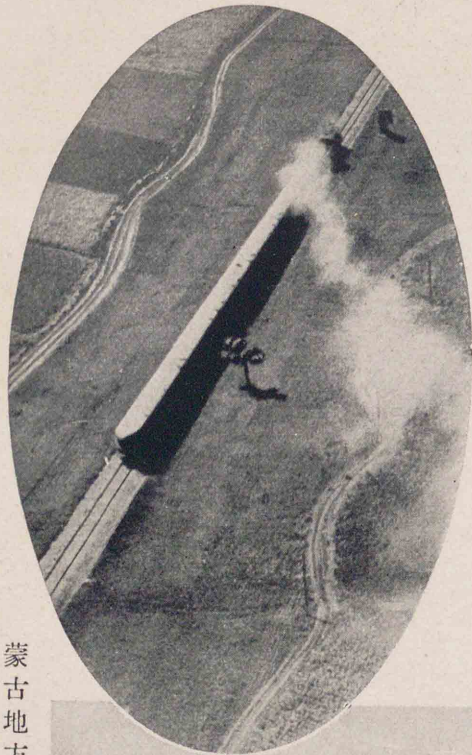


日本油田炭田

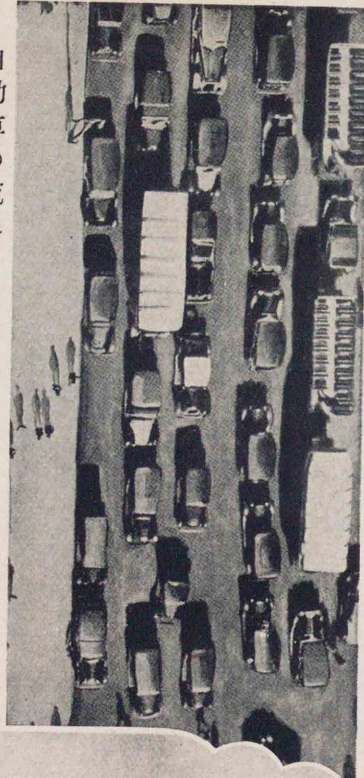
Handwritten notes in the right margin, including the date '八六' and other illegible characters.

交通機関の種々相

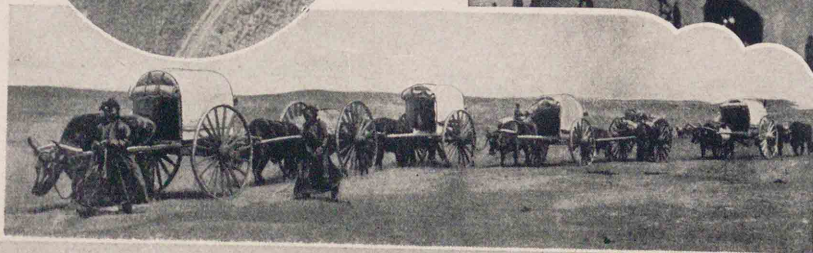
曠野を走る連京線



自動車の流れ ニューヨーク



蒙古地方の幌馬車



中部アフリカの頭上運搬

経済

設問

- (一) 支那の鑛業に列國が争つて手を延ばしてゐる理由如何。
- (二) 南米及び濠洲の主な鑛産物を挙げよ。
- (三) 鐵鑛を産して製鐵の盛でない國は何處か、それは何故か。

交通の發展

交通と國家

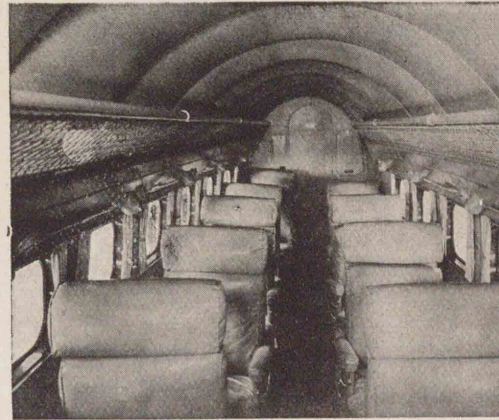
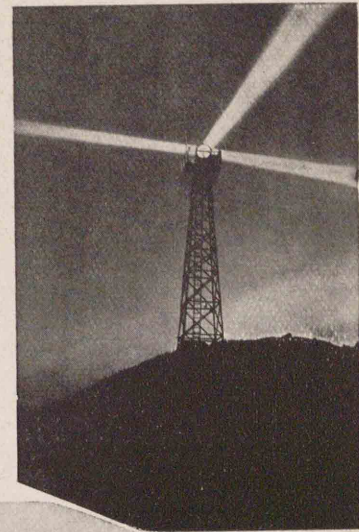
第七節 交通

交通の發達 未開時代の交通は陸上の小範圍に限られてゐたが、十五世紀の頃から海洋交通が盛となり、その後汽車、汽船等の發明によつて、更に世界的に大量交通が行はれるやうになり、最近では飛行機の發明と共に、益々交通が迅速化するに至つた。

交通と國家 交通は、國家の發展上特に重要なものである。米國及び英領インドが分裂的傾向を防ぎ、政治的結合を強化したのは、交通の整備による所が多く、又近代工業發達の要因には交通の至便を主要條件とし、國防上に於てもその完備は極めて必要であ

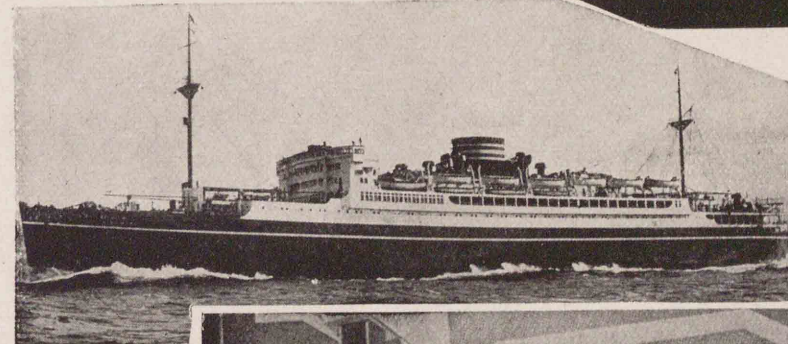
交通

航空燈臺

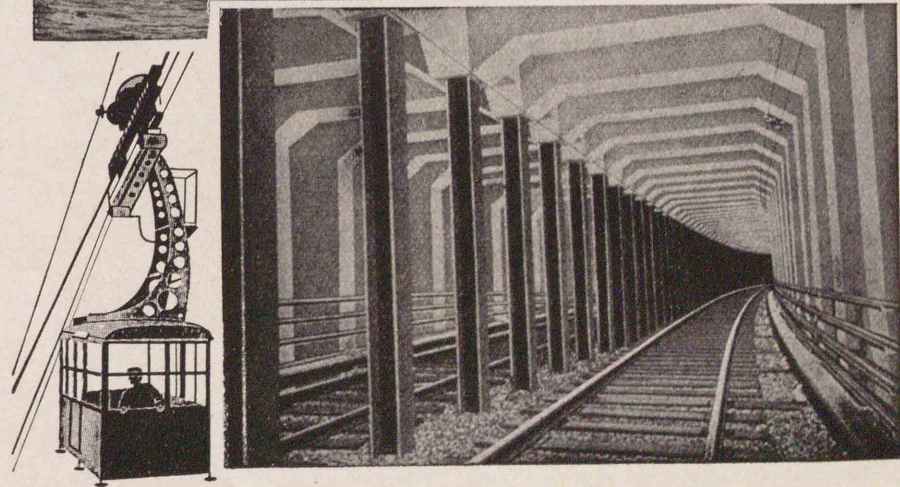


ダグラスD3型旅客機内部

太平洋航路の鎌倉丸



地下鐵道



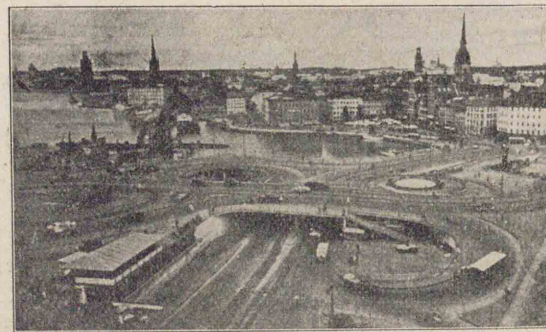
交通の地理的條件



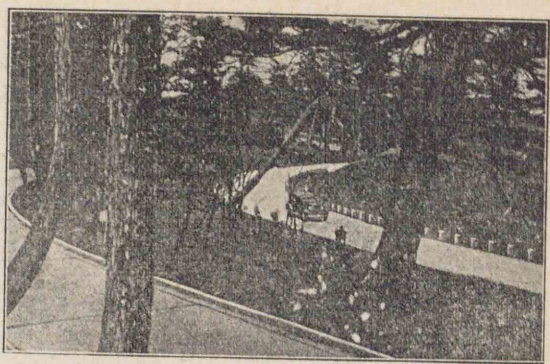
サハラ沙漠の隊商路

る。従つて古來大を成せる國家は、交通の整備に努力したものが少くない。現今未開諸國の交通は未だに原始的狀態を呈してゐるのに反し、文明諸國は著しく高度化されてゐる。

交通の地理的條件 地形は交通を支配する第一の條件である。山地は交通を妨げて人文の境界線となり、平野は交通の發達を促進する。河川は海と内陸とを結び、海洋は世界の公道として交通に貢獻する所が大である。氣候も亦交通を支配し、酷寒の極地、乾燥せる沙漠、濕熱の熱帶等は何れも交通に大障害を及ぼし、積雪濃霧等も亦交通を妨げる。



道路交叉點の新施設 (ストックホルム)



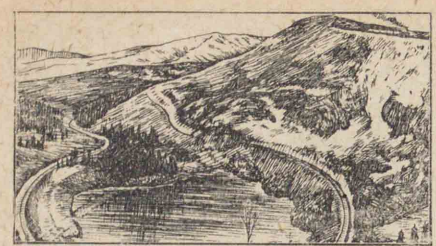
東海道の松並木道路 戸塚附近

道路 原始的な自然道路と、人工道路とがある。完備した人工道路は、特に文化の進歩に貢献する。路上の運搬機関としては、動物や車輛等が用ひられ、近年は特に自動車の發達が著しく、鐵道をも壓倒せんとする勢がある。自動車の最も多いのは米國で、我が國は地勢その他の關係上、自轉車の發達が著しい。



鐵道

鐵道 鐵道は陸路の主要機關で、汽車又は氣動車を走らせ、市街地附近では多く電車を用ひる。鐵道の整備は政治、軍事、經濟に至大な關係があるが、地形の制約

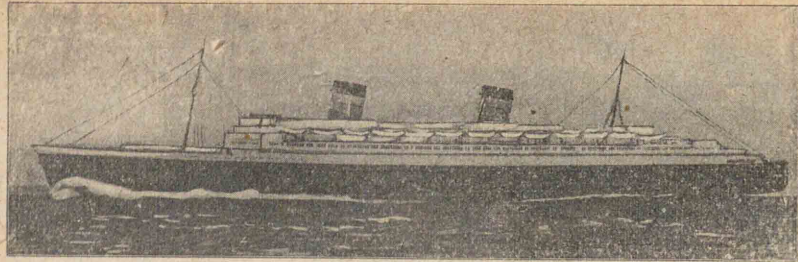


山脈横斷の迂回線

を受けることが大きい。鐵道網の密度の大なのは歐洲西部、北米東部等で、ベルギーは世界第一位である。鐵道の總延長は北アメリカ洲が最長で、世界の四割を占める。



アジアの鐵道 では、シベリア横斷線、鐵道、ヨーロッパの鐵道では迂回線、半島急行線、東方急行線、北方急行線、南方急行線、北アメリカの鐵道では十數條の大陸横斷線が特に重要である。**我が國の鐵道** の内地總延長は二萬二千餘軒で、外地のものを合すれば三萬軒に達する。列強に比して未だ密度が甚だ小で、且概ね狹軌であるから、速度、輸送力が小で、振動も大きい。然し時間の正確さはドイツと共に



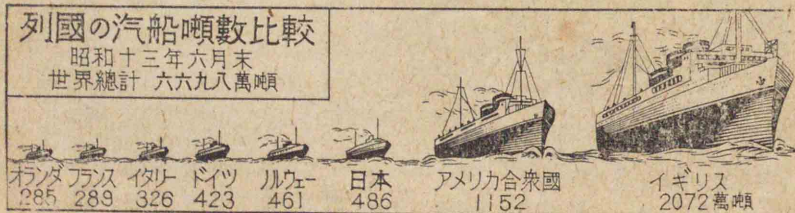
大西洋の巨船 クイーンエリザベス號 (85000噸)

びモーター船が全盛である。輸送力と速力をを經濟的に増大するために、巨船の建造が流行し、世界最大のクイーンエリザベス號は實に八萬五千噸である。各國の商船噸數を比較すれば、イギリスが世界の首位で、米、日、諸國の諸國がこれに次いでゐる。

港灣 水陸交通の連絡上必要なものは港灣で、①風波の少ないこと、②水深が適當であること、③暗礁のないこと、④適當な廣さを有すること、⑤水底に砂泥が相混つて適度の硬さを有すること、⑥結水濃霧、潮汐干満の差等の無いこと等の自然的條件に恵まれ、①後背地が廣く、②交通に恵まれ、③設備の完全なこと等

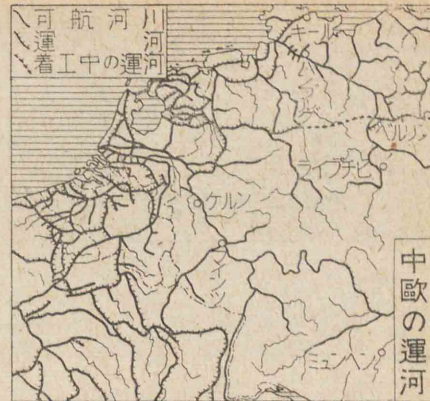
列國の汽船噸數比較

昭和十三年六月末
世界總計 六六九八萬噸



船舶

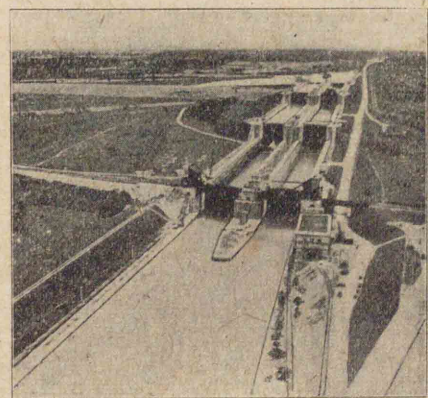
内陸水路



中歐の運河

湍を避ける廻避運河、地峽を開いた地峽運河等がある。中にも地峽運河はその價值が大で、スエズ、パナマ二運河の如きは、世界の交通に劃期的變動を與へた。

船舶 人力で動かす小舟の外に、帆船、汽船、モーター船等があるが、現時は汽船及



ナイアガラ瀑布の廻避運河

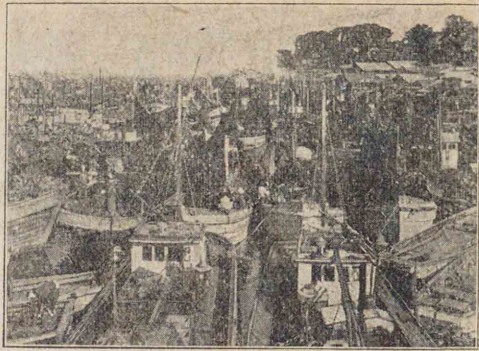
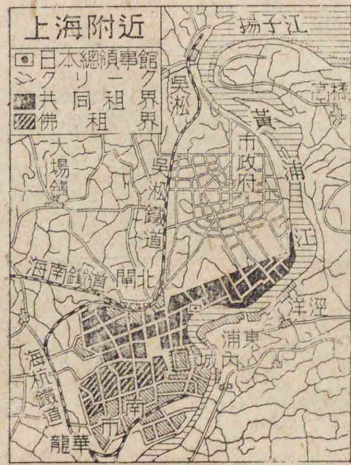
名高く、又保線事業、車輛配給組織も世界に誇るに足る。内陸水路に河川、湖沼及び運河があつて、海路と共に運賃の低廉なため、重量貨物の運送に多く利用される。ヨーロッパの諸河川、揚子江、北米の五大湖等は特に重要な内陸水路である。運河には海洋より内地に掘鑿して、内地の都市を海へ連絡する海船運河、河と河とを連絡する連河運河、水路の急

の人文的條件を具備しなくてはならない。港灣の設備としては、防波堤、棧橋、繫船岩、壁起重機、上屋、臨港鐵道、無電臺、氣象通報機關等を要する。港灣は位置によつて、海港、湖港、河港に、經濟上より商港、漁港、避難港、貯炭港、飛脚港に分れる。

河港 漢口、マナオス、セントルイスの如きは河川の中流に位する河港で、内陸の物産を集散し、必需品を輸入して四隣に供給し、後背地の廣狹に比例して榮える。上海、ロンドン、ハンブルグの如きは河口に近い河港で、航洋船と河船又は鐵道との仲繼で繁榮してゐる。

湖港 大津、シカゴ、バクーの如く湖岸に位し、航通の中心となる港で、その發達は湖沼の大小、後背地の廣狹による。

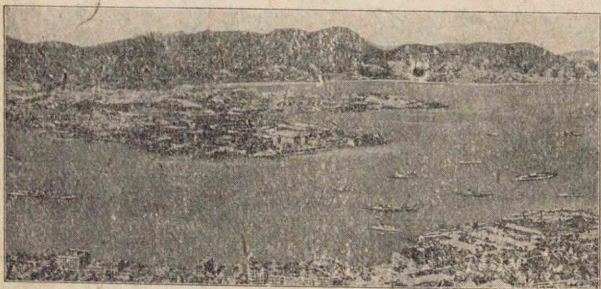
漁港 漁船の集合場となり、これに必



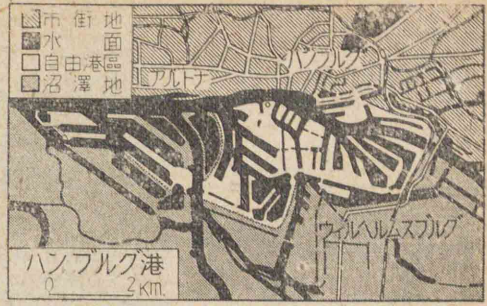
要物資を供給し、又修理の便を與へ、魚獲物處理の設備を有する港で、網干場、水産加工場、水陸聯絡設備、冷蔵庫等を必要とする。英國のハル、ソルウエーのベルゲン、我が國の八戸、銚子、下關、清水の如きは即ち漁港である。

商港 取引上の形式より内國商港、開港(貿易港)、仲繼貿易港、自由港、特別輸出入港に分れる。内國商港は自國の船舶のみが出入し、開港は、内外の船舶が出入して、一般輸出入貿易をなす港である。

仲繼貿易港は産地消費地間に立つて貨物の流動を媒介援助する港で、大連、香港、アントワープの如



香港の自由港・仲繼貿易港



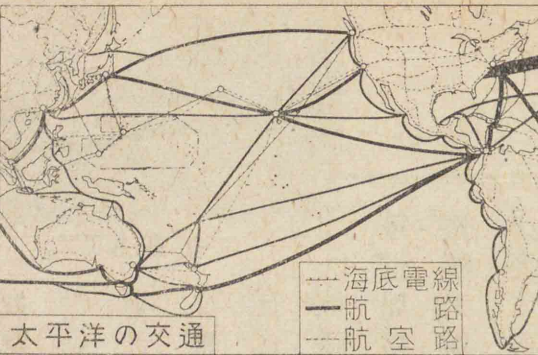
近海航行時代の船

きがこれである。自由港は仲繼貿易を營み、輸出輸入とも關稅を免除する港で、港内に於て製造加工をも許してゐる。大連香港アデン・ハンブルグは即ちこれである。特別輸出入港 特別の物産を輸出輸入する開港で、石炭の三池若松、米穀のラングーンの如きである。

飛脚港 旅客郵便物等迅速な輸送を要するものは、半島又は岬角の尖端に位置する港を利用して、鐵道と船舶とを連絡する。イタリーのブリンディシ、フランスのカレー、ベル

ギーのオスタン、我が稚内等はこれに屬する。

海路 陸路よりも抵抗力が少く、運動方向が自由で、運賃が低廉であるから、古くから利用された。未開時代には、船舶が小型で航海術が幼稚であつたから、内海近海の航行に止まつたが、發見時代より、大洋航行が行はれ、次いで鐵道の發達につれて、大陸横斷線と連



海路

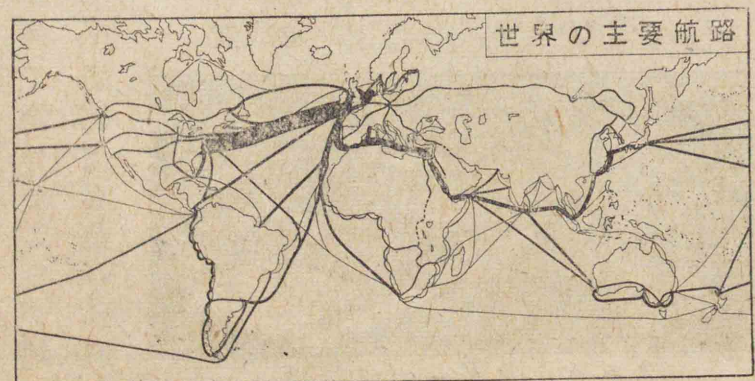
空運

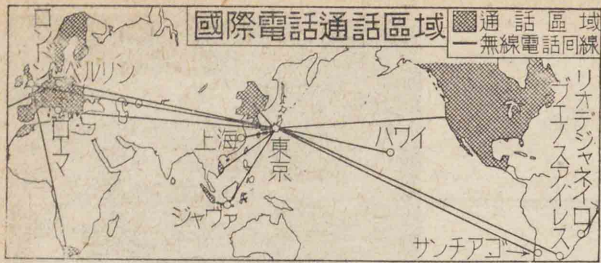
絡が出来、現今の盛況を見るに至つた。世界の主要航路は、北大西洋航路、中央大西洋航路、歐亞航路、北太平洋航路、南米兩岸航路、濠洲航路等である。

北大西洋航路 は歐洲・北米の二大文化地帯を連絡し、交通が最も頻繁である。

北太平洋航路 は北米西岸と東洋の諸港とを連絡してゐる。現在の世界航路は、東西方向のものが多いが、近年赤道を通る南北方向のものも、漸次旺盛になつて來た。

空運 航空機は天候(氣温・氣壓・風向・雨雪)に支配されることが多く、

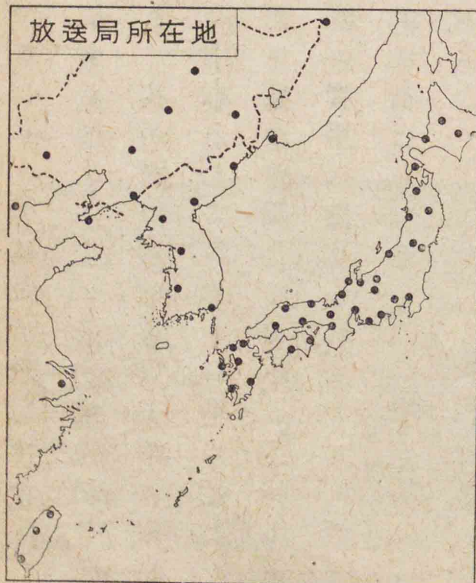




經

濟

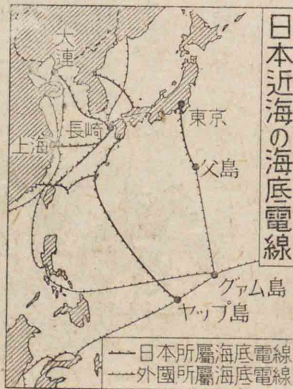
日歐間の郵便路には、西廻りにシベリア經由、スエズ經由があり、東廻りに北米



六九

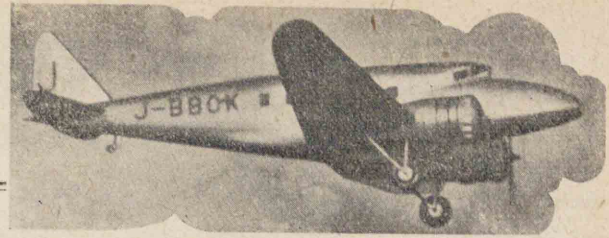
通信

通信 通信機關は經濟上のみでなく、軍事上、政治上にも亦重要であるから、列強はその完備を競つてゐる。通信機關に郵便、電信、電話があり、電信は陸上、海底無線に分れ、電話には有線と無線とがある。これ等は何れも世界的事業となり、萬國聯合を組織し、世界人口の大部分はその恩恵に浴してゐる。



日本近海海底電線

—日本所屬海底電線
—外國所屬海底電線

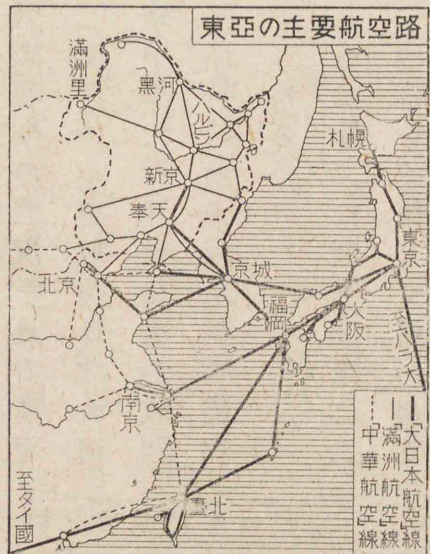


中島AT陸上旅客機

經

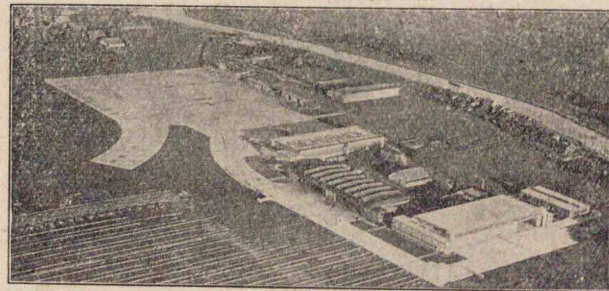
濟

地勢も重要な關係を有する。航空網の發達が著しいのは西
部ヨーロッパ及び米國で、日本は技術に於て優秀であるが、地
勢、氣候、地理的位置、助成豫算等の關係上、民間航空事業の發達
が列強に比し著しく遅れてゐる。
航空路は飛行場の外に天候を報知する航
空無線電信局、航空燈臺、中間着陸場等が必
要である。
又飛行場
には地上
標識無線
電信局、格納庫
修繕工場等が
必要である。



東亞の主要航空路

—大日本航空線
—滿洲航空線
—中華航空線
—至タイ國



アムステルダムの飛行場

九八



電送寫真機による送信

經由があつて、シベリア經由が最も速い。有線電信路にも、シベリア・インド・北米通過の三経路がある。我が國の無線電信電話は東京・大阪兩局を中心として世界の各地に通じ、ラヂオも亦到る處に普及してゐる。近時は電送寫真も既に實用に供せられ、又テレビジョンも試験的に行はれてゐる。

問 設

- (一) 雪と交通との關係を述べよ。
- (二) 世界の主なる大トンネルを挙げよ。
- (三) 水路は、何故陸路よりも運賃が安いか。
- (四) 港を作るには、どんな地形が最もよいか。
- (五) 航空路に必要な設備を述べよ。



山地の駄獸交通

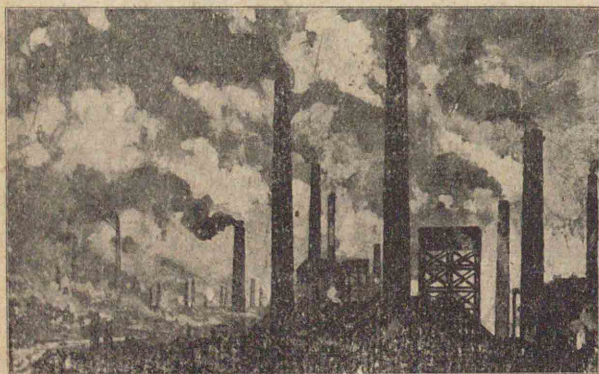
工業發達の條件

第八節 工業

工業發達の條件 工業は自然の與へる物質、及び原始産業によつて得た原産物に加工して、變形、變質又は合成する産業で、文明國の一大特質となつてゐる。工業發達の條件としては、①原料の豊富なこと、②原始産業の旺盛なこと、③動力の得易いこと、④交通の便利なこと、⑤勞力の低廉なこと、⑥消費地に近いこと等が特に必要で、猶⑦地形氣候の良好なこと、⑧資本が豊富で、⑨學術の進歩してゐることも亦必要である。

工業立地

工業立地 世界の工業は、これ等諸條件をよく具備してゐる西部・中部ヨーロッパ



イギリスの工業地帯 シェフィールド



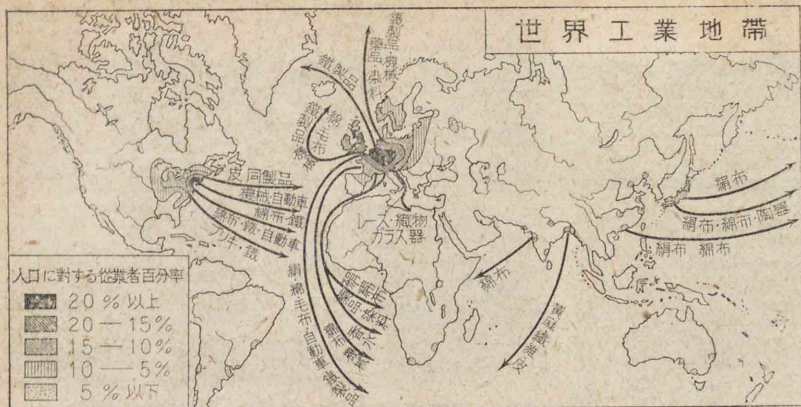
北米の東部、日本の中央部等、北半球の文化地帯に分布し、明瞭な工業地帯を形成してゐる。我が國に就いて見れば、京濱阪神中京北九州の四大工業地帯が出来てゐるが、何れも前記諸條件を比較よく具備してゐる地方である。然し個々の工業に就いて見る時は、又夫々特殊の立地條件を要する場合が少くない。例へば織物業には、空氣の濕潤なことを有利とし、人絹工業には特に多量の良水を必要とするが如き類である。

原料と動力 世界各國の有する原料資源は頗る不平均で、英米ソ聯佛の諸國は、重要原料の生産に於て、支配的地位を占めるが、日獨伊の諸國は頗る貧弱で、他國からの輸入によつてその工業の發達を圖つてゐる。動力源たる石炭は米英獨佛の諸國に多く、水力は米獨英日の諸國に多い。

世界主要工業國

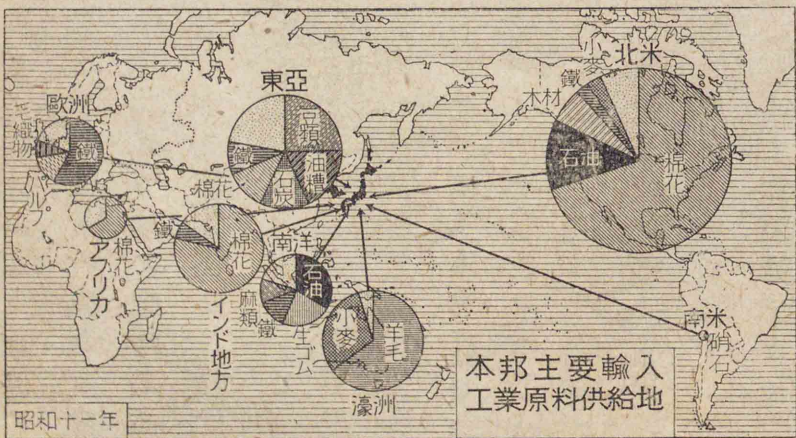
世界主要工業國 各國は自然的・人文的環境を異にするから、工業の盛否、工産物の種類にも相違がある。

英國 は鐵石炭が多く、良

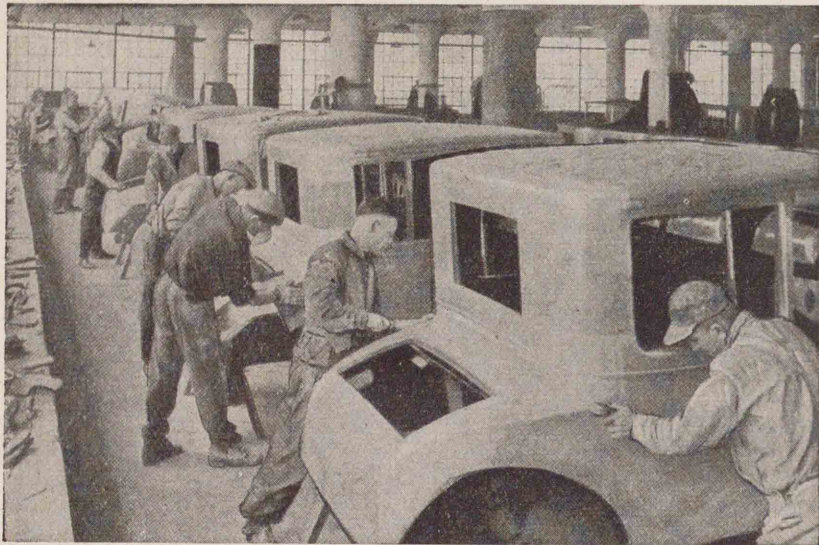


港に富み、陸半球の中心を占め、且廣大な植民地を持ち、住民が活動的であるから、世界最初の近代的工業國となつた。鐵工業、纖維工業、綿羊毛麻人絹機械器具造船車輛等の諸工業が盛大である。

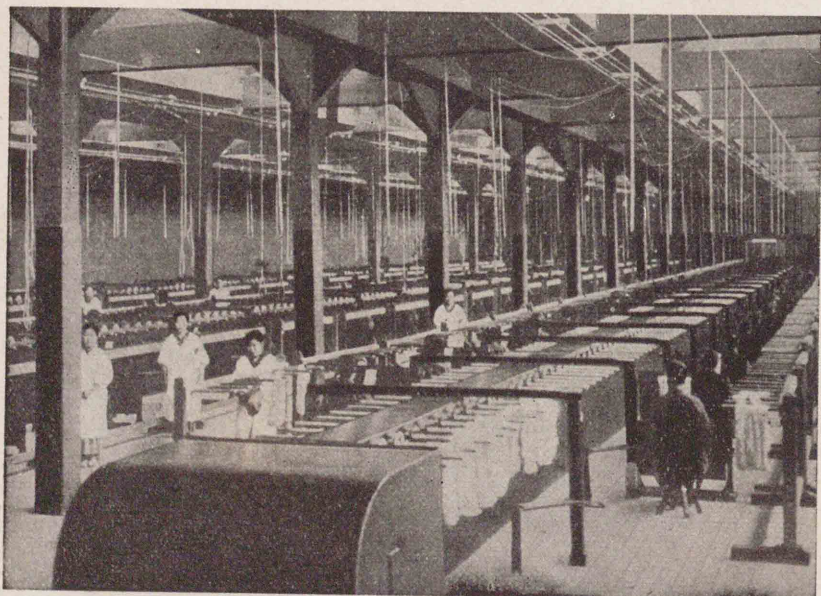
ドイツ は鐵石炭が多く、國民が學術の應用に長じ、又勤勉であるから、製鐵、化學、製藥、紡績、機械、造船、製糖、釀造、印刷等の工業が甚だ盛である。



工業

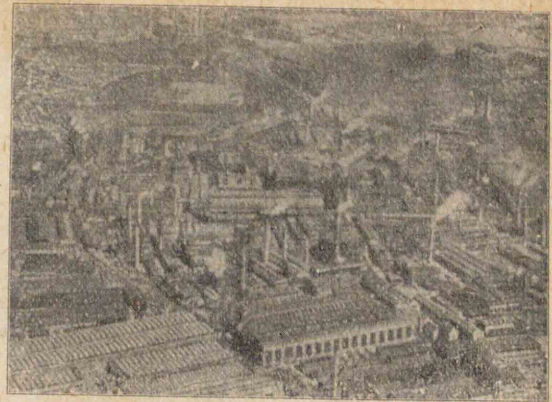


米國の自動車工場



岩國の人絹工場

發電工業



ドイツのルール工業地帯

經濟

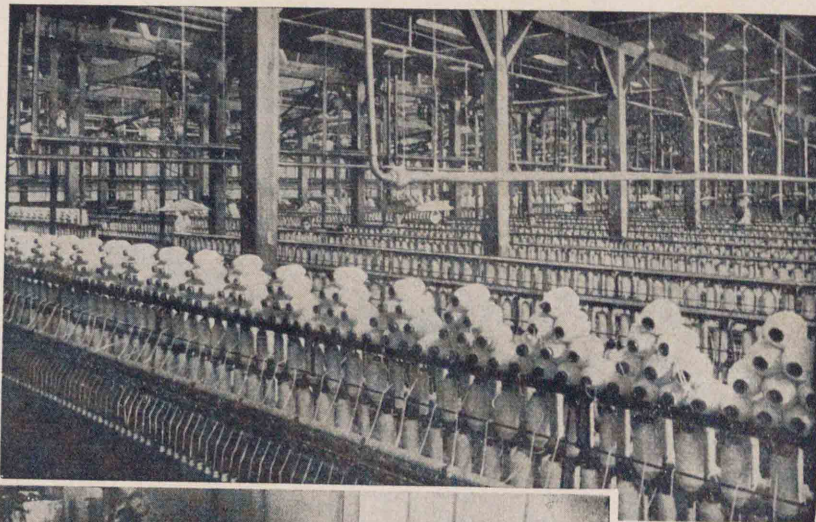
一〇四

が盛大である。によつて各種工業が急激に發達し、その中纖維工業(綿・絹・毛織物)が首位を占め、化學・機械・造船・醸造等の工業がこれに次いでゐる。發電工業は、産業・交通の發達に極めて深い關係を持ち、

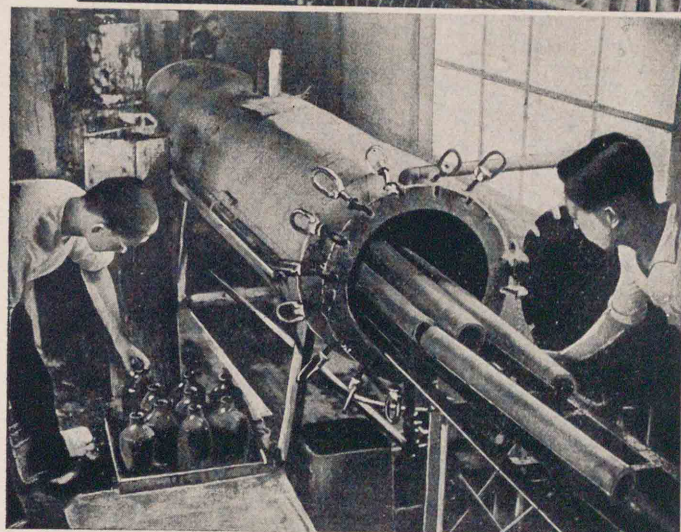
【フランス】は地理的位置がよく、原始産業が發達し、住民が美術工藝に長じてゐるので、機業(絹・綿・毛・麻織物)、化學製鐵、機械・醸造等の工業が盛んで、殊に美術工藝品が特産である。【イタリー】は美術工藝品の外、近代工業も盛である。【ソ聯】の重工業も最近著しく發達して來た。【ベルギー・スイス】等も亦工業が盛大である。【米國】は原料・動力が豊富な上に、人文的環境もよいので、ヨーロッパの先進工業國を凌ぎ、製鐵・機械・織物・自動車・食料品・化學品を始め、各種の工業

我が國は絶好の地理的位置と優秀な國民性と

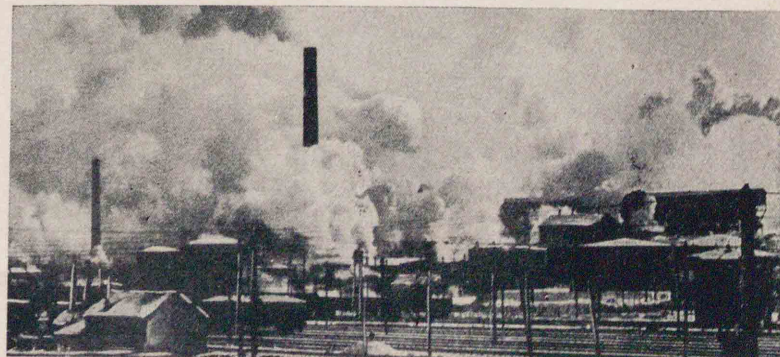
工業



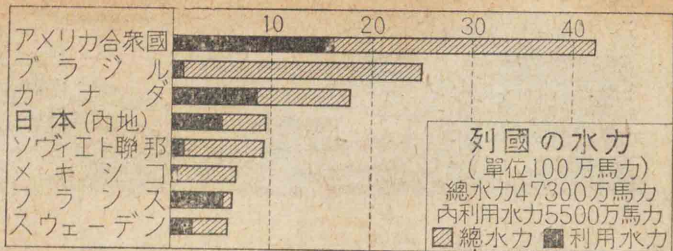
紡績工場 大阪



鐵の代用品となる
「高力陶器」の製造



オイルシェール工場
(満洲)



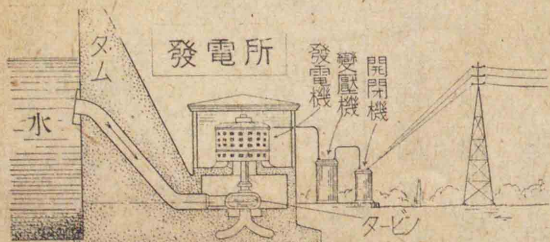
纖維工業

纖維工業

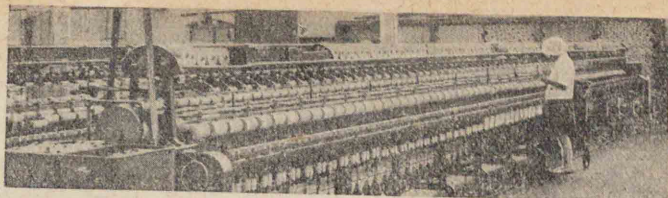
纖維工業は、衣服日用品を供給する重要な工業である。

備として火力発電所の設置が必要である。

現に我が國各種工場の動力は、九割以上が電力である。世界の水力発電包蔵量の最も多いのは米國で、ブラジル・カナダ・ソ連・日・メキシコ・佛・スウェーデンがこれに次ぐ。その中、既開發の發電量は、米・カナダ・ソ連・日・佛の順である。我が國の發電工業は近時急速に進歩し、電燈の如き世界一の普及率を有する。然し工業發展のため、電力需要は益々多く、政府は發送電事業を管理して、その發達を圖つてゐる。一般に我が國の電力需要地は表日本に多いが、この方面の河川は電力需要期の冬季に渴水する惧があるから、發電所はこの憂の少い裏日本に設ける傾向がある。猶電力飢饉の豫



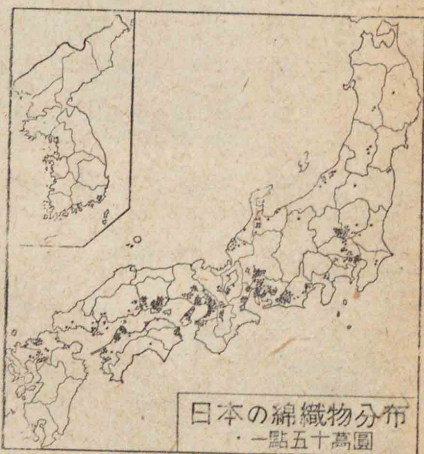
(紡績合絲機)



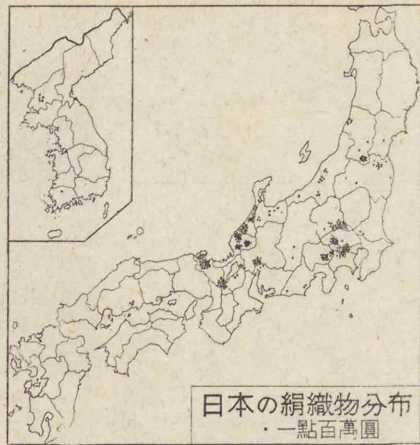
綿絲・綿織物 は最多數住民の被服材料で、日米英三國に於て最も盛に行はれ、獨佛ソ聯伊ベルギーがこれに次ぎ、最近インド支那も稍盛となつた。

我が國は、①國民が手藝に長け、②勞銀が安價で、③支那インド南洋の好市場に近く、④交通の便と、⑤濕潤氣候とによつて、紡績業が隆盛となり、今や英米等先進國の製品に脅威を與へる結果、多く海外で防遏されてゐる。我が綿機業の最盛地は、尾勢及び阪神地方で、京濱山陽北四國北九州がこれに次ぐ。綿製品の輸出額は、常に生絲と並んで、貿易額の首位を争つてゐる。

絹織物 は日米佛獨伊スイス支那に榮え、米國品は量に於て、佛國品は質に於て有名である。我が國は、世界第一の産地で、古來優良



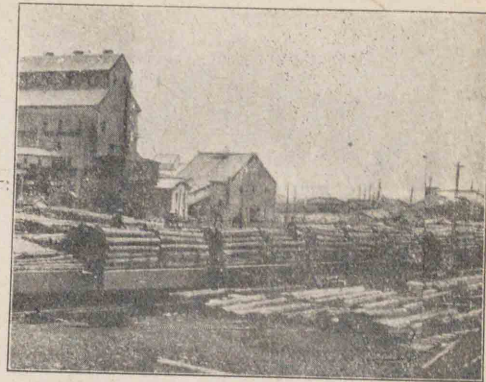
化學工業



品を産し、特に京都福井群馬石川の府縣は輸出向羽二重富士絹の産が多い。麻織物 は英ギルベールに盛で、多く麻布包袋帆布馬具等に用ひる。我が國は、北海道(札幌)滋賀(八幡)栃木(鹿沼)大阪等の諸府縣が盛で、古來、上布蚊帳等を産する。毛織物 は英米獨佛伊等に甚だ盛である。我が國は最近、毛織物の使用が増し、濠洲アルジェンティン支那の羊毛を買入れて製織する外、英佛からの毛絲、毛織物の輸入額も少くない。

化學工業 科學の進歩につれて隆盛に赴き、日米英獨佛ベルギーに最も發達し、我が國も最近目覺しく勃興した。

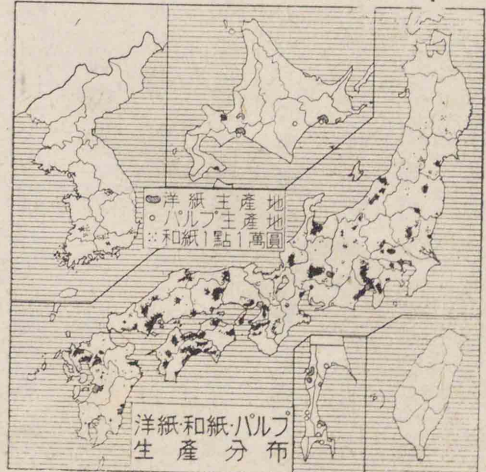
パルプ工業 紙・人絹・人織・セロファンの原料となる重要工産物で、主として蝦夷松・椴松を碎き、その纖維素を固めたものである。世界に於けるパルプ生産國は、米・カナダ・スウェーデン・獨・フィンラン



泊居のバルブ工場

ドノルウェー・ソ聯日の順で、主要輸出國はスウェーデン・フィンランド・ノルウェー・カナダ等である。我が國のバルブ需要高は概略百萬噸であるが、三割は輸入に仰ぎ、その急激なる需要増加のため、増産が要望されてゐる。主産地は北海道樺太、朝鮮、滿洲國にも工場が起りつゝある。バルブの需要増加、木材資源の減少のため、間伐材、瀾葉樹、バガス、蘆稻、藁、鬼萱等の代用原料による製造が考究され、各地に小工場も興つてゐる。

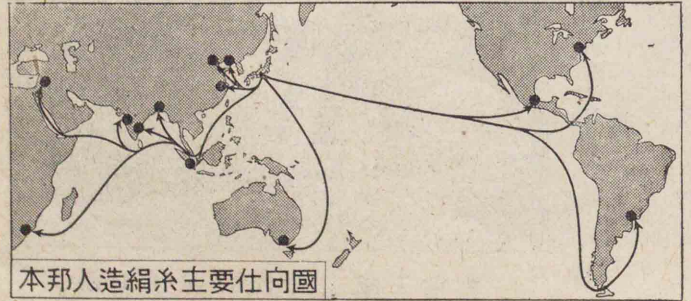
紙 は米國が世界産額の三割を占めて第一位に在り、カナダ、獨日、佛等がこ



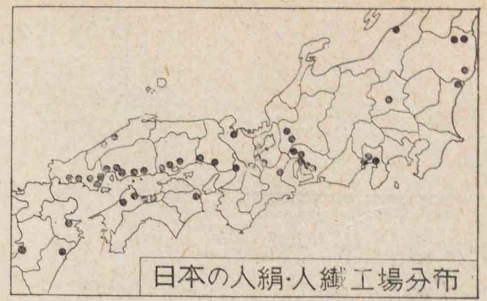
れに次ぐ。我が製紙業は近年著しく進歩して、品質、技術共に列國に劣らない。高級品の産は今猶少いが、和紙は日本の特産である。

人造絹絲 工業は最近急激に勃興して、天然絹絲を著しく壓迫し、綿織物絹織物の領域をも侵してゐる。米日が最多産地で、獨英、伊佛がこれに次ぐ。良質で豊富な水が得易く、交通の便利な處に行はれるので、我が國では琵琶湖、瀬戸内海沿岸に發達し、世界第一の輸出國となつてゐる。

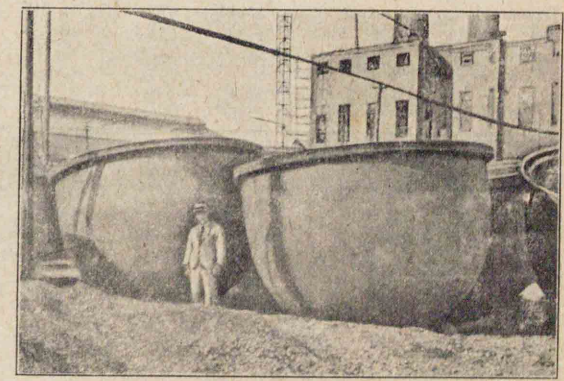
人織 は人造絹絲と同じ工場て生産される。我が國は日濠通商問題以來、その増産を圖つた



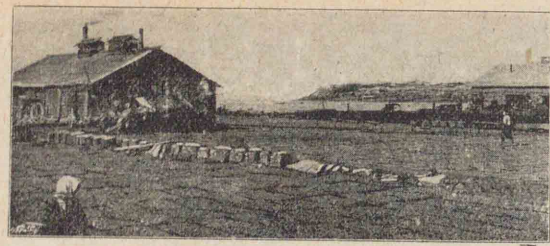
本邦人造絹糸主要仕向國



ため、今は世界第一の産出国となり、獨伊英米佛がこれに次ぐ。
曹達 食鹽を原料として曹達灰（炭酸曹達を製し、これに加工して人絹・人織・石鹼藥品・火藥等の工業に不可欠の苛性曹達を製造する。米國が世界第一で我が國はこれに次ぎ、京濱・阪神・北九州・瀬戸内方面の工業地に産する。諸外國は岩鹽を國內に産するため原料に恵まれるが、我が國の曹達工業は、輸入鹽を原料として製造する不利がある。
陶磁器 の多産國は、獨佛日支等である。我が國は古來各地に良品を産したが、近年經營が大規模となつて増産し、米國・南洋方面に

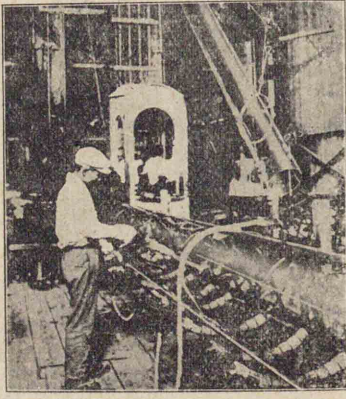


曹達工場の苛性曹達仕上鍋



北海道の製造魚肥

輸出する額が甚だ多く、鐵代用の高力陶器の産出をも見るに至つた。
硝子 は文化の進むに従つて需要が増加するので、近年著しくその産額が増した。ベルギー・獨米・佛等に多く、我が國の硝子工業も近年隆盛となり、窓硝子・容器・電球等の輸出が多く、列國の製品を壓迫してゐる。
肥料 は、磷礦・硝石・グアノ・加里鹽が主で、米國・磷礦・太平洋諸島（磷礦）・チリ（硝石）・ペルー（グアノ）・ドイツ（加里鹽）より輸出する。人造肥料中、空中窒素を固定する硫酸アンモニアは日獨に多く産する。近年我が國の農業が科學的となるにつれて、人造肥料の利用が激増し、その製造も盛になつて來た。魚肥は日英・ノルウェーの産が多く、油粕は滿洲國の豆粕が特に重要で、我



硝子の工場

商 業



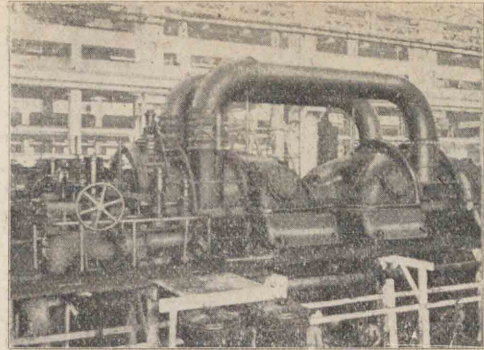
大陸の大商港 上海



羊毛輸入
シドニー港の邦船



北米東岸線
三井ライン



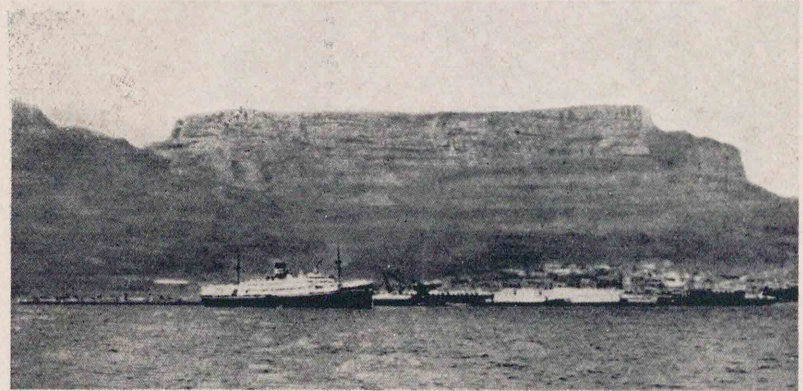
三菱工場 製作タービン発電機

が國に輸入する額も多い。
醸造品 の中、葡萄酒は南歐の佛伊・スペイン・ポルトガルが世界に名高く、麥酒は米獨が主産地で、英・ベルギー・佛がこれに次ぐ。我が國は清酒・麥酒・醬油を産し、麥酒を支・滿・印・米等に輸出する。
砂糖 の中、甜菜糖はソ聯・獨・米、甘蔗糖は印・キニューバ・ジャヴァ・米に多く、文明國は原料を輸入して精製する。我が國は臺灣・ジャヴァ産の粗糖を移輸入して精製してゐる。
機械器具工業 總べて生産には、夫々特種の機械器具を要し、その良否は直ちに産業の盛衰を左右する。精巧な機械器具の製造工業は、深遠な學理と、優秀な技術と、多年の熟練とを要するから、文明國のみに勃興する。
造船 はイギリスが最も盛で、米・日・獨・伊がこれに次ぐ。
機關車 は米獨、**自動車** は米國の産が最も多い。

商 業

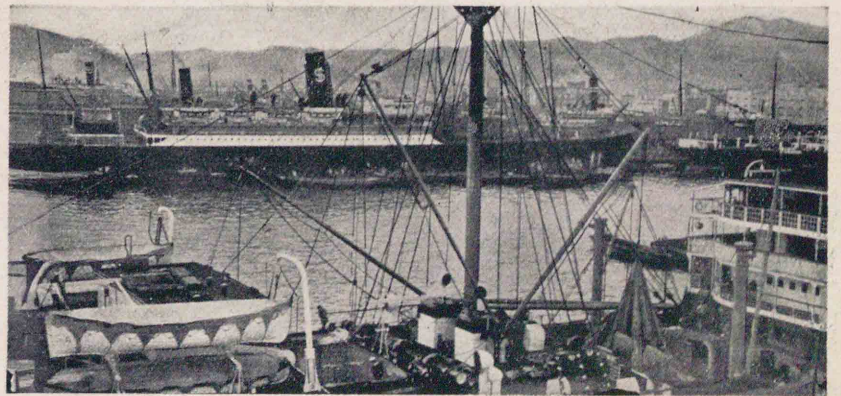


今なほ盛んな定期市大邱



アフリカ航路の邦船

商 港 神 戸



機 械 器 具 工 業

機 械 類

の多産國は米・英・獨・伊・て、農業機械(米・英・獨)、鑛業用機械(英・米)、紡績機械(英・米)、電氣機械(英・米)、醫療機械(獨)、裁縫機械(米)等を産する。我が國の機械工業は近年隆盛になつたが、猶優秀品は輸入に俟つてゐる。時計はスイス、米獨に多く産し、近年我が國(東京・名古屋・大阪)に於ても盛にこれを製造し、輸出してゐる。

第九節 商 業

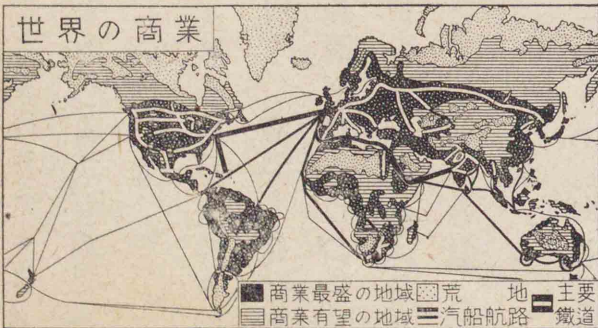
商 業 の 發 達

商 業 の 發 達

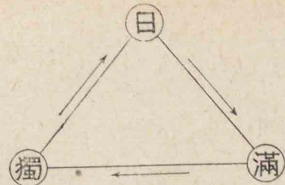
未開時代には小範圍内に於ける物々交換によつて、自給自足の經濟を營んでゐたが、文化が進んで分業が起り、貨幣が用ひられ、通信・交通機關が發達するに及んで、商業が隆盛となつた。各地方は、



經 済



貿易政策



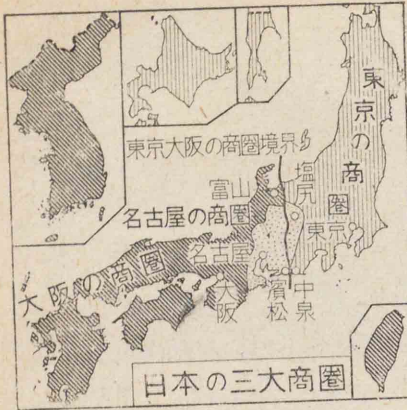
市場商圏

自然環境と住民の素質及び文化とが異なるので、生産物にも差異を生じ、これが交通の世界化によつて大規模な取引となり、遂に今日の如き世界經濟が成立して、國際貿易が盛となるに至つた。

貿易政策 各國は各、その得意の生産物に主力を注ぎ、自由に他國と有無相通じて貿易することが、國民生活の向上に有利な筈である。然し近年經濟的國家主義が盛になつて、各國何れも自給自足を調すを目標とし、貿易に制限を加へ、關稅障壁輸入割當輸入許可を易示を爲替管理等の排他的政策を實行して、著しく世界の貿易を貿易角超を爲替管理等の排他的政策を實行して、著しく世界の貿易を以て三出萎微沈滯させてゐる。これは結局各國共に自ら苦しむことを三國間にするは、最近各方面に求償主義、バーター制度、若しく三整(矢印)は三角貿易等の協調的方法が採用されるやうになつた。

市場商圏 商品取引の行はれる所を市場といひ、昔多く行はれた定期市は今でも特殊な地方に開かれる。常時の市場は即ち商業

各國の貿易

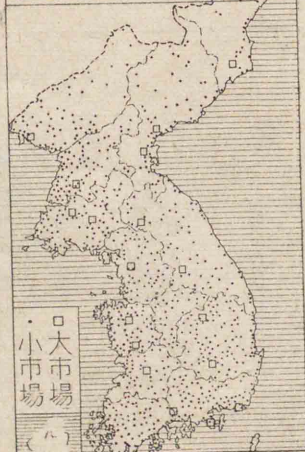


日本の三大商圏

都市で、貿易の行はれる所を開港場開市場といふ。市場の取引範圍を商圏といひ、その形態は交通線と關係が深い。我が國は東京大阪の二大商圏に分れ、その漸移地帯に名古屋の商圏がある。又綿織物に就いていへば、日本と英國とが世界を二分して各その商圏としてゐる。港の商圏中、陸の方面をその港の後背地と呼ぶ。

各國の貿易 大戰後の世界的不況によつて一時著しく貿易が減退したが、最近再び増加しつゝある。世界の最大貿易國は英米の二國で、英國は輸入額、米國は輸出額が世界第一である。輸出入總額は英國を第一位とし、米獨佛等がこれに次ぎ、我が國も近年頓に増

朝鮮の市場分布

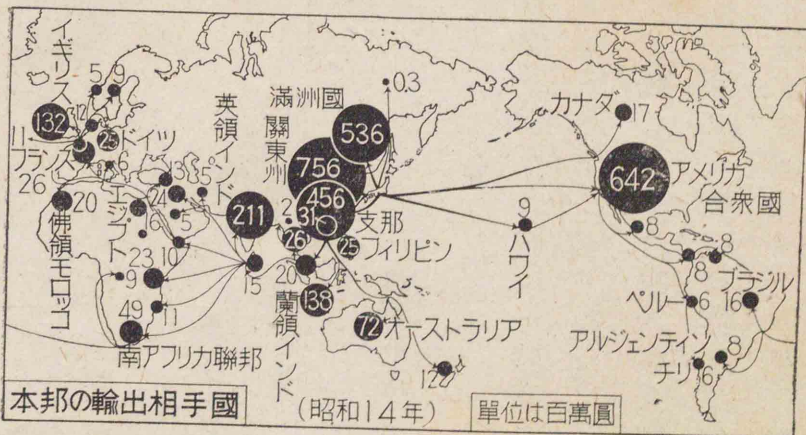




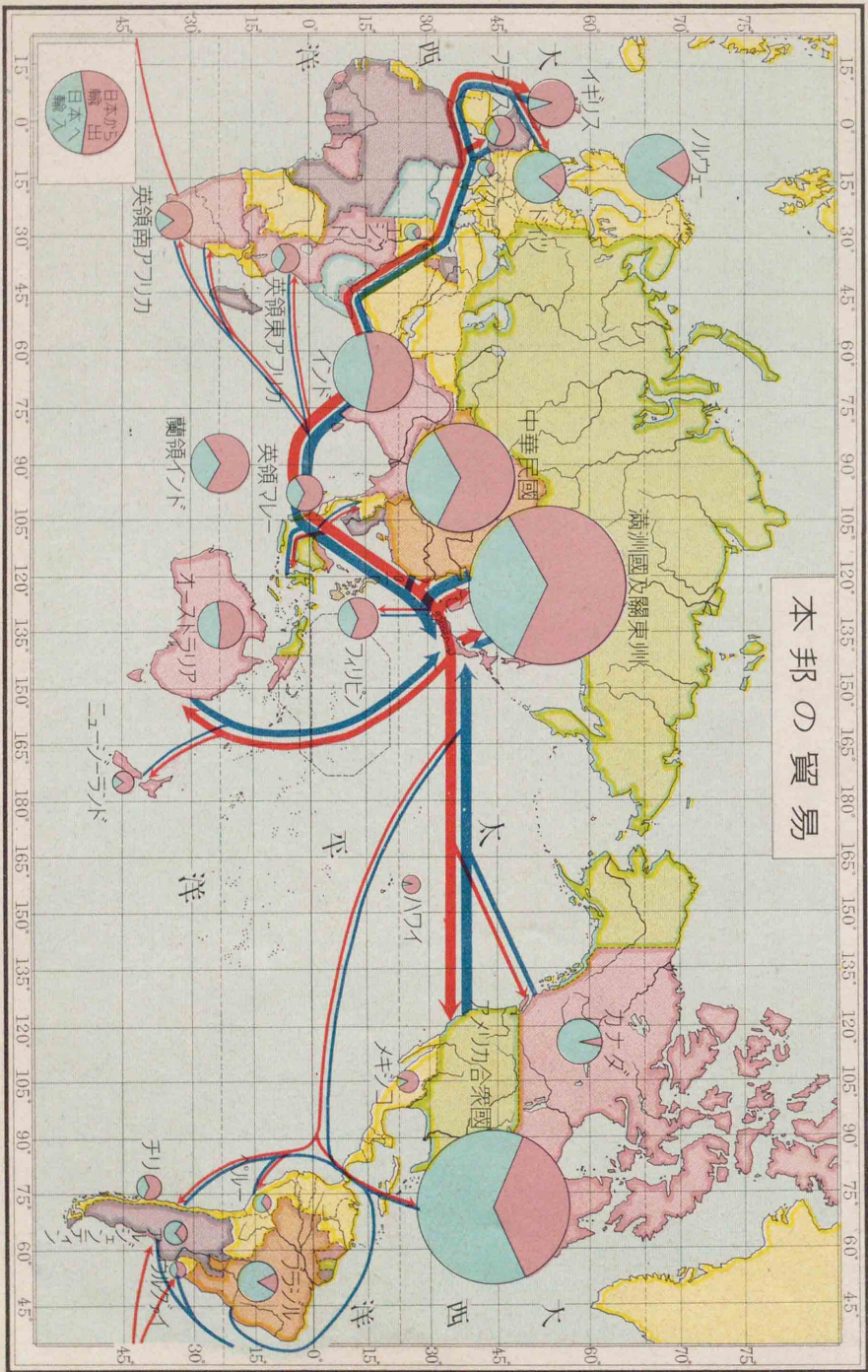
我が南米東岸航路 バナマ通過

加して獨佛に匹敵するに至つた。輸出入の差引を見ると一般に原料供給國は出超て、工業國は入超を常とする。然し國際間には貿易以外の收支勘定があるため、英國の如き入超國もこれを調節し得てゐる。我が國も入超である

が、海運收入及び移民の送金等によつて入超の大部を決済してゐる。我が國の貿易は工業の發達、交通機關の進歩、國威の發揚につれて著しく發

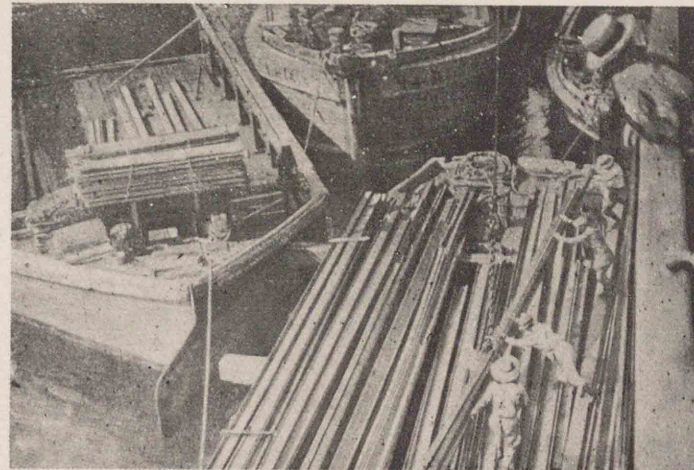


本邦の貿易

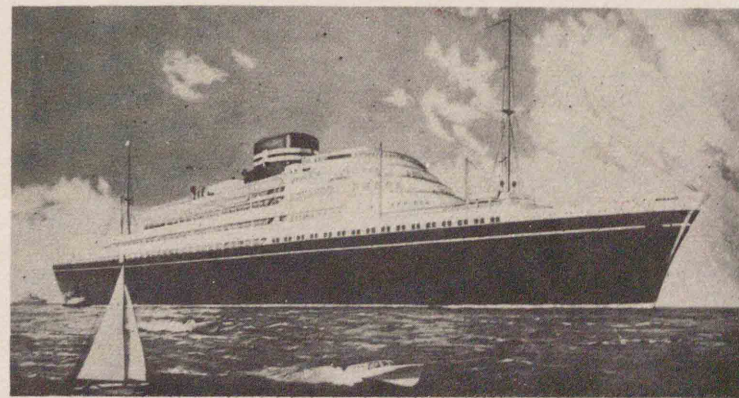


商 業

輸入鐵材の陸揚

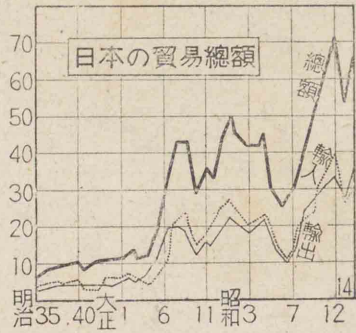


スマトラの市場に並ぶ
日本商品 陶磁器



南米航路の「あるぜんちな丸」

達し、近年の貿易總額は七十億圓を超え（昭和十二年、その八割は横濱・神戸・大阪で行はれる。貿易港は内地に四十五港、樺太に二港、臺灣に七港、朝鮮に十二港、南洋に五港、關東州に二港ある。相手國は米國及びアジア諸國が主で、近來はアフリカ南米・中米にも進出し、各國の貿易を壓迫するので、列強は關稅障壁を設け、或は輸入割當制を實行して、我が商品の進出を阻止してゐる。



設 問

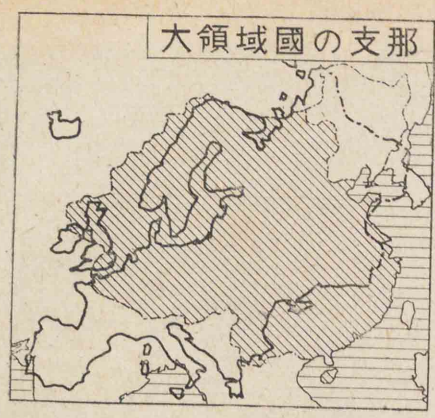
- (一) 郷土の都市について、その商圏を調べよ。
- (二) 定期市の行はれてゐる地方を挙げよ。

第五章 政治

第一節 國家の存立と地理的關係

國家と大き

國家と大きさ 現今存在する國家を大きさによつて分類すると、百萬方秊以上の領土を有する大領域國、百萬方秊以下十萬方秊以上の領土を有する中領域國、それ以下の小領域國とに分つことが出来る。大領域國は國防上有利で、又經濟力、政治的勢力を増大することが出来るが、統一上の困難を伴ふことが少なくない。國家の大きさを人口上から見る時は、一億以上を有する大人口

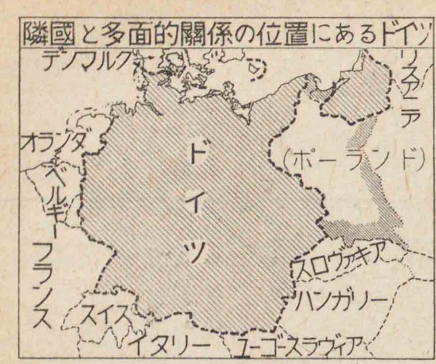


を見る時は、一億以上を有する大人口

世界列強國の人口

國名	人口
日本	7950
イギリス	4700
アメリカ合衆國	12900
ドイツ	4200
フランス	4300
イタリア	17000
ソヴェト聯邦	10200

國家と位置



國一億未滿一千萬までの人口を有する中人口國、それ以下の少人口國とがある。世界の強國として發展するためには、少くとも中人口國以上の國家でなければ、その可能性は乏しい。

地理的壓力商

人口の多寡は國家の勢力と至大な關係があるから、隣國から蒙る壓迫の度を、隣國の人口を自國の人口で割つた數値によつて、表すことが出来る。これを地理的壓力商又は人口壓といふ。人口壓は又その國の位置を考慮して算出することがある。

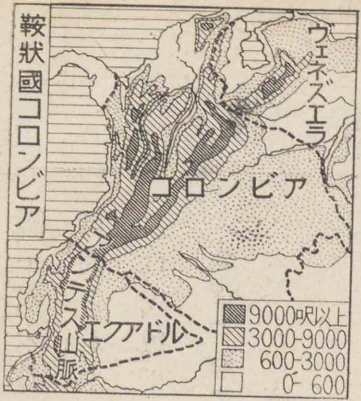
國家と位置

國家が他の國家に對する關係的位置には、
① 海洋沙漠無人の山地等によつて隔てられるもの(イギリス)。
② 國家の或る一面のみが他國と接觸するもの(ポルトガル)。
③ 國家が他の一國と二方面に於て接觸するもの(カナダ)。
④ 國家が他の二國と境するもの(スペイン)。
⑤ 國家が他の三箇國以上と境するもの(ドイツ)等とがあ

國家と地形

る。これ等は國家の發展と密接な關係がある。我が國は海洋を繞らし隣國に對し離隔的關係にあつて、守備的態勢を採る場合には極めて有利で、又攻撃的態勢を採る場合にもさして不便はない。

國家と地形 國家の發展は、地形の影響を受けることが多い。一國が主に占める領域の状態により、平原國(アルジェンティン)盆地國(ハンガリー)高原國(トルコ)鞍狀國(コロンビア)斜面國(スウェーデン)



ン島國・半島國・沿岸國(オランダ)内陸國等の名がある。高原國・鞍狀國・斜面國は山嶽が防禦に役立つ場合はあるが、人文活動の好舞臺となる平原に乏しい缺點がある。平原國・盆地國は經濟的價値

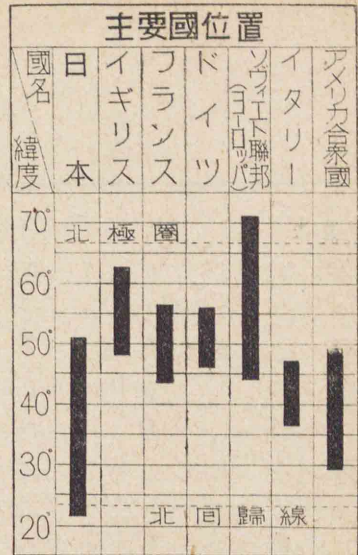


の多い平地を占める利はあるが、自然的境界を缺く場合が多く、國防上には常に不安の状態に置かれる。

島嶼國は海によつて周圍を保護され、且その海面を自由に利用し得る上に、國民の團結を堅くするに適し、日本イギリスの如き強國が形成されてゐる。然し大陸に近いものは、往々隣國に占領され、又海洋中の孤島は、特殊の目的のために強國の領有に歸する場合が多い。二つ以上の海洋に接する國は、平時に於ては有利であるが、國防上には不利を免れない。佛米はその例である。ドイツはキール運河によつてこの缺點を除いた。パナマ運河の開通は、アメリカ合衆國にとつて有利であるが、國防上猶十分といはれない。半島は内陸と島との中間性的存在で、獨立國となる場合もあるが、大陸との交渉を全然斷つことは出来ない。

國家と氣候

國家と氣候 國家が如何なる氣候を有するかといふことは、國民



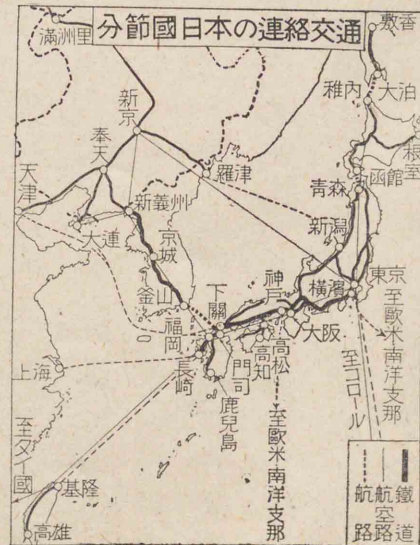
の生活に密接な関係があり、熱帯寒帯若しくは乾燥地に偏在する國家に於ては、到底その隆盛は望まれない。今日何れの強國も、概ね温帯に位置するのはこれがためである。然し近代の國家は、あらゆる物資の自給自足を欲するから、國內に種々の氣候を包含するのを有利とする。日英米ソ聯支の諸國は、この意味に於て頗る好都合である。

國家とその形態

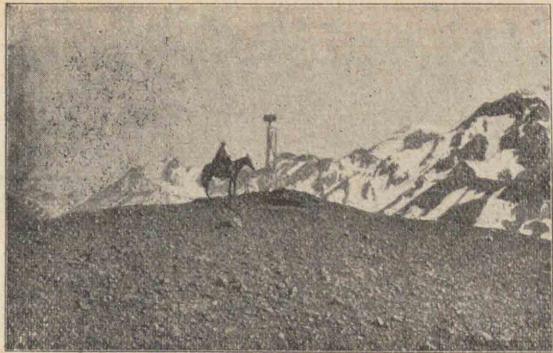
國家とその形態 國家をその領土の形態から見る時は、一つの連續した地域のみからなる單節國一領域的國家と、二つ以上に分れた領域から成る分節國複合領域的國家とに分れる。外形上では團塊形態の國(スペイン)と伸長形態の國(チリ)との二つに分つことも出来る。單節國で團塊形態の國ほど、國家の統一や防禦に有利

國家と民族

である。我が國は分節國で、而も伸長形態をなしてゐるから、これ等の連絡を圖るために水運陸運空運を便にし、海軍空軍を強大にして制海權制空權を絶対に犯されないやうにする必要がある。

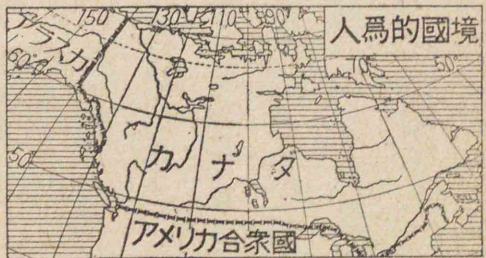


國家と民族 國民の大部分が、血統を同じくする種族的集團である上に、同一文化を有する民族的集團である場合は、國家の存立に最も好都合であるが、多くの異種族と異民族との集合である場合には、屢、統一の困難を來す。又少數の異族でも、それが隣接國の有力種族又は有力民族と同一である場合にも、面倒な問題を惹き起し易い。チェコスロヴァキア互解の如きは、その例



アルゼンティン・チリ間の自然國境アンデス山脈

である。國語が統一してゐることも國民の融合國家存立上重要である。國境 國家の境界線は種々の地物を利用する場合と、全く人工的に定める場合とがある。山脈を利用する場合は分水線河川を利用する場合は中央線若しくは最深線とするのが常である。山脈は通商交通の障害になるが國防上價值が多い。河川も急流峽谷をなす場合はよいが、平野の河川は兩岸を結び付ける性質が強いから、良好な境界ではない。沙漠草原大森林その他一般に住民の少い場所では、單に地圖上に線を描いて境界を定めることが多い。後日紛争の種となる場合が多い。



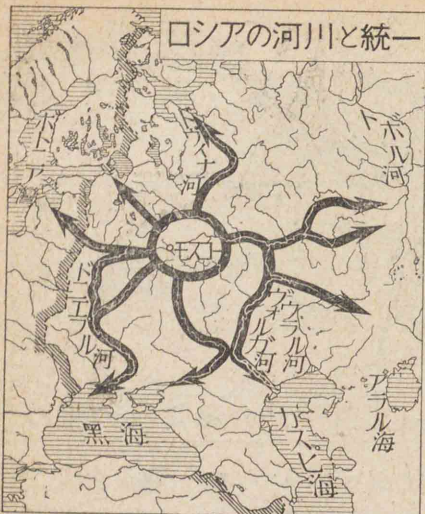
設問

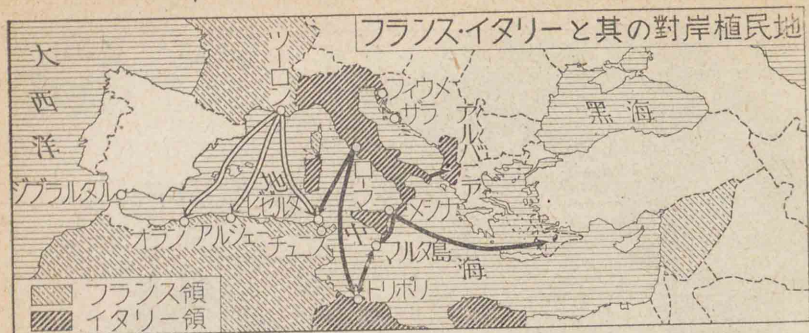
最も正確に測量して作つた人爲的直線境界は、我が樺太の北境が適例である。海は海岸から三哩までをその國の領海とし、それ以外は世界の公海とするのが國際間の慣例である。

- (一) 我が國の位置地形氣候形態民族國境を國家の發展上より見て説明せよ。
- (二) 米國が外國人の來住を好まない理由を問ふ。
- (三) ヨーロッパの國境と地勢との關係を述べよ。

第二節 國家の發展と地理的關係

河川に沿ふ發展 國家は常に最少抵抗の方向に發展しようとするもので、河川に沿ふ方向はその著しいものの一である。一河川の流域を獨占することは國家として最も望ましく、ラインドナウの諸河が常に紛争の中心となるのは、

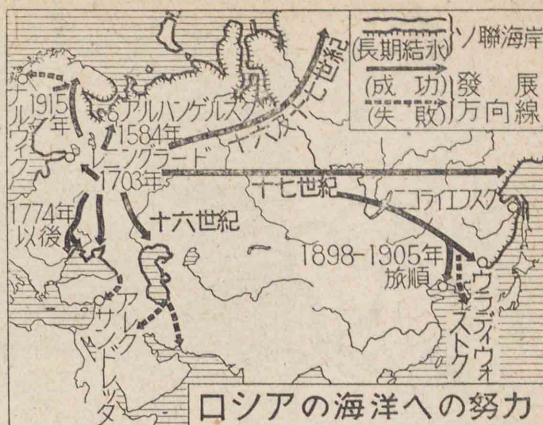




政治

海を包圍する發展 對岸への發展はやがて海を包圍しようとするに至るものであるが、大きい海にあつてはこれは成功しない。ローマ帝國は嘗て地中海を包圍して

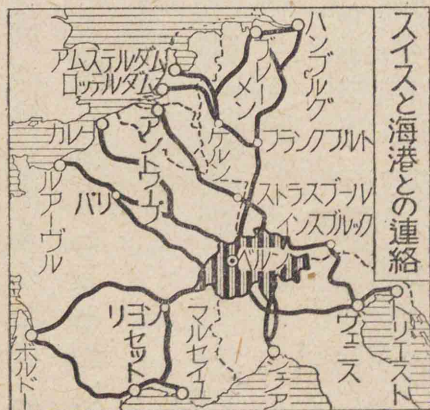
海に向かふ發展 對岸への發展

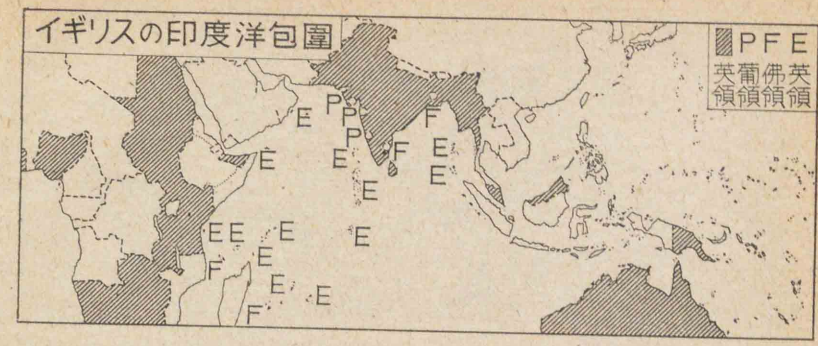


政治

海を隔てた對岸の土地とは、密接な關係を有する場合が多く、ためにその一國は政治的にこれを支配しようとするやうになる。この場合、最初は先づ對岸に近

そのためである。國際河川の協定は、この紛争を未然に防ぐ方法として立案されたものに外ならない。海に向かふ發展 内陸國は海に向かつて痛烈な憧をもつ。ロシアは多くの海を有するが、それが何れも價値が少いので、地中海、インド洋又は太平洋に出でんとして百餘年間の努力を續けた。ポリヴィアはチリに海岸を奪はれてからその國勢が衰へた。對岸への發展 或一國と

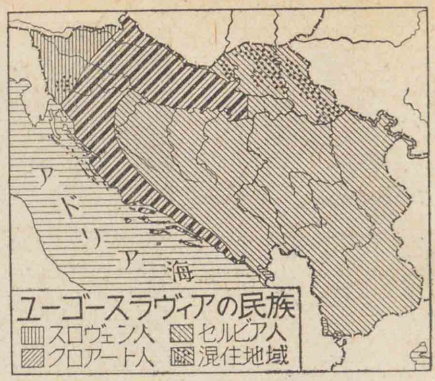




あなたがその後かゝる國は出来ない。バルティック海もスウェーデンが隆盛なとき、一時包圍せられたが長く續かなかつた。

資源に向かふ發展 衣食住の材料は勿論、各種工業原料に對する要求の熾烈なことは、近代國家の一特色である。資源のある所に對しては、國家は政治的に、或は單に經濟的に、その支配權を得んとして發展を策する。資源は寒地よりも寧ろ熱帶地に多いので、遠く海を越えて熱帶地方に土地を獲得した國が多い。歐米の強國は殆ど悉くその例に洩れない。

市場を求むる發展 工業國は原料を要求するのみでなく、これに加工した製品を廣く海外に賣り捌かなければならないが、それには住民の多い未開地に向かつて、支配



民族統一の發展

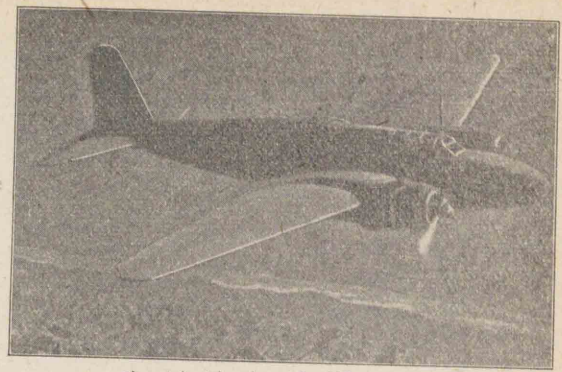
イア等はかくして出來た國家である。

植民地

國家が新に擴張して得た領土を、一般に植民地と名づける。植民地には經濟上より見て、移住植民地、投資植民地の別があり、政治上より見て、自治領、直轄地、保護地、租借地、委任統治地等がある。又他國の領土に利權を確立した土地を勢力範圍と呼ぶ。

國防

國際間の親交和平を維持して、最高の文化を建設すること



我が最新鋭爆撃機

が國家の理想であるが、發展し成長しようとする國家間には、利害相反する場合が起り易く、時に干戈相見ゆるの止むを得ないことがある。故に列國は軍備を嚴にして、以て急に備へてゐるのである。我が國はソ聯支米等の諸國に近接し、又他の列強とも經濟的競争が激甚で、常に摩擦を生ずる憂があるから、特に軍備の充實が必要である。今日陸軍の優勢なのは日ソ聯獨伊等で、海軍では日英米等が有力である。又最近列國は空軍の重要性を覺り、その充實に努めてゐる。

國家の成長段階

國家の成長段階 國家は前節に述べたやうに、絶えず進化發展しようとする意欲を有する。而して國家の成長する段階を、經濟上より見る時は、①農牧國、②商工業國、③資本國とすることが出

第三節 強國

來活動上より見る時は、①幼年期國家、②壯年期國家、③老年期國家に分つことが出来る。經濟上に於て商工業國資本國に進み、活動上に於て壯年期國家となれば、政治上では強國として重きを成すに至るのである。

強國の分類

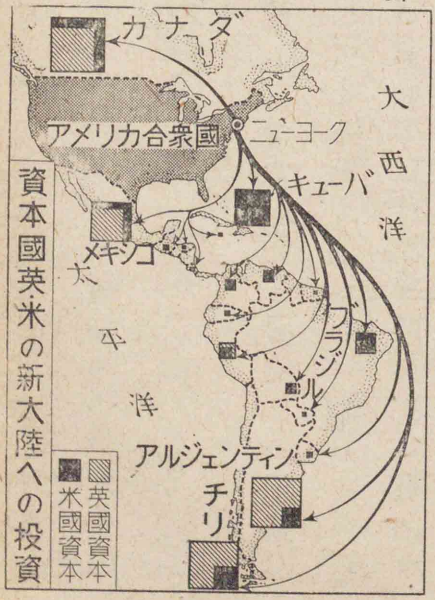
強國の分類 強國はこれを分つて、①日英米の如くその政治的經濟的活動が全世界に影響を及ぼす世界強國と、②獨佛伊ソ

イギリスの主要領土



■英領 (保護地委任統治地を含む)

聯の如く、その活動が世界の一部分地域に限られてゐる局地強國とに分つことが出来る。然し獨伊等は將に世界強國の部に入らんとする萌芽世界強國といふことが出来、アルジェ

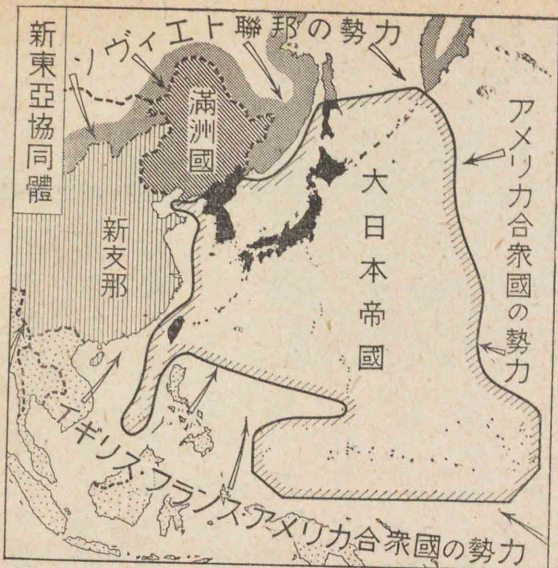


ンテインチリの如きは、將に局地強國の部に入らんとする萌芽局地強國といふことが出来る。

結論 世界に於ける我が國の地位

我等は本書によつて、人文と環境との相關が如何に密接であるかを知つた。即ちその地の位置・地形・氣候等は、産業・交通・文化に關係することが大で、この環境をよく利用する優秀な民族は榮え、環境に狎れ、甘んじ、若しくはこれが利用を怠る民族は、劣敗・衰滅する事實を確め得た。

我が國はアジアの東邊にあつて太平洋を控へ、その位置の優秀なることはイギリスと共



に世界の雙璧である。國土が狭く、資源も亦必ずしも豊富でないけれども、國民の智力・氣力・愛國心等、人的要素が頗る優秀であるから、科學的の土地利用或は産業の合理化によつて、その短を補ふことも可能である。肇國以來東海に孤立して競争者が少かつたため、我が國固有の精神的文化を作り上げた反面には、一時物質的文明の發展は後れた觀があつた。然し一度國を開いて世界の舞臺に登場するや、僅か五十年にして列強の一に加はり、躍進又躍進、今や世界強國の優位を占め、アジアと太平洋とに覇權を握らうとしてゐるのである。

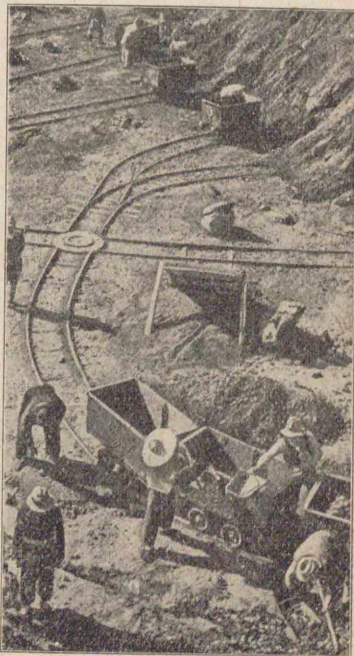
翻つて世界の大部分を見るに、國を建てるもの六十餘、その中五十餘は白人種の建設に成り、残る約十箇國のみが有色人種の主權に屬してゐる。そして大多數の有色人が白人の主權下に呻吟シヤウヂしてゐることは誠に遺憾なことである。この間にあつて我が帝國のみ

は、白人以外唯一の強
大國として、有色人種
のために萬丈の氣を
吐き、又これを指導し
て常に希望と光明と
を與へてゐる。



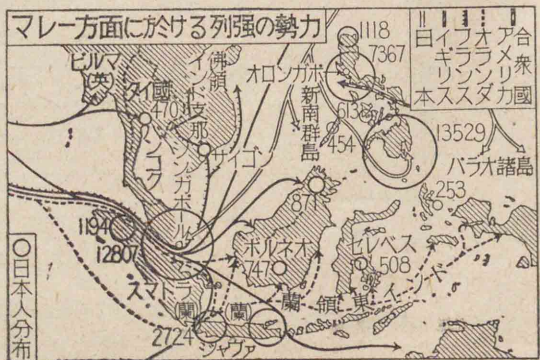
南洋ジャヴァの一景觀

今や世界の強國は經濟に軍備に、競争益、激甚
を加へ、各經濟ブロックを形成して相對抗し
てゐる。この間にあつて我が國は先には滿
洲國の獨立に際會して、これと不可分の關係
を結び、近くは親日的な中華民國新政府の成
立を迎へ、かくして、日滿支相提携して、東亞安
定の偉業を完遂し得るの地歩を確立するこ



力強い日・滿・支ブロック
大冶鐵山の開發

とが出来た。日滿支を結ぶ經濟ブロック
内の人口は五億八千萬を算し、その藏する
資源は極めて豊富であるから、三國民の協
力奮起によつて、これを開發すれば、日滿支
共存共榮の實を擧げ得るは勿論、我が國と
しては世界有數の資源國となり、國勢の大
發展は期して待つべきものがある。
然し日滿支のブロック内には、猶ゴム、羊毛、
棉、石油等を始め、概して熱帶性産物又は國
防資源の貧弱な憾がある。この意味に於て、外南洋方面は我が第
二の生命線といふべきで、吾人は移民に、投資に、將又貿易に、更に一
段の躍進を必要とするのである。然るに突如として起つたヨー
ロッパの動亂は、ドイツの急激果敢なる進撃によつて著しく擴大

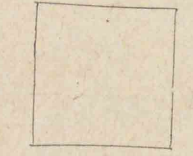


し、獨伊によつてヨーロッパにも新秩序が建設されつゝあつて、そのアジアに及ぼす影響も甚大なるものがある。この時に當り、日獨伊三國同盟の結成を見るに至つたことは、誠に意義深いことである。我等は益、地理科に於て學んだ知識を活用して、重大時局に處するの道を誤ることなく、億兆一心各、その本分を盡くし、肇國の理想を實現することに邁進しなくてはならない。

昭和十二年六月三十日印
 昭和十三年一月十二日訂正再版印刷
 昭和十三年十月十一日修正三版印刷
 昭和十四年一月十五日訂正四版印刷
 昭和十五年五月十五日修正五版印刷

昭和十二年七月三日發行
 昭和十三年一月十五日訂正再版發行
 昭和十三年十月十四日修正三版發行
 昭和十四年一月十八日訂正四版發行
 昭和十五年五月十八日修正五版發行

新令
 準據 新選地理 概説篇
 修正版
 定價 金八拾貳錢



所有權者
 複製許不

著者 守屋 荒美 雄
 補訂者 守屋 美智 雄
 發行者 東京市神田區西神田一丁目三番地 株式會社 帝國書院
 代表者 守屋 紀美 雄
 印刷者 東京市牛込區山吹町一九八番地 山本 禎 男

發賣所 東京市神田區西神田一丁目三番地 株式會社 帝國書院
 振替口座東京六七〇一四番

關西販賣所 大阪市東區橫堀四丁目三番地 三宅 莊藏 書店
 振替口座大阪六九番

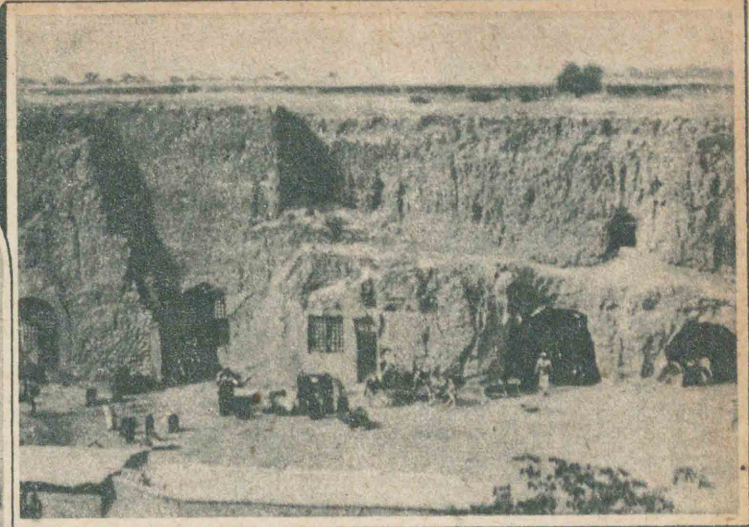
草原で遊牧する蒙古族と包



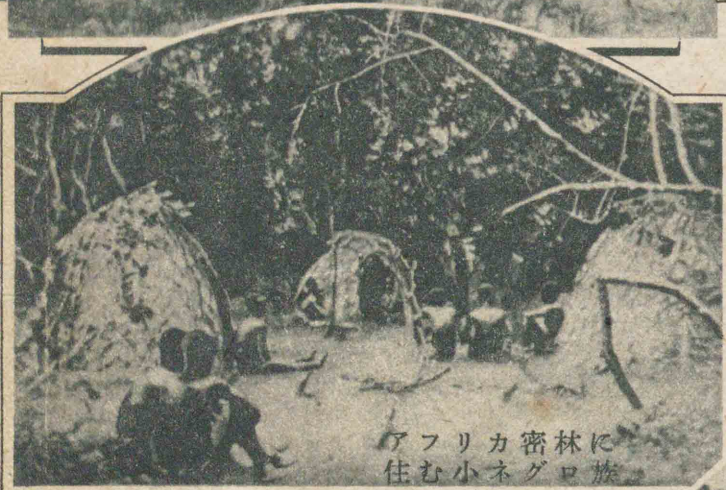
環境の變化と生活様式の相違



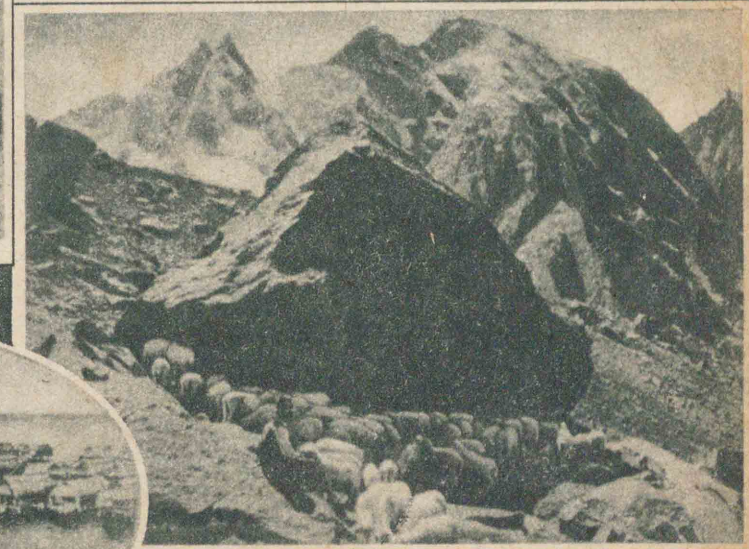
ネグロ族の寢屋



北支那の黄土層中に穴居する土民

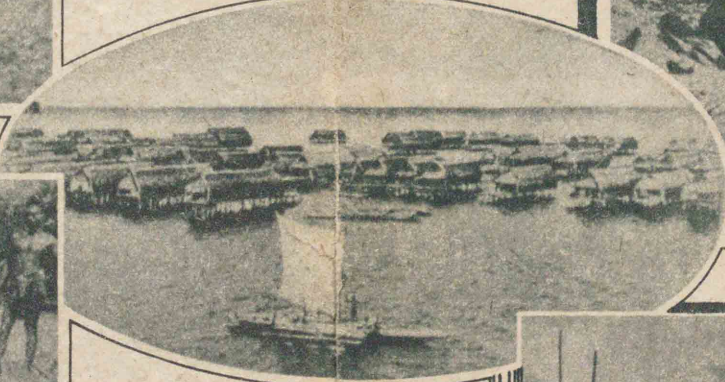
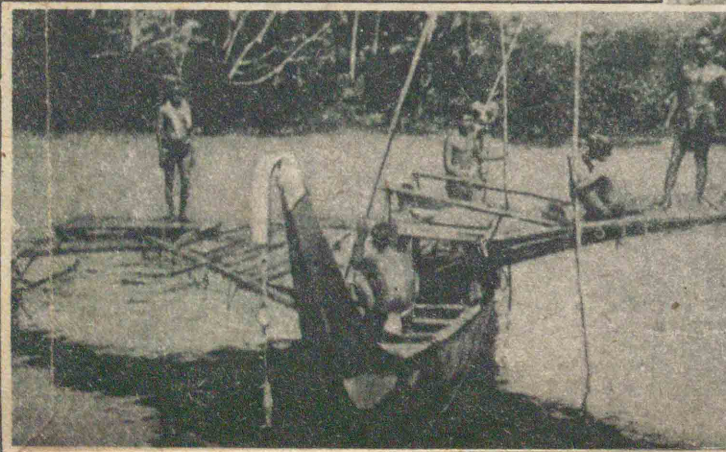


アフリカ密林に住む小ネグロ族



季節によつて移動するアルプスの牧者

海洋に活躍するヤップ島民



炎熱と蟲害を避ける
バプア土人の水上生活



氷屋を造る
エスキモー族

第四卷(組) 京極 冬之入

広島大学図書

2000014336



蔵
41
336